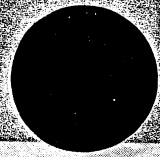
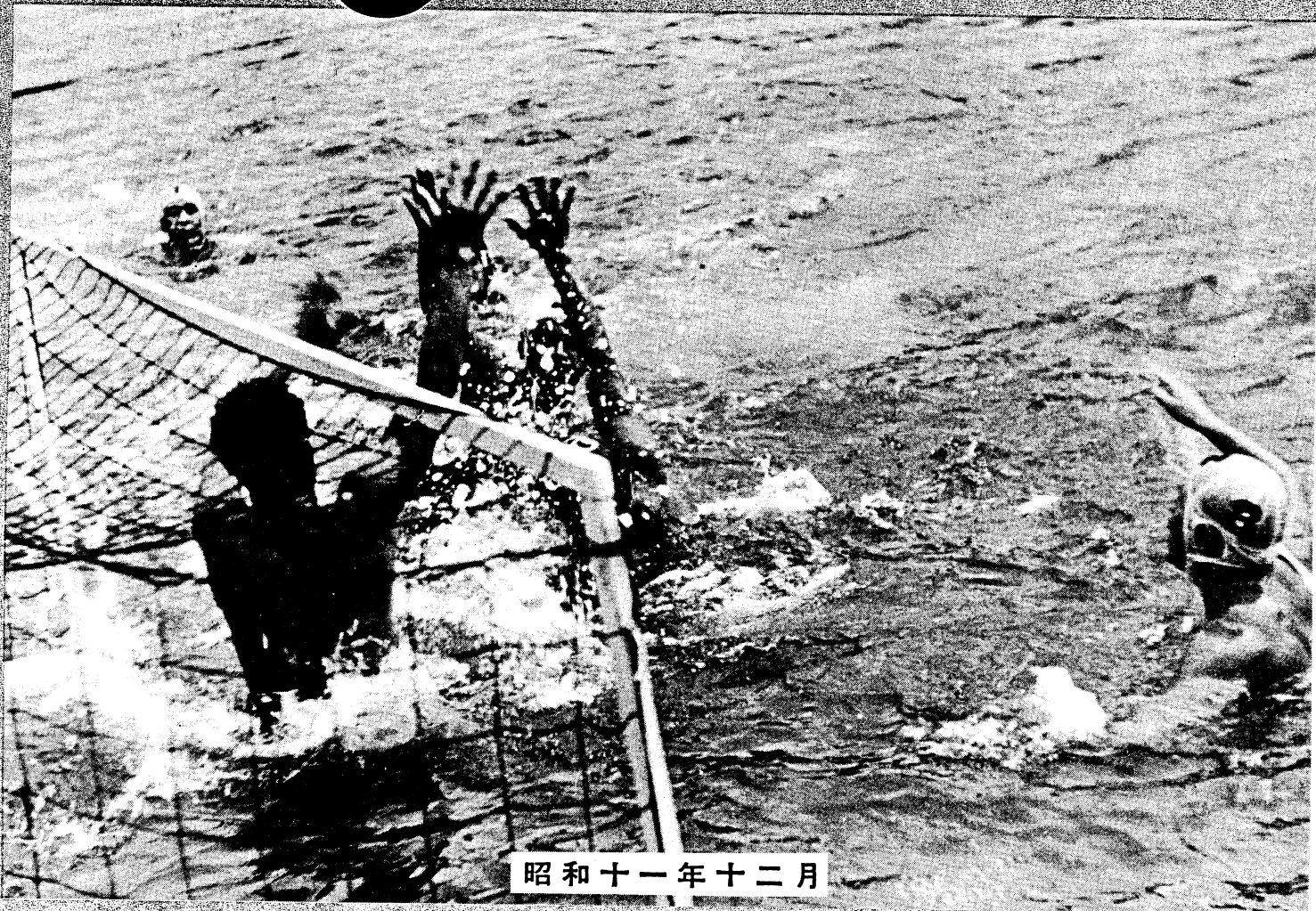


水泳



・日本水上競技聯盟機關雜誌・No. 42—43倍號



昭和十一年十二月

昭和十一年上半期競技會報告集

日本水上競技聯盟

水 泳 年 鑑

定價五十錢 送料四錢

内 容

日本水上競技聯盟規約 (十一年改正)

アマタ一規則

聯盟規約細則

日本水上競技聯盟競技規程 (十一年改正)

競泳規則

飛込競技規則

水球規則

競技規程細則

競泳池公認規定 (十一年改正)

標準泳法

水泳指導者資格檢定規則

日本記録變遷表 (昭和十一年一月一日)

世界記録變遷表 (昭和十一年一月一日)

オリンピック記録

日本選手權大會

日本選手權保持者表

日本學生水上競技聯盟規約

本年から聯盟規約及び競技規程を聯盟から直接出版することになった。本年二月規約及び競技規程其他が改正せられた。本書が之を全般的に發表した最初のものである。正しい競技を行ひ、正しく審判するには本書に據らなければならない。

本書は以上の外に標準泳法、水泳指導者資格檢定規則、日本記録變遷表、世界記録變遷表、日本學生聯盟規約等を満載したので書名を水泳年鑑と稱することとした。

水泳に關係する者は必ず備ふべき書である。

水泳指導要項 第一編

標準泳法

定價十五錢 送料二錢

水泳指導要項 第三編

水泳補助運動

定價二十錢 送料二錢

日本水上競技聯盟

東京市麴町區丸の内二丁目丸ビル五階 581區 (移轉)
振替口座・東京 39919 番。電話丸の内 3608

日本水上競技聯盟

機 關 雜 誌

水 泳

昭 和 十 一 年

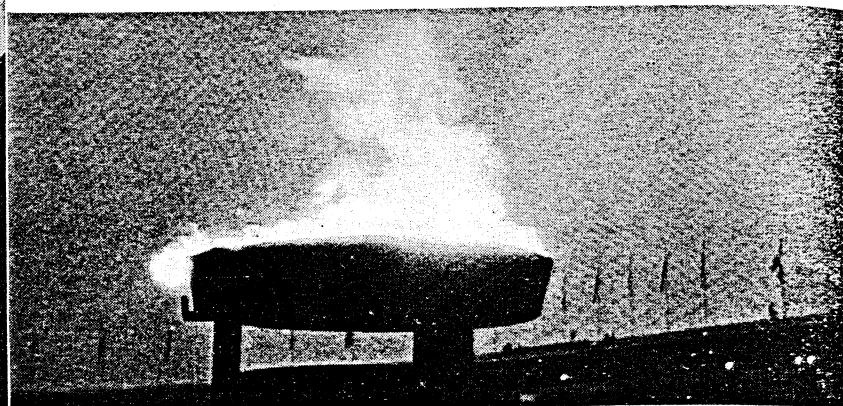
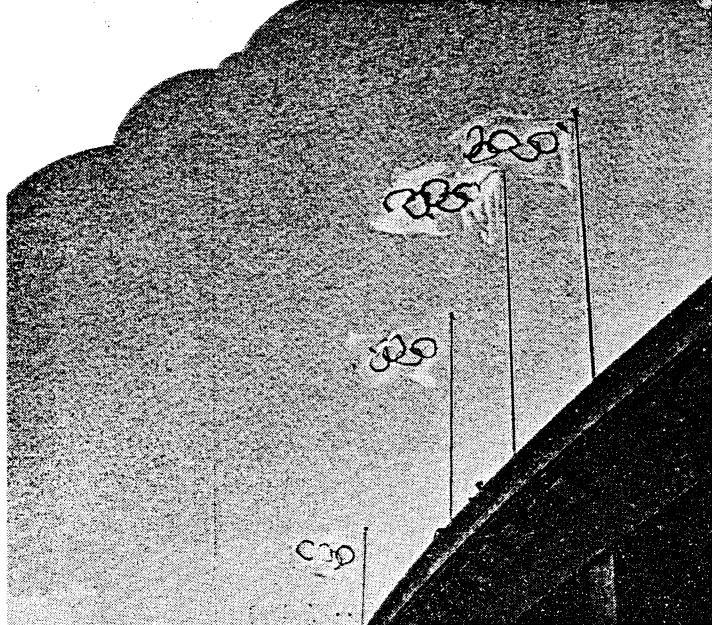
第四十二—四十三號倍號

目 次

オリンピック土産寫眞集	(2)
第一回女子中等學校並全國女子水上競技大會	(8)
第一回女子中等學校並全國女子水上競技各地豫選會	(12)
競技に弱い選手	齋 藤 亨 (23)
おけさ回顧	(26)
水球普及策に就いて	笹 島 彦 次 郎 (28)
昭和十一年度上半期競技會記錄報告	
關西大學對法政大學	(29)
全 國 商 大	(30)
全 國 高 商	(31)
日本大學對全名古屋	(33)
大阪學生・男子室内・立教大學對第 一高等學校・拓大中大國大三大學對抗	(34)
ベルリン試泳會	(37)
東京帝大水泳場竣工記念祝賀會招待競技會	(38)
關東學生水球リーグ戦	(40)
飛 込	(47)
オリンピック飛込の印象	(49)
飛 込 愚 感	(49)
地方競技記録	(50)
關東女子試泳會	(54)
オリンピック水球審判會議より	(55)
金メタルの爭奪	(56)
聯盟議事録	(58)
聯盟日記	(63)
編輯後記	(64)

XI Olympic 土産

齋藤・清水氏のアルバムより



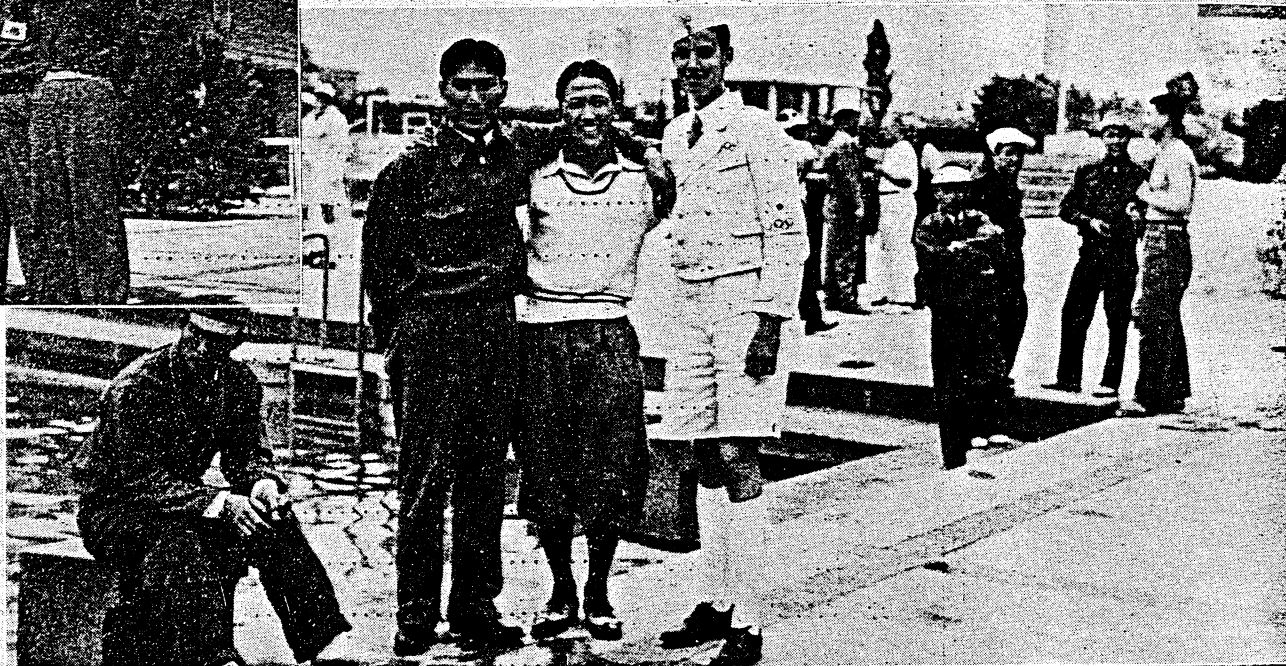
・オリンピック・スタジアム・

↑・オリンピック聖火・



7月22日、ベルリン体育大學にて女子レコード會の折
↓ 左に立てるはオリンピック・サービスボーイ、左腕に注意

男女兩チーム監督・
より齋藤・松澤
松澤(初)・白山の諸氏

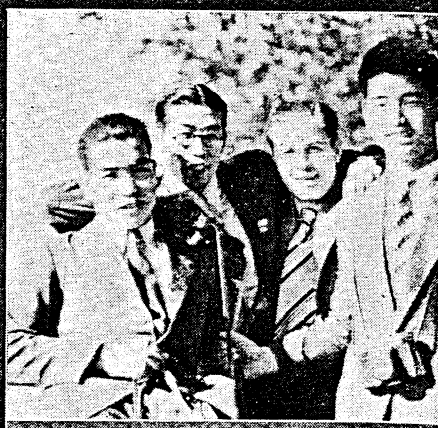


↑
・末弘團長三態・
↓

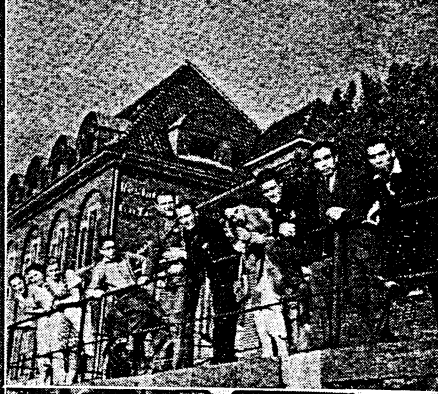




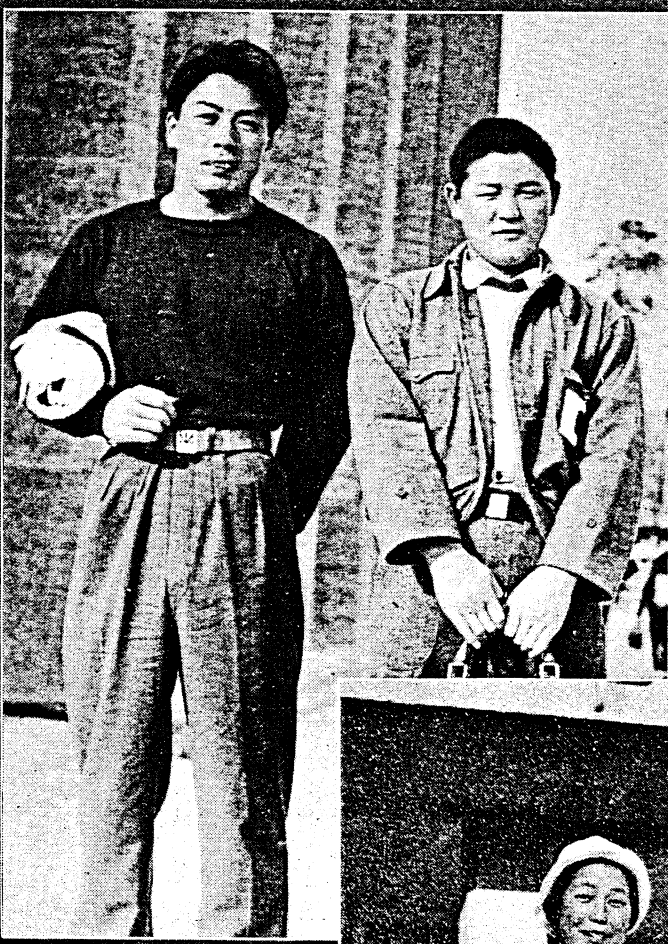
↑・ヨーロッパ轉戦中、右、清川君 左、寺田君



→ フライングビッカニツクの折



↑・ケルン驛前より飛行場へ向ふ、右安部左奥野の兩氏
「僕等は田舎者らしく見えんたら」



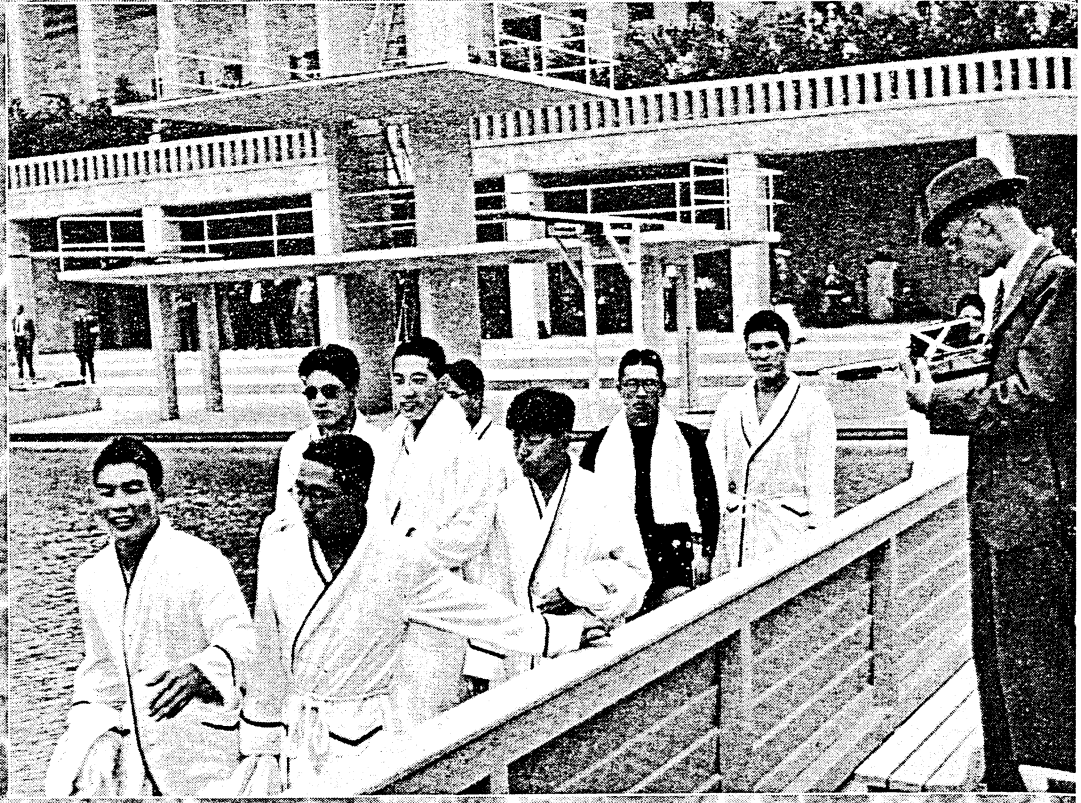
→ 練習歸りの寺田、遊佐兩君

↓ 吾等のマスコット、抱くは和田君



→ オリムピツクアトレにて世話役ソニー、トズ夫人と女子競泳選手



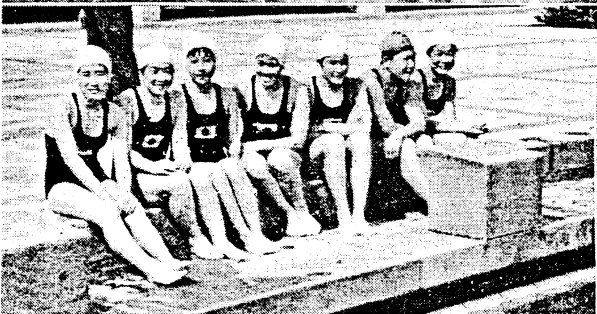


新井君の「大」の「大」



「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」
「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」
「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」

「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」
「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」



「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」
「大」に「大」が「大」の「大」開き「大」

オリンピック村日本宿舎旗
 ・アチアチではとてもこの旗が・
 ・ホツカシカツグアス。 →



思ひ出の種

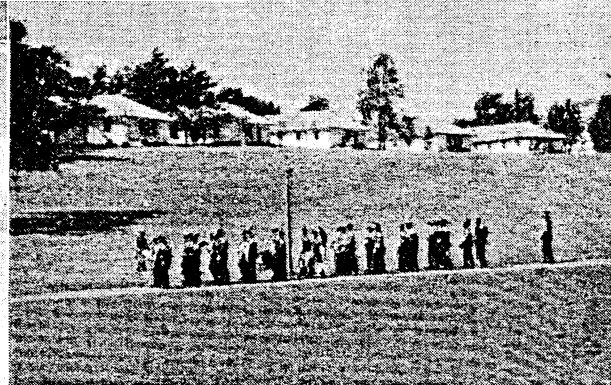
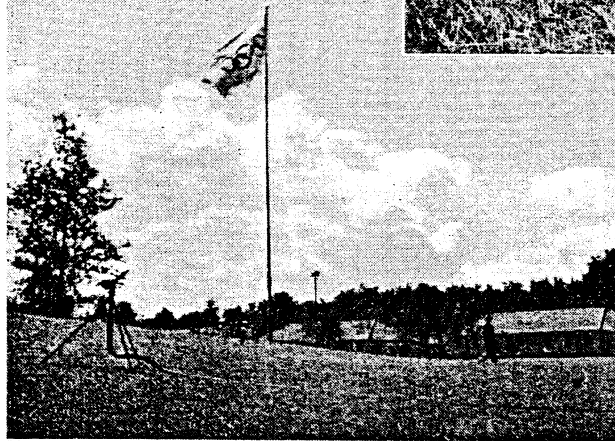


↑ ・ベリー赤毛布中の松澤御大・

↓ ・ヒクニツタの折・



↑ ・オリンピック村の
 ・お巡さん

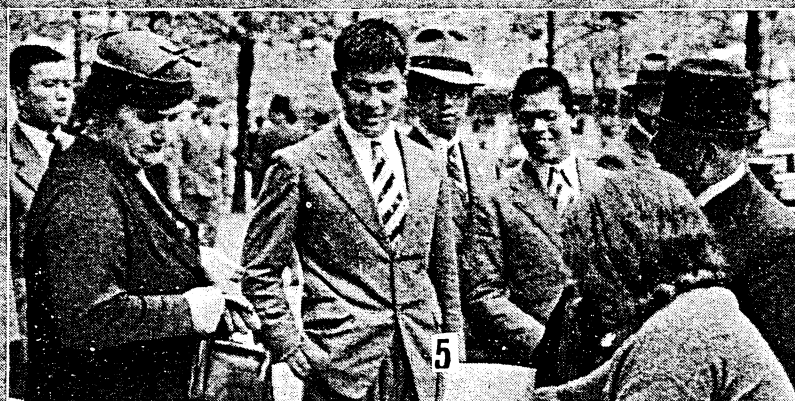


↑ ・オリンピック村の芝屋・

↑ ・オリンピック村の前を通る軍楽隊・

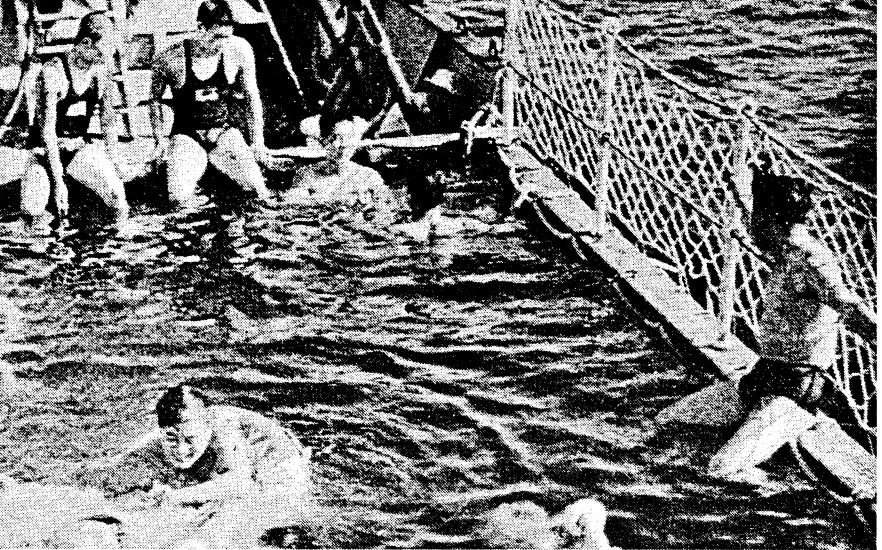
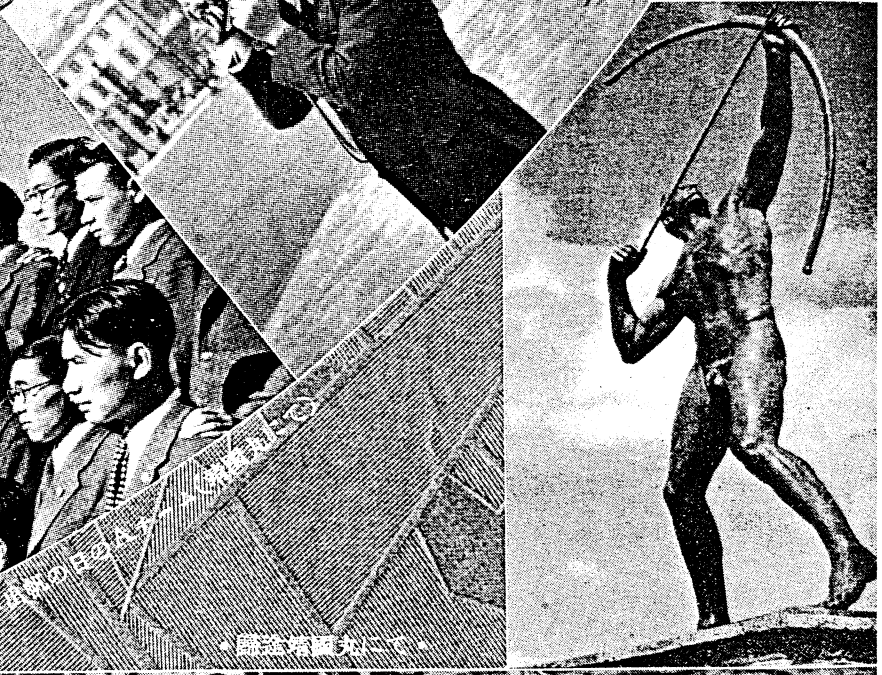
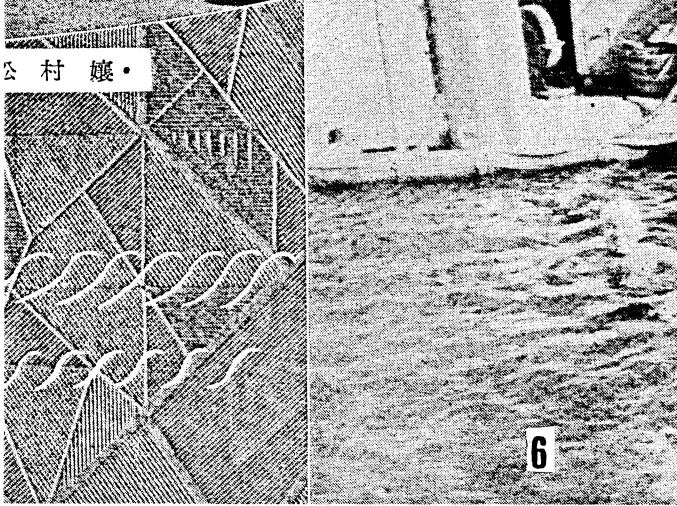
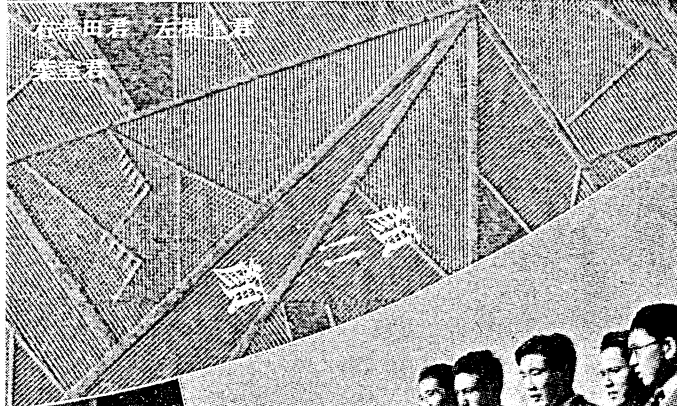
↑ ・スモーデンのゴールの切符賣子・

↓ ・ベリーの市内見物・

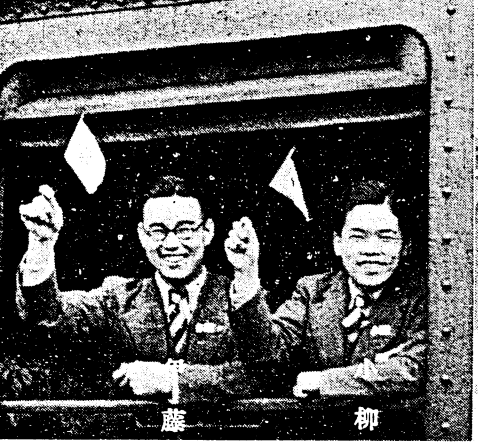
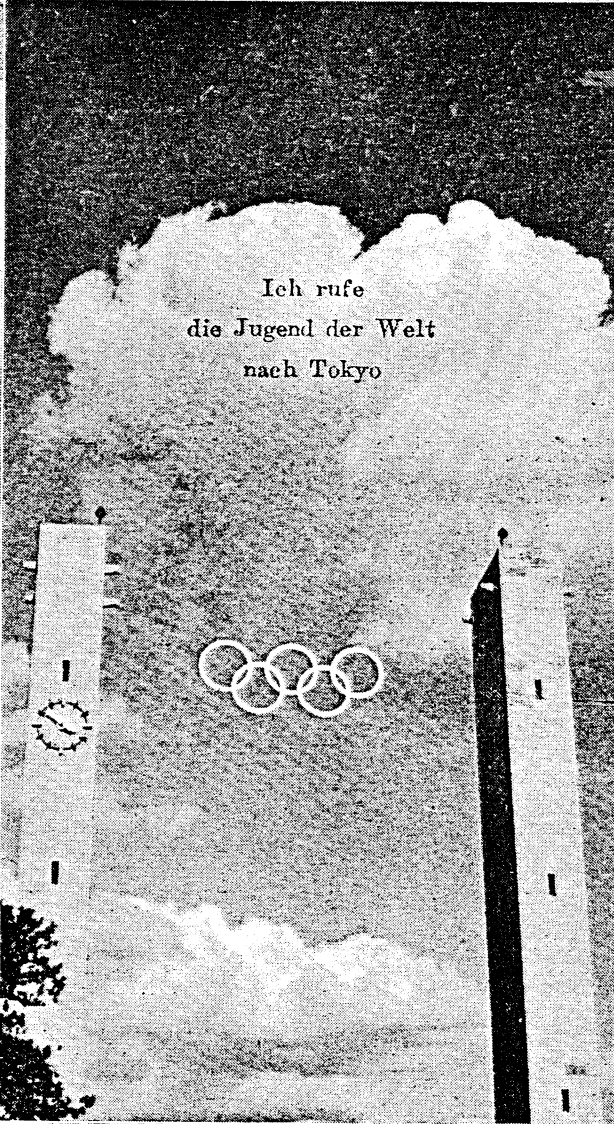
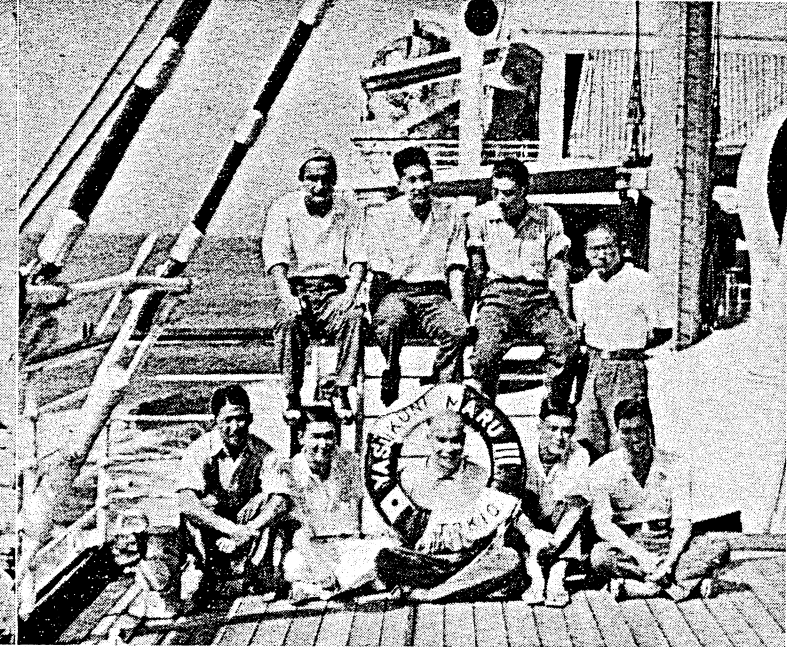


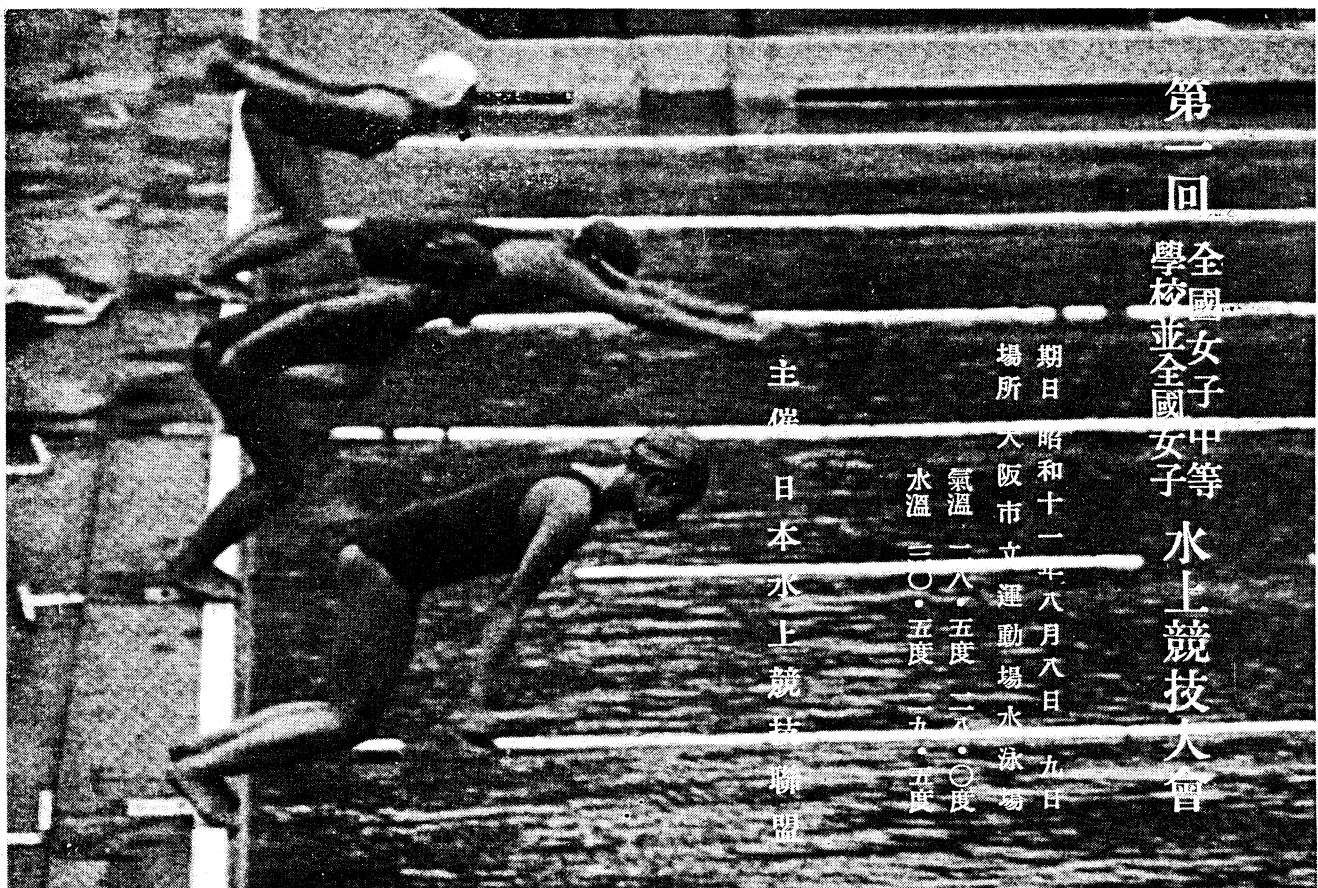


← 右上、絶叫する原氏
右下、坂上君 左安部氏



公村嬢・





第一回 全國女子中等學校並全國女子水上競技大會

期日 昭和十一年八月八日 九日
場所 大阪市立運動場水泳場

氣温 二八・五度 二六・〇度
水温 三〇・五度 二九・五度

主催 日本水上競技聯盟

全國女子中等學校水上競技大會は、三地方女子對抗水上競技大會が第三回を以つて終結したのでそれに代つて成立したものであります。

其の第一回は日本水上競技聯盟主催大阪水泳協會主管の下に八月八日、九日の兩日に亘り大阪市立運動場水泳場で行はれました。此の大會は女學生のみの出場を認めるものであるもので、學生で無いものや小學生の爲めに本大會と同時に、同所で全國女子水上競技大會をも開催致す事にしました。

全國女子中等學校水上競技大會は初めての試みではあり、三地方對抗とは内容も異なり又ベルリンに於けるオリンピック競技の爲め留守軍は手薄であるので餘計一生懸命になつて立派な大會を造り上げる様各自が心掛けました。其の甲斐あつて驚く可き大會となり参加校は二九校、中等學校申込み延人員は(200米リレー及200米メドレーリレーを除いて)200名其の中棄権者74名正味出場者は246名でありました。

此の外に全國女子水上競技大會の方は延人員は約60餘名、中等學校の方は餘りに参加者の多い爲め500米自由形と背泳は第一豫選あり第二豫選あり準決勝を経てやつと決勝戦に出場する事が出来る次第で、100米自由形などは豫選がH組までもあり又100米平泳の豫選はG組までであるといふ風で出場人數に於ては押しも押されもしない盛大な物でした。それが爲

め選手は一日に何回も泳がなければならず、だんだん疲れる筈であるけれど選手一同が緊張してゐたせいかだんだんタイムが良くなつて豫選よりは準決勝の方が良く、又準決勝より決勝の方が良くなると云ふ具合でした。谷口嬢(京都二條)は50米自由形に33.4で優勝し、100米自由形では今年東京に於てオリンピック候補の合同合宿練習がありました時候補では無かつたけれどもはるばる名古屋からおいでになつて府立第六のプールで練習をなさつた熱心な木村嬢(名古屋椛山)が1:17.4で優勝致しました。三浦嬢(横濱高女)も今年の冬季練習を熱心にした甲斐あつて400米自由形に6:04.2と云ふ好記録を出して優勝なさいました。泉嬢(京都府第二)は50米背泳に40.2 100米背泳に1:13.8で優勝致したけれど100米背泳には同タイムで泉嬢を脅した新進小田嬢が第二位になつて居りますから油斷が出来ない思ひます。平泳には前畑嬢の姿が見られなかつたのは淋しかつた。100米平泳に1:34.4で中山嬢(徳島高女)が優勝し、200米平泳には村田嬢(大阪羽衣)が3:23.0で優勝致しました。200米リレーでは選手の揃つてゐる京都府立京都第二高等女學校が2:23.0で優勝し300米メドレーリレーでは名古屋椛山女學園が4:32.2で優勝しました。

優勝校は總得點三〇點の京都府立京都第二高等女學校第一位になり、第二位は名古屋椛山女學園で二

五點でした。第三位は一九點の愛知淑徳高等女學校、第四位は東京府立第四高等女學校と臺北第一高等女學校の二校で、得點は各れも一八點でありました。(詳細は表を御参照願ひます。)留守軍なので日本新記録は残念ながら出せませんでしたけれども一般にタイムが向上した様に思はれるので大變嬉しく思ひ又頼もしい氣持になりました。

又全國女子水上競技大會の方は櫻井嬢(京都二條高女)が50米自由形に33.2のタイムを出し、50米背泳では42.2のタイムを出すなど大いに活躍し優勝された。100米平泳では斷然オリンピック候補であつた村尾嬢(長崎高女)が他を抑へて100米に1:32.8、200米に3:16.0のタイムを出し悠に優勝致しました。100米自由形では1:18.4のタイムで新進小枝嬢(岡山津山高女)が400米自由形では6:31.0のタイムで新進伊藤嬢(静岡中泉高女)が各々各種目に優勝されました。

物珍しく思つたのは横濱水協から一人變つた大き

な泳ぎをしてゐたルイズ、スタイルウエルと云ふ米國人が初めて参加し決勝まで残つた事でした。

ダイビングは八月八日午前九時より茨木中學プールにて開始、出場者は横山周子嬢 樟蔭女專 唯一名の爲め飛板飛込は67.38點、高飛込は31.96點で孰れも優勝致しました。全國女子中等學校水上競技大會の盛大さに比してダイビングの競技會の淋さは誠に残念に思ひました。もう少しダイビングの新人選手の出場を願つてやまぬ次等であります。

全國女子中等學校水上競技大會が第一回より斯の如く盛大に行ふ事が出来ました事は日本女子水泳界の發展の爲めに洵に喜ばしき次第であると思ひます。又今回出場された選手諸嬢並びに學校當局の指導の方々もより以上御努力下さいまして第二回全國女子中等學校水上競技大會には第一回よりもより良い成績をお舉げになる様切に願ひ申上げます。

(市口)

女子中等之部

50米自由形

準決勝A組	1. 谷口美代子 (京都二條)	34.0
	2. 小山道子 (臺北第一)	34.8
	3. 杉原元子 (東京第四)	35.4
	4. 大西和子 (愛知第一)	35.6

B組	1. 宅間美惠 (大阪羽衣)	35.2
	2. 鈴木美代子 (愛知淑徳)	35.2
	3. 辻村喜代子 (京府第二)	35.3
	4. 山田道子 (東京第七)	36.4

決勝	1. 谷口美代子 (京都二條)	33.4
	2. 小山道子 (臺北第一)	33.8
	3. 鈴木美代子 (愛知淑徳)	34.6
	4. 宅間美惠 (大阪羽衣)	35.0
	5. 辻村喜代子 (京府第二)	
	6. 杉原元子 (東京第四)	

100米自由形

準決勝A組	1. 木村繁子 (椋山女)	1:18.4
	2. 福島ヒロ子 (東京第四)	1:20.0
	3. 宅間美惠 (大阪羽衣)	1:20.0
	4. 岸田静枝 (京府第二)	1:20.4

B組	1. 谷口美代子 (京都二條)	1:19.0
	2. 小山道子 (臺北第一)	1:19.4
	3. 三浦はな (横濱女)	1:19.8
	4. 山田道子 (東京第七)	1:21.8

決勝	1. 木村繁子 (椋山女)	1:17.4
-----------	---------------	--------

2.	谷口美代子 (京都二條)	1:18.0
3.	小山道子 (臺北第一)	1:18.2
4.	宅間美惠 (大阪羽衣)	1:18.6
5.	福島ヒロ子 (東京第四)	
6.	三浦はな (横濱女)	

400米自由形

準決勝A組	1. 三浦はな (横濱女)	6:12.0
	2. 福島ヒロ子 (東京第四)	6:26.4
	3. 湯本信子 (岡山苦津)	6:30.8
	4. 福永美智子 (愛知淑徳)	6:41.6

B組	1. 岸田静枝 (京府第二)	6:22.6
	2. 田原宜子 (愛知淑徳)	6:36.0
	3. 木村繁子 (椋山女)	6:36.2
	4. 小西真知子 (京府第一)	6:44.8

決勝	1. 三浦はな (横濱女)	6:04.2
	2. 岸田静枝 (京府第二)	6:23.2
	3. 湯本信子 (岡山苦津)	6:28.0
	4. 福島ヒロ子 (東京第四)	6:29.2

50米背泳

準決勝A組	1. 泉百合子 (京府第二)	40.8
	2. 山本うた (愛知淑徳)	42.6
	3. 北島静子 (椋山女)	43.0
	4. 畝川澄枝 (廣島土肥)	44.4

B組	1. 金村那美子 (臺北第一)	41.6
	2. 宮井良子 (京府第一)	43.0

3. 小田タイ子 (筑紫女) 43.0
 4. 菱木ふさ (京府第二) 44.6
決勝 1. 泉百合子 (京府第二) 40.2
 2. 金村那美子 (臺北第一) 41.0
 3. 山本うた (愛知淑徳) 41.0
 4. 宮井良子 (京府第一) 42.0
 5. 北島静子 (梶山女)
 6. 小田タイ子 (筑紫女)

100米背泳

- 準決勝A組** 1. 北島静子 (梶山女) 1:32.4
 2. 金村那美子 (臺北第一) 1:33.0
 3. 宮井良子 (京府第一) 1:35.0
 4. 菱木ふさ (京府第二) 1:37.4
B組 1. 泉百合子 (京府第二) 1:31.6
 2. 小田タイ子 (筑紫女) 1:32.0
 3. 山本うた (愛知淑徳) 1:32.6
 4. 山崎いく子 (愛知第一) 1:35.8
決勝 1. 泉百合子 (京府第二) 1:31.8
 2. 小田タイ子 (筑紫女) 1:31.8
 3. 金村那美子 (臺北第一) 1:23.0
 4. 北島静子 (梶山女) 1:33.2
 5. 宮井良子 (京府第一)
 6. 山本うた (愛知淑徳)

100米平泳

- 準決勝A組** 1. 村田三千子 (大阪羽衣) 1:36.0
 2. 南里千瑳子 (兵庫第二) 1:36.4
 3. 原日出子 (東京第四) 1:37.0
 4. 梶岡廣江 (廣島土肥) 1:43.4
B組 1. 中山絹子 (徳島女) 1:35.0
 2. 東ト三 (京府第一) 1:38.6
 3. 吉田壽子 (横濱女) 1:40.2
 4. 平石富美子 (長崎女) 1:41.4
決勝 1. 中山絹子 (徳島女) 1:34.4
 2. 南里千瑳子 (兵庫第二) 1:35.4
 3. 村田三千子 (大阪羽衣) 1:35.4
 4. 原日出子 (東京第四) 1:37.4

200米平泳

- 準決勝A組** 1. 村田三千子 (大阪羽衣) 3:25.2
 2. 迫登志子 (臺中女) 3:30.2
 3. 吉田壽子 (横濱女) 3:32.2
 4. 金ヶ原俊子 (筑紫女) 3:37.8
B組 1. 南里千瑳子 (兵庫第二) 3:26.6
 2. 原日出子 (東京第四) 3:28.2
 3. 中山絹子 (徳島女) 8:29.8
 4. 東ト三 (京府第一) 3:34.0
決勝 1. 村田三千子 (大阪羽衣) 3:23.0

2. 南里千瑳子 (兵庫第二) 3:25.0
 3. 原日出子 (東京第四) 3:26.2
 4. 中山絹子 (徳島女) 3:28.2
 5. 迫登志子 (臺中女)
 6. 吉田壽子 (横濱女)

200米リレー

- 豫選A組** 1. 梶山女 岩橋、新見、北島、木村 2:25.2
 2. 京府第一 山田、伊藤、林、小西 2:28.4
 3. 三重津女 鈴木、皆川、山田、田中 2:41.8
 4. 大阪市岡 柴田、小川、眞田、安武 2:43.2
B組 1. 愛知淑徳 鈴木、大鐘、福永、大村 2:24.8
 2. 京府第二 菱木、辻村、山崎、岸田 2:24.8
 3. 大阪夕陽丘 秋尾、吉村、田中、吉田 2:31.2
 4. 廣島土肥 魚井、額田、杉、榎本 2:46.0
C組 1. 東京第四 杉原、藤森、萩原、福島 2:25.8
 2. 愛知第一 洲藤、大西、鈴木、大富 2:28.0
 3. 岡山苦津 湯本、小原、湯浅、永田 2:33.2
 4. 京都二條 南、唐畑、鈴木、谷口 2:36.0
決勝 1. 京府第二 菱木、山崎、辻村、岸田 2:24.8
 2. 愛知淑徳 鈴木、大鐘、福永、木村 2:26.2
 3. 梶山女 岩橋、新見、北島、木村 2:26.4
 4. 京府第一 山田、小西、林、伊藤 2:27.8
 5. 東京第四
 6. 愛知第一

300米メドレー、リレー

- 豫選A組** 1. 京府第一 宮井、東、山田 4:40.2
 2. 愛知淑徳 山本、鈴木、鈴木(美) 4:41.8
 3. 筑紫女 小田、金ヶ原、久野 4:44.4
 4. 岡山苦津 津本、川路、永田 5:03.6
B組 1. 京府第二 菱木、泉、岸田 4:38.8
 2. 静岡島田 山崎、白杵、大倉 5:23.2
C組 1. 梶山女 北島、片桐、木村 4:35.0
 2. 東京第四 藤森、原、福島 4:37.2
 3. 京都二條 南、高田、谷口 4:43.4
 4. 廣島土肥 畝川、梶岡、魚井 4:53.4
決勝 1. 梶山女 北島、片桐、木村 4:32.2
 2. 京府第一 宮井、東、伊藤 4:37.2
 3. 愛知淑徳 山本、鈴木、鈴木(美) 4:37.6

得 點 表

一等 7點 二等 5點
各種目 三等 4點 四等 3點
五等 2點 六等 1點

種 校 目 名	二〇〇米		一〇〇米		五〇米		二〇米		一〇米		得 點 合 計	順 位
	リ	泳	リ	泳	リ	泳	リ	泳	リ	泳		
京都府第二	7		5	2	7				7	2	30	1
名古屋椛山	4		2		2			7	3	7	25	2
愛知淑徳	5		1	4	4				1	4	19	3
東京府第四	2	3	3	1			4	2		3	18	4
臺北第一				5	5		4	4			18	4
大阪羽衣		4		3		7	3				17	5
京都府第一	3	2			3			2		5	15	6
京都二條				7				5		1	13	7
徳島女	7						3				10	8
兵庫第二	5						5				10	8
横濱女		1	7				1	1			10	8
筑紫女					1				5		6	9
岡山苦津				4							4	10
臺中女											2	11
愛知第一	1										1	12

全 國 女 子 之 部

50米自由形

- 決勝
1. 櫻井 愛 (京都二條) 33.0
 2. 小枝 蔦子 (岡山津山) 33.4
 3. 梅村 米江 (妙寺小) 35.6
 4. 伊藤 さと志 (静岡中泉) 35.8
 5. 杉山 さい (静岡伊東)
 6. 川越 梅子 (京師附小)

100米自由形

- 決勝
1. 小枝 蔦子 (岡山津山) 1:18.4
 2. 梅村 米江 (妙寺小) 1:22.2
 3. 古閑 久子 (中泉女) 1:22.2
 4. 須藤 光代 (横濱女) 1:26.0
 5. 藤田 あさ (静岡中泉)
 6. ルイズ・ステイルウエル (横濱水)

400米自由形

- 決勝
1. 須藤 光代 (横濱水) 6:31.0
 2. 古閑 久子 (中京女) 6:34.2
 3. 藤田 あさ (静岡中泉) 7:10.8
 4. 菊井 喜代子 (岡山津山) 7:15.0

50米背泳

- 決勝
1. 櫻井 愛 (京都二條) 42.2
 2. 山根 歌路 (大阪四條) 44.8
 3. 杉山 さい (静岡伊東) 45.0
 4. 石川 彰代 (岡山津山) 46.4

100米平泳

- 決勝
1. 村尾 充子 (長崎女) 1:32.8
 2. 佐田 貞子 (筑紫女) 1:43.8
 3. 澤村 宜子 (京府第二) 1:46.6
 4. 西村 愛子 (京府第一) 1:46.8
 5. 田中 シヅエ (濱寺水)

100米背泳

- 決勝
1. 伊藤 さと志 (静岡中泉) 1:29.4
 2. 山根 歌路 (京四條) 1:41.0

200米平泳

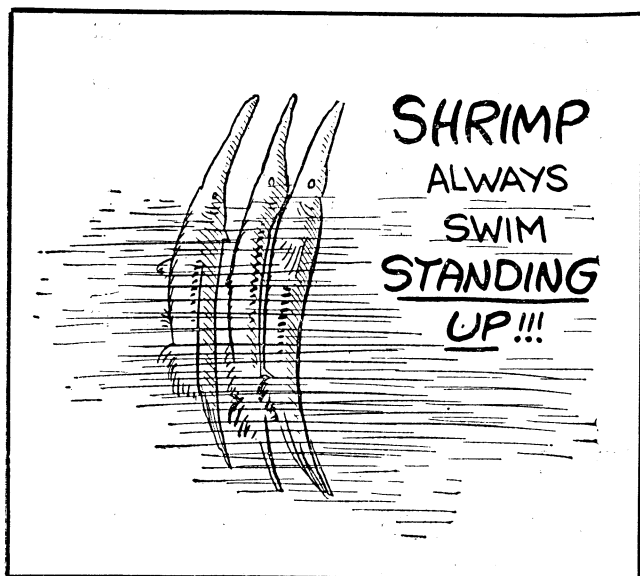
- 決勝
1. 村尾 充子 (長崎女) 3:16.0
 2. 佐田 貞子 (筑紫女) 3:46.2
 3. 柴田 清子 (濱田水) 3:47.2
 4. 澤村 宜子 (京府第二) 3:55.2
 5. 田中 シヅエ (濱寺水)
 6. 蜷川 和子 (京府第二)

飛板飛込

1. 横山 周子 (樟蔭女専) 67.38

高飛込

1. 横山 周子 (樟蔭女専) 31.96



第一回全國女子中等學校
並全國女子水上競技大會

ベストテン

大阪水泳協會作成

.....
本大會の豫選・準決勝・決勝を通じこの記録の上から見た順位を作製して見ました。中等學校の分を十位まで並べ、全國女子大會の方は中等學校十位以内にあるもののみを下の方に抜き出しました。

- | | | | |
|-----|-------|--------|--------|
| 3. | 小山道子 | (臺北第一) | 1:18.2 |
| 4. | 宅間美恵 | (大阪羽衣) | 1:18.6 |
| 5. | 福島ヒロ子 | (東京第四) | 1:18.8 |
| 6. | 三浦はな | (横濱女) | 1:19.8 |
| 7. | 鈴木美代子 | (愛知淑徳) | 1:20.0 |
| 8. | 岩田静江 | (京府第二) | 1:20.4 |
| 9. | 山田道子 | (東京第七) | 1:21.2 |
| 10. | 大倉篤子 | (愛知第一) | 1:22.8 |

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 小枝 篤子 | (岡山津山) | 1:18.4 |
| 古閑 久子 | (中京女) | 1:20.0 |
| 梅村 米江 | (妙寺小) | 1:21.0 |
| 須藤 光代 | (横濱女) | 1:21.6 |

50米自由形

- | | | | |
|-----|--------|--------|------|
| 1. | 谷口美代子 | (京都二條) | 33.4 |
| 2. | 小山道子 | (臺北第一) | 33.8 |
| 3. | 山田道子 | (東京第七) | 34.2 |
| 4. | {鈴木美代子 | (愛知淑徳) | 34.6 |
| | {宅間美恵 | (大阪羽衣) | 34.6 |
| 5. | 杉原元子 | (東京第四) | 35.2 |
| 6. | 辻村喜代子 | (京府第二) | 35.4 |
| 7. | 大西和子 | (愛知第一) | 35.6 |
| 8. | 松原ツル子 | (兵庫第一) | 35.8 |
| 9. | {大倉篤子 | (愛知第一) | 36.4 |
| | {岩橋佐和子 | (椚山女) | 36.4 |
| 10. | 伊藤喜代 | (京府第一) | 36.6 |
| | 櫻井 愛 | (京都二條) | 33.0 |
| | 小枝 篤子 | (岡山津山) | 33.4 |
| | 伊藤さとし | (静岡中泉) | 35.2 |
| | 梅村 米江 | (妙寺小) | 35.6 |

100米自由形

- | | | | |
|----|-------|--------|--------|
| 1. | 谷口代美子 | (京都二條) | 1:16.8 |
| 2. | 木村繁子 | (椚山女) | 1:17.4 |

400米自由形

- | | | | |
|-----|-------|--------|--------|
| 1. | 三浦はな | (横濱女) | 6:04.2 |
| 2. | 岸田静枝 | (京府第二) | 6:22.4 |
| 3. | 福島ヒロ子 | (東京第四) | 6:26.4 |
| 4. | 湯本信子 | (岡山苦津) | 6:28.0 |
| 5. | 小西真知子 | (京府第一) | 6:33.4 |
| 6. | 田原宣子 | (愛知淑徳) | 6:36.0 |
| 7. | 木村繁子 | (椚山女) | 6:36.2 |
| 8. | 福永美智子 | (愛知淑徳) | 6:39.6 |
| 9. | 齋藤祐子 | (長崎女) | 6:43.0 |
| 10. | 伊藤喜代 | (京府第一) | 6:44.2 |
| | 須藤 光代 | (横濱女) | 6:31.0 |
| | 古閑 久子 | (中京女) | 6:34.2 |

50米背泳

- | | | | |
|----|-------|--------|------|
| 1. | 泉百合子 | (京府第一) | 40.2 |
| 2. | 金村那美子 | (臺北第一) | 41.0 |
| 3. | 山本うた | (愛知淑徳) | 41.2 |
| 4. | 北島静子 | (椚山女) | 41.6 |
| 5. | 宮井良子 | (京府第一) | 42.0 |
| 6. | 畝川澄枝 | (廣島土肥) | 42.2 |
| 7. | 小田タイ子 | (筑紫女) | 42.4 |

8.	藤森清江	(東京第四)	43.6
9.	山崎いく子	(愛知第一)	43.8
10.	菱木ふさ	(京府第二)	44.0
	櫻井愛	(京都二條)	42.2

100米背泳

1.	北島静子	(梶山女)	1:30.8
2.	泉百合子	(京府第二)	1:31.6
3.	小田タイ子	(筑紫女)	1:31.8
	山本うた	(愛知淑徳)	1:31.8
4.	金村那美子	(臺北第一)	1:32.6
5.	宮井良子	(京府第一)	1:33.4
6.	菱木ふさ	(京府第二)	1:35.0
7.	山崎いく子	(愛知第一)	1:35.4
8.	畝川澄枝	(廣島土肥)	1:35.8
9.	小木曾穂子	(愛知淑徳)	1:38.0
10.	南きみ	(京都二條)	1:39.8
	藤森清江	(東京第四)	1:39.8
	伊藤さとし	(静岡中泉)	1:29.4

100米平泳

1.	中山絹子	(徳島女)	1:34.4
2.	南里千瑳子	(兵庫第二)	1:34.8
3.	村田三千子	(大阪羽衣)	1:35.4
4.	東トヨ	(京府第一)	1:36.8
5.	原日出子	(東京第四)	1:37.0
6.	吉田壽子	(横濱女)	1:40.2
7.	梶岡廣子	(廣島土肥)	1:41.2
8.	平石富美子	(長崎女)	1:41.4
9.	鈴木登美子	(愛知淑徳)	1:43.2
10.	金ヶ原俊子	(筑紫女)	1:43.8
	村尾充子	(長崎女)	1:32.2
	佐田貞子	(筑紫女)	1:43.8

200米平泳

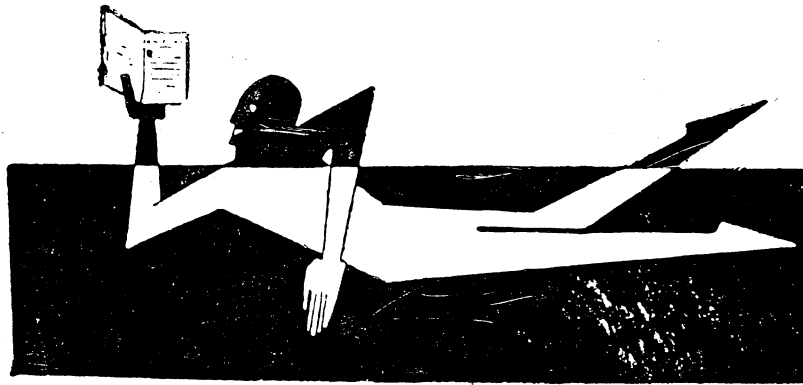
1.	村田三千子	(大阪羽衣)	3:23.0
2.	南里千瑳子	(兵庫第二)	3:25.0
3.	原日出子	(東京第四)	3:26.2
4.	中山絹子	(徳島女)	3:28.2
5.	迫登志子	(臺中女)	3:30.2
6.	吉田壽子	(横濱女)	3:32.2
7.	東トヨ	(京府第一)	3:34.0
8.	金ヶ原俊子	(筑紫女)	3:37.8
9.	吉村睦子	(筑紫女)	3:40.2
10.	榎マサノ	(廣島土肥)	3:40.4
	村尾充子	(長崎女)	3:16.0

200米リレー

1.	京都府第二高女	2:24.8
	愛知淑徳高女	2:24.8
2.	梶山女学園	2:25.2
3.	東京府第四高女	2:25.8
4.	京都府第一高女	2:27.8
5.	愛知縣第一高女	2:28.0
6.	大阪府夕陽丘高女	2:31.2
7.	岡山縣苦津高女	2:33.2
8.	京都市二條高女	2:36.0
9.	三重縣津市高女	2:41.8
10.	大阪府市岡高女	2:43.2

300米メドレー・リレー

1.	梶山女学園	4:32.2
2.	京都府第一高女	4:37.2
	東京府第四高女	4:37.2
3.	愛知淑徳高女	4:37.6
4.	京都府第二高女	4:38.8
5.	京都市二條高女	4:43.4
6.	筑紫高女	4:44.4
7.	愛知縣第一高女	4:46.6
8.	廣島土肥女学園	4:53.4
9.	岡山縣苦津女学園	5:03.6
10.	静岡縣島田高女	5:23.2



第一回全國女子
中等學校並全國女子

水上競技大會
各地豫選會成績

神奈川縣中學校體育大會女子水上競技大會
第一回全國女子中等學校水上競技豫選會

11年7月27日 橫濱市立水泳場(50米)公認

氣溫 29° 水溫 25°

主催 神奈川縣中等學校體育聯盟
橫濱水泳協會

50米自由形

- 決勝 1. 石川壽美野 (橫須賀女) 37.8
2. 佐々木和子 (平塚女) 38.8
3. 増山ゆき (平塚女) 39.4

100米自由形

- 決勝 1. 三浦ハナ (橫濱女) 1:21.0
2. 石川壽美野 (橫須賀女) 1:33.0
3. 佐々木和子 (平塚女) 1:36.6

400米自由形

- 決勝 1. 三浦ハナ (橫濱女) 6:22.0
2. 吉田壽子 (橫濱女) 7:23.0
3. 佐々木和子 (平塚女) 7:47.8

50米平泳

- 決勝 1. 吉田壽子 (橫濱女) 47.0
2. 熊谷幸子 (平塚女) 49.0
3. 竹山久子 (橫須賀女) 51.8

100米平泳

- 決勝 1. 吉田壽子 (橫濱女) 1:39.6
2. 大井美奈 (橫須賀女) 1:52.2
3. 熊谷幸子 (橫須賀女) 1:53.8

50米背泳

- 決勝 1. 佐々木和子 (平塚女) 48.4
2. 森菊代 (平塚女) 49.0
3. 石川壽美野 (橫須賀女) 49.8

100米背泳

- 決勝 1. 森菊代 (平塚女) 1:50.8
2. 佐々木和子 (平塚女) 1:52.4
3. 石川壽美野 (橫須賀女) 1:56.0

200米リレー

- 決勝 1. 橫須賀高女 石川、大井、中野、俣野 3:01.0

2. 平塚高女 平田、福田、増山、佐々木
3. 橫濱高女 三浦、林、近藤、矢田

第一回
全國女子中等學校水上競技山陽豫選會

11年7月27日 廣島第二中學校游泳池(50米)公認

氣溫 27.5° 水溫 24°

主催 廣島縣體育協會

50米自由形

- 決勝 1. 藤田富美子 (城北女) 38.4
2. 小原綾子 (苫津女) 38.6
3. 魚井智慧子 (土肥女) 38.6
4. 天野貴子 (精華女) 38.8

100米自由形

- 決勝 1. 永田壽子 (苫津女) 1:24.6
2. 湯本信子 (苫津女) 1:24.6
3. 天野貴子 (精華女) 1:25.2
4. 越智幹子 (城北女) 1:28.4

400米自由形

- 決勝 1. 湯本信子 (苫津女) 6:40.8
2. 永田壽子 (苫津女) 6:41.0
3. 越智幹子 (城北女) 6:41.2
4. 歌田千代 (土肥女) 7:02.6

100米平泳

- 決勝 1. 梶岡廣江 (土肥女) 1:42.6
2. 山名壽子 (廣市女) 1:45.4
3. 片岡美智江 (土肥女) 1:46.4

200米平泳

- 決勝 1. 梶岡廣江 (土肥女) 3:41.8
2. 辻愛 (廣縣女) 3:43.8
3. 山名壽子 (廣市女) 3:46.2
4. 伊藤セツ (廣市女) 3:49.4

50米背泳

- 決勝 1. 畝川澄枝 (土肥女) 42.2
2. 曾田昌子 (廣市女) 43.4
3. 荒木芳子 (苫津女) 45.0
4. 津本竹 (苫津女) 46.5

100米背泳

- 決勝 1. 畝川澄江 (土肥女) 1:35.4
 2. 曾田昌子 (廣市女) 1:38.2
 3. 荒木芳江 (苦津女) 1:46.0
 4. 津本竹 (苦津女) 1:46.2

200米リレー

- 決勝 1. 苦津高女 湯本、湯淺、小田、永田 2:43.0
 2. 城北高女 藤田、今井、日形、越 2:40.6
 3. 廣島市女 近藤、河野、田尻、曾田 2:41.4

300米ドレー、リレー

- 決勝 1. 土肥高女 畝川、梶岡、魚井 4:53.0
 2. 廣島市女 曾田、山名、近藤 4:57.4
 3. 苦津高女 荒木、橋本、湯本 5:00.0
 4. 城北高女 御堂、遠藤、藤木 5:05.4

第六回長崎縣下女子中等學校水上競技大會
 第一回全國女子中等學校水上競技豫選會

11年7月28日 長崎高商水泳場(25米)

水溫 23°

主催 長崎縣體育協會

50米自由形

- 決勝 1. 帆足カズ子 (長崎女) 39.4
 2. 浦星ヤス (大村女) 39.7
 3. 三浦綾子 (長崎女)

100米自由形

- 決勝 1. 上村トシ子 (長崎女) 1:29.4
 2. 浦星ヤス (大村女) 1:31.5
 3. 阿野久子 (長崎女) 1:31.8

200米自由形

- 決勝 1. 齋藤裕子 (長崎女) 3:05.2
 2. 眞克 (長崎女)
 3. 相田フミエ (大村女)

400自由形

- 決勝 1. 齋藤裕子 (長崎女) 6:38.9
 2. 眞克 (長崎女) 6:59.1
 3. 相田フミエ (大村女)

100米平泳

- 決勝 1. 村尾充子 (長崎女) 1:31.0
 2. 平石富美子 (長崎女) 1:39.8
 3. 前野吉子 (大村女)

200米平泳

- 決勝 1. 村尾充子 (長崎女) 3:13.0
 2. 山本郁子 (長崎女) 3:40.3
 3. 前野吉子 (大村女)

50米背泳

- 決勝 1. 松野喜代子 (長崎女) 46.5
 2. 雄城ウメ (大村女)
 3. 帆足カズ子 (長崎女)

100米背泳

- 決勝 1. 松野喜代子 (長崎女) 1:43.2
 2. 雄城ウメ (大村女)
 3. 石川ツヤ子 (長崎女)

200米リレー

- 決勝 1. 長崎高女 阿野、帆足、村尾、三浦 2:37.4
 2. 大村高女 2:47.6
 3. 佐世保高女

400米リレー

- 決勝 1. 長崎高女 齋藤、帆足、阿野、上村 5:57.4
 2. 大村高女 6:21.5
 3. 佐世保高女

300米メドレー、リレー

- 決勝 1. 長崎高女 松野、村尾、齋藤 4:41.2
 2. 大村高女
 3. 佐世保高女

個人競技50米自由形

- 決勝 1. 森ヒサエ (大村女職) 34.3
 2. 吉元喜美子 (長崎女) 38.9
 3. 末廣泰子 (長崎女)

個人競技100米自由形

- 決勝 1. 森ヒサエ (大村女職) 1:19.5
 2. 吉元喜美子 (長崎女) 1:33.2
 3. 末廣泰子 (長崎女)

個人競技100米平泳

- 決勝 1. 中村松代 (長崎師) 1:48.4
 2. 松野泰子 (長崎女) 1:49.2
 3. 木村壽子 (長崎女)

個人競技200米平泳

- 決勝 1. 松野泰子 (長崎女) 3:54.2
 2. 木村壽子 (長崎女)
 3. 賀川節子 (長崎女)

個人競技100米背泳

- 決勝 1. 松野孝子 (長崎師) } 1:42.5
 2. 城門靜子 (長崎女)

個人競技50米背泳

- 決勝 1. 松野孝子 (長崎師) 44.6
 2. 城門靜子 (長崎女)

三重縣水上競技選手権大會
 兼全國男子競泳大會並
 第一回全國女子中等學校水上競技地方豫選大會

11年8月1日 三重高農水泳場(25米)公認

氣溫 32° 水溫 29°

主催 三重水泳聯盟

男子100米自由形

- 決勝 1. 中山重正 (關 學) 1:05.6
 2. 小牧徹生 (津 中) 1:08.0
 3. 濱田奎二 (尾鷲中) 1:08.4

男子200米自由形

- 決勝 1. 中山重正 (關 學) 2:31.8
 2. 小牧徹生 (津 中) 2:33.8
 3. 濱田奎二 (鷲 中) 2:39.6

男子400米自由形

- 決勝 1. 岡山英太郎 (津 中) 5:44.0
 2. 佐藤元春 (津 中) 5:45.4
 3. 松本 徹 (四日市商) 5:47.0

男子1500米自由形

- 決勝 1. 松本 徹 (四日市商) 22:44.0
 2. 伊藤雅敏 (津 中) 22:59.4
 3. 大井角次 (三重高農) 23:18.2

男子100米背泳

- 決勝 1. 藤村 守 (津 中) 1:14.8^{三重新}
 2. 鈴木 實 (津 中) 1:24.8
 3. 川崎三郎 (四日市商) 1:28.0

男子200米平泳

- 決勝 1. 片岡慶次 (三重高農) 3:05.4
 2. 尾崎和也 (富田中) 3:08.4
 3. 小澤 博 (津 中) 3:10.4

男子200リレー

- 決勝 1. 津中 學 市川、藤村、鈴木、岡山 2:03.6
 2. 志摩水産 播磨、岩城、山際、西岡 2:06.2
 3. 富田中學 北田、伊藤、田中、尾崎 2:06.8

男子800米リレー

- 決勝 1. 津中 學 小牧、岡山、伊藤、佐藤 10:40.0^{大會新}
 2. 志摩水産 山際、小林、西岡、岩城 11:05.6
 3. 富田中學 田中、尾崎、伊藤、北田 11:50.2

女子100米自由形

- 決勝 1. 鈴木好子 (市津女) 1:24.6^{大會並}
 2. 田中芳子 (市津女) 1:26.6^{三重新}
 3. 山田君江 (市津女) 1:32.0

女子400米自由形

- 決勝 1. 鈴木好子 (市津女) 6:56.2^{大會並}
 2. 田中芳子 (市津女) 6:57.3^{三重新}
 3. 白井祥子 (縣津女) 7:39.4

途中正式計時 200米

- 田中芳子 3:13.8^{大會並}
 三重新

女子100米背泳

- 決勝 1. 皆川美江子 (市津女) 1:51.2
 2. 細野たまゑ (縣津女) 1:52.0

3. 鈴木田鶴 (縣津女) 1:04.6

女子100米平泳

- 決勝 1. 鹽田多枝子 (縣津女) 1:46.6
 2. 宇野文子 (市津女) 1:48.8
 3. 山名尚子 (市津女) 1:49.0

女子200米平泳

- 決勝 1. 鹽田多枝子 (縣津女) 3:48.8
 2. 宇野文子 (市津女) 3:53.8
 3. 山名尚子 (市津女) 3:54.4

女子200米リレー

- 決勝 1. 市立津高女 鈴木、皆川、山田、田中 2:40.8
 2. 三重縣高女 白井、鈴木、今井、細野 3:07.6

小學校100米自由形

1. 三浦彌太郎 (小野江小) 1:25.4^{大會新}
 2. 西村哲生 (田丸小) 1:27.0^{大會新}
 3. 石田國男 (泗第三小) 1:27.6

小學校50米背泳

1. 齋藤 隆 (小野江小) 47.4
 2. 桑内 勇 (泗第三小) 50.0
 3. 川合 仁 (小野江小) 52.0

小學校100米平泳

1. 山崎幸生 (小野江小) 1:39.6
 2. 福村秀三 (泗第三小) 1:42.8
 3. 上野山秀夫 (泗第三小) 1:49.4

小學校200米リレー

1. 泗第三小學 加藤、桑内、豊田、石田 2:35.2
 2. 田丸小學校 下村、村山、谷崎、西村 2:48.4
 3. 小野江小學 齋藤、田邊、川合、三浦 3:03.8

青年團100米自由形

1. 吉川四郎 (知敬青) 1:18.6
 2. 中川清 (養正青) 1:23.2
 3. 青木文雄 (新町青) 1:29.8

青年團100米背泳

1. 近藤徹也 (新町青) 1:42.8
 2. 天野由男 (立誠青) 2:26.0
 3. 堀尾富士雄 (立誠青) 2:55.2

青年團200米平泳

1. 松永正治 (養正青) 3:30.2^{大會新}
 2. 堀尾富士雄 (立誠青) 3:43.0^{大會新}
 3. 倉田數生 (修成) 3:54.4

第四回高知縣下女子選手權競技會兼
 全國女子中等學校水上競技高知豫選會

11年8月1日 高知市設水泳場(50米)

氣温 31° 水温 24.5°

主催 高知縣水上競技聯盟

50米自由形

- 決勝 1. 藤田佳子 (土佐女) 39.0
 2. 井上富美子 (第二女) 39.7
 3. 土方満 (土佐女) 40.0

100米自由形

- 決勝 1. 八井田房子 (土佐女) 1:23.5
 2. 岡林明子 (第二女) 1:27.0
 3. 藤田佳子 (土佐女) 1:30.8

200米自由形

- 決勝 1. 坂本美代子 (第一女) 3:11.8
 2. 森脇操子 (第二女) 3:26.5

400米自由形

- 決勝 1. 坂本美代子 (第一女) 6:45.5
 2. 土方満 (土佐女)
 3. 小川宏子 (第一女)

100米平泳

- 決勝 1. 田所美子 (第一女) 1:41.8
 2. 八井田澄 (土佐女) 1:46.2
 3. 信吉綾子 (土佐女) 1:46.6

200米平泳

- 決勝 1. 田所美子 (第一女) 3:48.7
 2. 八井田澄 (土佐女) 3:50.7
 3. 信吉綾子 (土佐女) 3:54.3

50米背泳

- 決勝 1. 澤村笑子 (第一女) 45.7
 2. 島本暢子 (第一女) 46.8
 3. 川崎絹子 (土佐女) 47.2

100米背泳

- 決勝 1. 澤村笑子 (第一女) 1:41.8
 2. 島本暢子 (第一女) 1:45.1
 3. 川崎絹子 (土佐女) 1:45.5

200米リレー

- 決勝 1. 土佐高女 藤田、島村、土方、八井田 2:33.6
 2. 第二高女 山本、岡林、井上、森脇 2:37.5

300米メドレー、リレー

- 決勝 1. 第一高女 島本、白井、森田 5:19.8

第四回女子中等學校水上競技大會兼
 全國女子中等學校競技大阪豫選會

11年8月1日 大阪市立運動場水泳場(50米)公認

主催 大阪府體育運動聯盟

一部50米自由形

- 決勝 1. 吉田悦子 (夕陽丘女) 37.8
 2. 秋保慶子 (夕陽丘女)
 3. 高橋智恵子 (夕陽丘女)

二部50米自由形

- 決勝 1. 宅間美恵 (羽衣女) 36.4

2. 吉村邦子 (夕陽丘女)

3. 柴田佐代子 (市岡女)

二部100米自由形

- 決勝 1. 田中土津子 (夕陽丘女) 1:26.6
 2. 宮崎和子 (市岡女)
 3. 安武かづ子 (市岡女)

一部100米自由形

- 決勝 1. 宅間美恵 (羽衣女) 1:21.8大會新
 2. 吉村邦子 (夕陽丘女)
 3. 鈴木壽美江 (羽衣女)

一部400米自由形

- 決勝 1. 田中土津子 (夕陽丘女) 6:43.6大會新
 2. 宮崎和子 (市岡女)
 3. 秋保慶子 (夕陽丘女)

二部400米自由形

- 決勝 1. 鈴木壽美江 (羽衣女) 8:13.6
 2. 藤原緑 (夕陽丘女)
 3. 森敏子 (夕陽丘女)

一部50米背泳

- 決勝 1. 山根歌路 (四條畷女) 44.6
 2. 西井ひさ (夕陽丘女)
 3. 松本千恵子 (市岡女)

二部50米背泳

- 決勝 1. 木原義子 (夕陽丘女) 55.0
 2. 龜井佐起子 (市岡女)
 3. 内宮君恵 (市岡女)

一部100米背泳

- 決勝 1. 山根歌路 (四條畷女) 1:39.0
 2. 西井ひさ (夕陽丘女)
 3. 松本千恵子 (市岡女)

二部200米背泳

- 決勝 1. 龜井佐起子 (市岡女) 2:05.8
 2. 木原義子 (夕陽丘女)
 3. 内宮君恵 (市岡女)

一部100米平泳

- 決勝 1. 村田三千子 (羽衣女) 1:36.0
 2. 中村ひろ (市岡女)
 3. 朝村紀美子 (四條畷女)

二部100米平泳

- 決勝 1. 浅野トシ子 (羽衣女) 1:48.6
 2. 米田晴仔 (夕陽丘女)
 3. 林慶子 (夕陽丘)

一部200米平泳

- 決勝 1. 村田三千子 (羽衣女) 3:23.4
 2. 中村ひろ (市岡女)
 3. 朝村紀美子 (四條畷女)

二部200米平泳

- 決勝 1. 浅野トシ子 (羽衣女) 3:58.6
 2. 半田晴仔 (夕陽丘女)
 3. 長岡孝子 (市岡女)

一部200米リレー
決勝 1. 夕陽丘高女 秋保、高橋 2: 36.6
 2. 市岡高女 田中、吉田
 安武、小川
 山内、宮崎

二部200米リレー
決勝 1. 夕陽丘高女 松田、米田 3: 21.6
 2. 市岡高女 鈴木、吉村
 柴田、吉川
 藤原、柴田

一部得点
 夕陽丘 77
 市岡 53
 四條畷 22
 羽衣 14

第四回西日本女子中等學校水上競技大會兼
 第一回全國女子中等學校水上競技九州豫選會

11年8月1日 九州帝大水泳場(25米)
 氣温 29° 水温 28°
 主催 福岡水泳協會

100米平泳
決勝 1. 金ヶ原俊子 (筑紫女) 1: 41.0
 2. 榑原住代 (久留米女) 1: 41.3
 3. 吉村睦枝 (筑紫女)

50米自由形
決勝 1. 秋山幸子 (久留米女) 36.2
 2. 久野安佐子 (筑紫女) 36.2
 3. 秋山和子 (久留米女)

50米背泳
決勝 1. 小田アイ子 (筑紫女) 42.8
 2. 福澤美代子 (筑紫女) 43.7
 3. 生津キヨエ (久留米女)

100米自由形
決勝 1. 秋山幸子 (久留米女) 1: 23.1
 2. 久野安佐子 (筑紫女) 1: 23.4
 3. 佐藤環 (久留米女)

200米平泳
決勝 1. 金ヶ原俊子 (筑紫女) 3: 32.8
 2. 吉村睦枝 (筑紫女) 3: 34.4
 3. 渡邊スミ子 (筑紫女)

100米背泳
決勝 1. 小田アイ子 (筑紫女) 1: 30.7
 2. 生津キヨエ (久留米女) 1: 39.8
 3. 郡安佐子 (筑紫女)

400米自由形
決勝 1. 佐藤環 (久留米女) 6: 45.7
 2. 森原和子 (筑紫女) 6: 59.0
 3. 鹽川直子 (筑紫女)

200米リレー

決勝 1. 久留米高女 2: 35.6
 2. 筑紫高女 2: 36.3
 3. 佐賀高女

300米メドレー、リレー
決勝 1. 筑紫高女 4: 36.6
 2. 久留米高女 4: 46.7

第一回關東女子中等學校水上競技大會兼
 全國女子中等學校水上競技關東豫選會

11年8月2日 明治神宮外苑水泳場(50米)公認
 氣温 29° 水温 23°
 主催 關東水泳協會

100米自由形
決勝 1. 福島ヒロ子 (府四女) 1: 19.0
 2. 太田隆子 (府六女) 1: 21.4
 3. 山田道子 (府七女) 1: 22.4

100米背泳
決勝 1. 藤森清江 (府四女) 1: 39.4
 2. 富山八重子 (府一女) 2: 16.6
 3. 山根八重子 (府一女) 2: 18.2

200米平泳
決勝 1. 原日出子 (府四女) 3: 25.8
 2. 齋藤房江 (巢鴨女商) 3: 30.6
 3. 萩原玉江 (府四女) 3: 44.4

400米自由形
決勝 1. 福島ヒロ子 (府四女) 6: 27.2
 2. 太田隆子 (府六女) 6: 30.2
 3. 山田八重子 (共立女職) 6: 31.6

50米自由形
決勝 1. 山田道子 (府七女) 34.2
 2. 杉原元子 (府四女) 36.6
 3. 川瀬恵子 (府一女) 41.4

50米背泳
決勝 1. 藤森清江 (府四女) 45.4
 2. 鳥居久子 (神田女) 54.8
 3. 松下俊子 (府一女) (1: 02.0)

100米平泳
決勝 1. 原日出子 (府四女) 1: 37.4
 2. 齋藤房江 (巢鴨女商) 1: 40.6
 3. 萩原玉江 (府四女) 1: 44.2

300米メドレー、リレー
決勝 1. 府立第四女 藤森、原 4: 44.6
 福島
 2. 府立第一女 富山、大野 5: 53.4
 川瀬

200米リレー
決勝 1. 府立第四女 杉原、藤森 2: 29.6
 萩原、福島
 2. 府立第一女 野村、梨本 2: 57.0
 梅川、池上

得 點

府立第四高女	83
府立第一高女	48
府立第七高女	11
巢鴨女子商業	10
府立第六高女	10
共立女職	6
神田高女	5

第九回少年水上競技大會兼
 男子全國大會地方豫選
第一回女子中等學校水上競技地方豫選會

11年8月2日 濱農蠶水泳場(25米)公認
 氣溫 29.5° 水溫 27°
 主催 濱名灣游泳協會

女子中等之部

50米自由形

決勝 1. 平井みゑ (島田女) 48.2
 2. 不知みね (島田女) 53.4

100米自由形

決勝 1. 福島ふさ (島田女) 1:29.4
 2. 熊澤佐代 (島田女) 1:41.0

100米背泳

決勝 1. 沖久 (島田女) 1:58.4

400米自由形

決勝 1. 福島ふさ (島田女) 7:53.0

100米平泳

決勝 1. 山野壽 (島田女) 1:47.4

50米背泳

決勝 1. 沖久 (島田女) 51.0

200米リレー

決勝 1. 島田高女 平井、熊澤、不知、福島 2:54.6

200米平泳

決勝 1. 山野壽 (島田女) 3:51.2

300米メドレー、リレー

決勝 1. 島田高女 山野、沖、福島 5:19.0

50米平泳

決勝 1. 熊澤さよ (島田女) 44.4

男子之部

100米自由形

決勝 1. 中村岩太郎 (日大) 1:04.6
 2. 鈴木欣一 (袋井商) 1:08.6

400米自由形

決勝 1. 伊藤憲利 (袋井商) 5:26.0

200米自由形

決勝 1. 中村岩太郎 (日大) 2:33.6
 2. 鈴木欣一 (袋井商) 2:35.2

100米平泳

決勝 1. 加藤久男 (袋井商) 1:25.8

200米平泳

決勝 1. 加藤久男 (袋井商) 2:55.4

1500米由形

決勝 1. 伊藤憲利 (袋井商) 22:10.9

200米背泳

決勝 1. 大杉信孝 (中泉農) 2:52.4

少年之部 (A組)

100米自由形

決勝 1. 新村繁夫 (濱松一中) 1:08.8 大會新
 2. 園盛保 (濱松一中) 1:14.4
 3. 平尾茂夫 (新所小)
 4. 菅沼陽一 (新所小)

400米自由形

決勝 1. 高須博 (濱松二中) 5:44.6
 2. 古橋幸雄 (中泉農) 5:44.6
 3. 多々良喜代美 (村櫛小)
 4. 中村軍治 (村櫛小)

100米平泳

決勝 1. 加藤久雄 (袋井商) 1:19.4 大會新
 2. 金子榮一郎 (入出小) 1:31.2
 3. 菅沼陽一 (新所小)
 4. 堀尾美津夫 (村櫛小)

100米背泳

決勝 1. 大杉信孝 (中泉農) 1:20.2 大會新
 2. 忠内知加志 (新所小) 1:25.8 大會新
 3. 藤井敬次郎 (村櫛小)
 4. 藤田三千雄 (村櫛小)

200米自由形

決勝 1. 新村繁夫 (濱松一中) 2:32.4
 2. 高須博 (濱松二中) 2:36.8
 3. 園益保 (濱松一中)
 4. 古橋幸雄 (中泉農)

400米リレー

決勝 1. 濱松一中 園益、小笠原、内田、新村 5:00.6
 2. 新所小學校 菅沼、忠内、平尾、菅沼 5:05.0
 3. 村櫛小學校
 4. 袋井商業

(B組)

50米自由形

決勝 1. 浮海忠 (入出小) 38.0
 2. 山田幸一 (入出小) 39.0
 3. 柳原政次 (村櫛小)
 4. 中村信一 (村櫛小)

200米自由形

決勝 1. 浮海忠 (入出小) 3:03.6
 2. 柴田房吉 (村櫛小) 3:09.6
 3. 池田四郎 (入出小)

4. 德増甚一郎 (村櫛小)
- 100米自由形
 決勝 1. 山本一夫 (入出小) 1:24.8
 2. 池田四郎 (入出小) 1:25.0
 3. 德増四郎 (村櫛小)
 4. 柴田房吉 (村櫛小)

- 100米背泳
 決勝 1. 山本一夫 (入出小) 1:44.0
 2. 鈴木節夫 (村櫛小) 1:46.8
 3. 柴田策三 (村櫛小)

- 100米平泳
 決勝 1. 石塚幸雄 (村櫛小) 1:37.0^{大會新}
 2. 山本豊 (入出小) 1:37.4
 3. 細井定一 (村櫛小)

- 200米リレー
 決勝 1. 入出小學校 池田、山田、山本、浮海、山本 2:33.6
 2. 村櫛小學校 德増、柳原、中村、柴田 2:37.0

- 150米メドレー、リレー
 決勝 1. 入出小學校 山本、山本、浮海 2:11.8
 2. 村櫛小學校 鈴木、石原、柴田 2:12.2

- 300米メドレー、リレー
 決勝 1. 新所小學校 忠内、菅沼、平尾 4:11.8
 2. 濱松一中 内田、内田、新村 4:18.4
 3. 村櫛小學校
 4. 袋井商業

第一回徳島縣女子中等學校水上競技大會

11年8月2日 徳島高等女學校水泳場
 氣温 28° 水温 24.5°
 主催 徳島縣水上競技聯盟

- 50米自由形
 決勝 1. 後藤澄子 (徳島高女) 41.8
 2. 槌谷歳枝 (徳島高女)
 3. 稻津のぶ (徳島女師)

- 100米自由形
 決勝 1. 勝野イシ子 (徳島高女) 1:35.2
 2. 中村久子 (徳島高女)
 3. 後藤澄子 (徳島高女)

- 400米自由形
 決勝 1. 中村久子 (徳島高女) 7:26.8
 2. 勝野イシ子 (徳島高女)
 3. 稻津のぶ (徳島女師)

- 100米平泳
 決勝 1. 中山絹子 (徳島高女) 1:36.1
 2. 江西久子 (徳島高女)

3. 宮川久子 (徳島高女)
- 200米平泳
 決勝 1. 中山絹子 (徳島高女) 3:27.2
 2. 江西久子 (徳島高女)

- 50米米背泳
 決勝 1. 後藤久子 (徳島高女) 55.1
 2. 磯崎美智 (徳島高女)

- 100米背泳
 決勝 1. 佐藤久子 (徳島高女) 2:03.5
 2. 磯崎美智 (徳島高女)

- 200米リレー
 決勝 1. 徳島高女 勝野、後藤、槌谷、中村 2:47.4

- 300米メドレー、リレー
 決勝 1. 徳島高女 佐藤、中山、中村 5:05.5

昭和十一年度
 北海道水上競技選手権大會兼全國競泳及飛込大會
全國女子中等學校競技北海道豫選會

11年8月2日 小樽市立中學校水泳場(25米)未公認
 水温 19° 氣温 22°
 主催 北海道水上競技聯盟

- 100米平泳
 決勝 1. 遠藤新一 (北海商) 1:28.1
 2. 松浦基徳 (一泳會) 1:28.1
 3. 戸政治 (濤泳會)

- 男子100米自由形
 決勝 1. 濱地正道 (濤泳會) 1:05.6
 2. 山崎昇 (札幌鐵) 1:06.8
 3. 池田四藏 (一泳會) 1:13.0

- 男子1500米自由形
 決勝 1. 小山内正味 (北海商) 25:17.2
 2. 笠原嘉市 (北海商) 28:26.0

- 女子300米メドレー、リレー
 決勝 1. 定山溪 飯田、高橋、水泳協會、石田 6:53.2

- 男子300米メドレー、リレー
 決勝 1. 濤泳會 赤塚、一戸、濱地 4:00.0

- 男子200米リレー
 決勝 1. 小樽競泳 茨木、伊藤、クラブ、福島、佐藤 2:05.4

- 男子800米自由形
 決勝 1. 小山内正味 (北海商) 12:46.0
 2. 岩淵徳美 (札幌商) 14:04.4
 3. 笠原嘉市 (北海商) 14:28.0

- 女子50米自由形
 決勝 1. 石田レイ子 (定山溪) 44.3
 2. 飯田チヨ子 (定山溪) 46.2
 3. 小出房子 (定山溪) 47.6

- 男子100米背泳

- 決勝 1. 赤塚英雄 (濤泳會) 1:21.4
 2. 酒井秀雄 (留 萌) 1:25.8
 3. 内見 實 (室蘭中) 1:46.2

女子200米平泳

- 決勝 1. 高橋ミサホ (定山溪) 4:21.9

男子400米自由形

- 決勝 1. 伊藤今慈 (小樽俱) 6:49.0
 2. 片野正夫 (小樽俱) 7:01.6
 3. 河部義雄 (定山溪) 7:01.6

女子100米自由形

- 決勝 1. 石田レイ子 (定山溪) 1:48.5
 2. 飯田チヨ子 (定山溪) 1:52.5

女子100米平泳

- 決勝 1. 高橋ミサヲ (定山溪) 2:06.7

男子200米自由形

- 決勝 1. 濱地正道 (濤泳會) 2:32.7
 2. 山崎 昇 (札 鐵) 2:40.0
 3. 阿部義雄 (定山溪) 3:07.6

男子200米背泳

- 決勝 1. 赤塚英雄 (濤泳會) 3:00.2
 2. 酒井秀雄 (留 萌) 3:18.0

男子200平泳

- 決勝 1. 遠藤新一 (北海商) 3:17.2
 2. 松浦基德 (一泳會) 3:18.0
 3. 齋藤 (一泳會)

女子200米リレー

- 決勝 1. 定山溪 上出、飯田 3:24.3
 水泳協會 石田、高橋

男子800米リレー

- 決勝 1. 小樽競泳俱 中野、佐藤 12:34.8
 福島、伊藤

第八回全山陰水上競技選手権大會
 第一回全山陰女子中等學校水上競技大會

11年8月2日 松江市末次埋立地水泳場

氣温 30.2° 水温 26.4°

主催 松江體育協會

女子50米自由形

- 決勝 1. 川上幸子 (女 師) 41.6
 2. 中島百合子 (濱田高女) 43.0
 3. 岡田幸子 (濱田高女) 47.7

女子100米自由形

- 決勝 1. 森岡恒子 (濱田高女) 1:27.2
 2. 中島百合子 (濱田高女) 1:35.2
 3. 寺戸房子 (濱田高女) 1:39.3

女子400米自由形

- 決勝 1. 森岡恒子 (濱田高女) 7:07.1
 2. 寺戸房子 (濱田高女) 8:03.5
 3. 岡田幸子 (濱田高女) 8:35.8

女子100米平泳

- 決勝 1. 高宮富子 (松江高女) 2:00.2
 2. 森 愛子 (濱田高女) 2:05.0
 3. 古満幸子 (松江高女) 2:08.3

女子200米平泳

- 決勝 1. 高宮富子 (松江高女) 4:16.5
 2. 吉城安子 (松江高女) 4:32.5
 3. 村上静美 (濱田高女) 4:44.3
 4. 森 愛子 (濱田高女) 4:44.9

女子50米背泳

- 決勝 1. 東地紀子 (松江高女) 49.8
 2. 山本千代子 (濱田高女) 51.1
 3. 岩井満子 (濱田高女) 53.1

女子100米背泳

- 決勝 1. 東地紀子 (松江高女) 1:48.5
 2. 山本千代子 (濱田高女) 1:49.8
 3. 服部登代子 (濱田高女) 2:01.4

女子200米リレー

- 決勝 1. 濱田高女 森岡、寺戸 2:46.5
 服部、中島
 2. 松江高女 3:35.1

女子300米メドレー、リレー

- 決勝 1. 濱田高女 山本、上村 5:27.7
 森岡
 2. 松江高女 5:45.7

男子100米自由形

- 決勝 1. 泉 義 明 (太田中) 1:05.4
 2. 大野一夫 (三瓶俱) 1:07.5
 3. 本川八郎 (濱田中) 1:09.1

男子200米自由形

- 決勝 1. 泉 義 明 (太田中) 2:29.5
 2. 齋藤勝彦 (江田中) 2:42.9
 3. 本川八郎 (濱田中) 2:43.6

男子400米自由形

- 決勝 1. 飯塚 功 (島根工) 5:16.8
 2. 沖吾七郎 (太田中) 5:39.5
 3. 三谷幸雄 (島根工) 5:39.8

男子1500米自由形

- 決勝 1. 飯塚 功 (島根工) 21:32.6
 2. 沖吾七郎 (太田中) 21:49.4
 3. 三谷幸雄 (島根工) 22:28.8

男子100米平泳

- 決勝 1. 出井 潔 (今市鐵) 1:26.6
 2. 新保 亮 (太田中) 1:28.1
 3. 三代 智 (島根工) 1:30.4

男子200米平泳

- 決勝 1. 三代 智 (島根工) 3:11.5
 2. 泉 淳 一 (太田中) 3:12.1
 3. 新保 亮 (濱田中) 3:19.0

男子100米背泳

- 決勝 1. 西田 眞 (濱田中) 1:23.1
 2. 持田 延雄 (島根工) 1:29.2
 3. 勝部 林 (松江商) 1:29.4

男子200米背泳

- 決勝 1. 西田 眞 (濱田中) 3:05.1
 2. 持田 延雄 (島根工) 3:16.6
 3. 井上 光男 (太田中) 3:21.7

男子800米リレー

- 決勝 1. 太田中學 沖、渡邊、松村、泉 10:40.8
 2. 松江中學 11:03.5
 3. 島根工業 11:09.5

男子300米メドレー、リレー

- 決勝 1. 濱田中學 西田、新保、本川 3:57.4
 2. 太田中學 井上、泉 4:04.8
 3. 島根工業 3:07.7

男子50米泳自由形

- 決勝 1. 竹谷 要 (八束小) 38.6
 2. 東原 保 (泊小) 39.6
 3. 豊島 登 (八束小) 40.4

男子200米リレー

- 決勝 1. 八束小學校 竹谷、橋、橋、豊島 2:48.1
 2. 惠曇小學校 3:37.7

高男100米自由形

- 決勝 1. 北端 元一 (泊小) 1:12.8
 2. 足利 友夫 (湯里小) 1:13.0
 3. 榎野 敏夫 (太田小) 1:28.4

高男200米リレー

- 決勝 1. 湯里小學校 中田、竹本、西村、足利 2:24.8
 2. 太田小學校 榎野、濱野、上原、服部 2:34.8
 3. 惠曇小學校 岡本、青山柳、青山郁、青山功 2:41.1

第一回中部日本水上競技大會兼
 全國女子中等學校水競技大會富山縣豫選

11年8月6日 富山縣福野町水泳場

主催 富山縣體育協會及福野町

女子50米自由形

1. 泉 喜志 (魚女) 37.0
 2. 鍋谷 のぶ (魚女)
 3. 澤田 きみ子

女子100米自由形

1. 松田 二子 (魚女)
 2. 中島 きみ子 (魚女)
 3. 澤田 喜美子 (魚女)

女子100米平泳

1. 漆間 千鶴子 (魚女) 1:55.4

2. 尾島 百合子 (魚女)

女子50米背泳

1. 五十嵐 友子 (魚女) 48.4
 2. 米田 千鶴子

女子200米リレー

1. 魚津高女

男子100米自由形

1. 尾口 正雄 (伏木商) 1:04.4
 2. 川浦 正文 (富山)
 3. 八塚 (富高商)

男子200米自由形

1. 川浦 正文 (富山) 2:41.4
 2. 伏木 政士 (伏木商)
 3. 永生 慈行 (礪中)

男子400米自由形

1. 林 正洋 (高岡中) 5:41.6
 2. 野村 (富高商)
 3. 放生 義男 (伏木商)

男子200米平泳

1. 前田 (富高商) 3:19.5
 2. 見律 健治 (伏木商)
 3. 能町 正雄 (伏木商)

男子100米背泳

1. 松 正洋 (高中OB)
 2. 串田 (高商)
 3. 石川 (伏本商)

男子400米リレー

1. 高岡商業 4:47.8
 2. 伏木商業

男子80米リレー

1. 高岡商業 11:06.0
 2. 伏木商業
 3. 礪波中學

女子中等學校豫選

100米自由形

1. 泉 喜代志 (魚女) 7:02.8
 2. 松田 二子 (魚女)

200米平泳

1. 尾島 百合子 (魚女) 4:13.0
 2. 漆間 千鶴

100米背泳

1. 五十嵐 友子 (魚女) 1:48.4
 2. 米田 千鶴子 (魚女)

300米メドレー、リレー

1. 魚津高女

競技に弱い選手

齋 藤 亨

多くの選手の中には、試合になつて平常の實力を發揮し得ない者がある。この中には病氣の爲めの者もあるし、身體は健康である者もある。練習中常に優秀な記録を出し、體力はあり、フォームも整つて居る者が、試合の二三日前から記録が悪くなり、或は試合に臨んでがつたり落ちて、期待を見事裏切られる事のあるは、吾々が日常澤山に經驗し見聞する處である。これがチーム全體に來る事があるし、一人の選手に來る事がある。又或る選手に於ては試合毎に同様な失敗を繰返し所謂「練習選手」で終る事がある。こんなのはチーム編成に際し、吾々が最も怖れる所で一年間の辛い練習も、百日の厳しいトレーニングも屁一つに終らせられる。伯林出發を前にして、銓衡委員諸君は此の點を再考し、選手を選ぶ際は體力と共に此の方面をも考慮す可きである。

さて、どうしてこんな結果になるか、此の大きな腐つた鯛を生かす方法はないかを研究するのは、選手個人の爲のみならず選手經濟の意味からも、無駄ではないと思ふ。これを醫學的心理學的に言へば難問題であらうが、茲ては常識的にその原因を考慮し、如何にすればこの病因を治療し得るかを述べやう。

先づ原因を體力に關係する肉體的原因と、精神力の薄弱から來る精神的原因とに大別する。然し實際に於ては確然たる區別は困難で、一方からのみでなく双方の原因で來る事が多い。

一、肉體的原因

A、「オーバーワーク」

「オーバーワーク」と一口に言ふけれど決して簡単なものではない。「スポーツ」を研究するには最も重要な事であるから、他日稿を改ためて書く事にして、茲にはたゞ要領だけ説明して置く。此處で云ふ「オーバーワーク」とは、解り易く言ふと、過度の運動によつて身體の疲勞を來す事である。運動すると筋肉が疲勞するが、休息睡眠入浴マッサージ等によつて恢復する。此の運動が過度であると、その日の疲勞が回復し切れずに翌日に持越し、その疲勞が段段に堆積して遂に普通の休息では回復する事が出来なくなり中樞神経迄疲勞して來る。これが「オーバーワーク」である。こんな状態になると體重が減少し體力が衰へて倦怠を覺へ、泳ぐと身體が重くなり、泳型が悪くなり、従つて記録が下つて來る。又合宿等して選手を全く同様なコンディションに置き、同程度の運動をさせて居ても、「オーバーワーク」は決して各選手同時には來ない。これは個人の體質の差異に依るので、一體に筋肉の疲勞の回復は幼若な動物程早い。又他に病氣があつたり、榮養不足の食物を攝つ

て居たり、神経質であつたり睡眠不足だつたりすると、「オーバーワーク」は促進される。

競技の爲めの水泳練習は可なり過激な運動が必要であつて、これによつて體力を養成しなければ決して強くならない。その爲め「オーバーワーク」も必然的によく來る。選手がこの状態に陥つて居る際、コーチアがこれに氣付かず、益々劇しい練習を課するが如き事があると、選手の調子は益々悪くなり全く腐らせて了ふ。こんな例は恐らく稀有の事ではないと思ふ。これと反對に、コーチアの慧眼がよく選手の状態を見抜いて、兩三日の練習禁止靜養、又はウォーミングアップ位な軽い練習にして置くと、疲勞からぬけて體力回復し俄然元氣付いて來る。そしてこんな事を繰り返す中に泳ぎは過速度的にのびて來る。

競技前練習に餘り張り切ぎて、チーム全部が試合の日に「オーバーワーク」になつて居たなぞ言ふ例もよくあるが、これはコーチアの最も拙なる者である。吾々は水泳の練習中に、調子のよい時と悪い時とが交互に浪の高低の如くに來る事を知つて居る。これが疲勞期と恢復期である、此の浪の高い所を丁度競技の期日に持つて行くのが、最も巧みなコーチアの技術である。

前述の如く「オーバーワーク」の來るのが、同じ練習をして居ても各人一樣でないから、調子の悪い際、それが果して單純な「オーバーワーク」であるかないかを見究める事は、餘程熟練した卓越したコーチアでないといつて平易な事ではない。それには後述する病氣によつて來る事も、精神的方面から來る事もあるので、益々その鑑別が困難になつて來る。然し乍ら水泳技術の指導と共に、常時此の方面に鋭い觀察の眼を離さない事が如何に必要であるかは茲に論ずる必要がない。「オーバーワーク」の治療は原因の除去である。即ち疲勞を回復する爲めの休息である。此の爲めには休息期間全く水からあげて了ふ必要のある事もあるし、軽い練習のみを課して置いた方が調子を崩さないで結果のよい事もある。これは何れともコーチアの經驗に基いて施行す可きである。食物の事は後述するが、殊に筋肉運動に必要な砂糖分の供給を充分にする。又入浴マッサージ等によつて疲勞回復を促進させる。

猶茲に附言して置く事は練習中常に體重の増減に注意する事である。急激な體重減少は、身體の疲勞感脱力感、筋肉痛等と共に「オーバーワーク」發見の補助となり、又一般健康状態を觀察する指針ともなる。

B、合宿の失敗

合宿練習は水泳技術指導の便宜からも、チームワーク強化の上からも非常に有効で、良結果を得るのが普通であるが、これによつて反つてコンディションに悪影響を來し失敗に終る事がある。

合宿生活はコーチア監督の下に、一絲亂れざる規則正し

い生活が必要であつて、それによつて水泳技術の練磨の他、體力の向上、精神の修養、チームワークの強化等が圖られるのであるが、餘り最初から規則に縛り過ぎると、平常の生活から餘りかけ離れる爲め窮屈に感じ、精神疲労と共に體力の低下を來し腐つて了ふ、故に合宿生活は寛厳宜しきを得て、規則正しいと共に快適でなければならない。又選手を終日競技の勝敗にのみ専念せしめて、餘り氣分を緊張させ過ぎ神経質にするのも腐らせる原因になる。今宵特に許された一時間延長した外出時間や、夕食後一刻のおけさ踊りが、如何に選手を元氣づけ、如何にその夜の睡眠が安らかであるかは、諸君が既に経験して居られる所である。

選手の中には集團生活に馴れない者がある。又その人の性質から大勢の生が大きな精神的負擔となる事がある。これらの人達は多く睡眠不足を起し身體が疲労して來る。生活に馴れるに従つて大部分は恢復して來るが、どうしても集團生活の出來ない性質の人は、合宿から解放した方がよい。又食物の好嫌の甚だしい爲め合宿生活の困難な人があるが、此の種の人は平常から偏食し健康状態に影響を及ぼす事が多いから、出来るだけ矯正する必要がある。

合宿中の睡眠に對する注意

運動による身體の疲労は、休息に依つて恢復される事は前條に述べたが、その中特に重要なのは睡眠である。故に周圍が騒々しくて遅く迄眠られない合宿などは初めから失敗である。それでなくても水泳シーズンは暑くて寝苦しい季節であるから最も合理的に睡眠する必要がある。以下二三の注意 可き事項を摘記して見る。

一、寢室は静かであればならない。合宿を選定する際はこれを第一條件としなければならない。宿屋に泊る際は特に夜遅く迄騒がしいか否かに注意しないと飛んだ失敗をする。又餘り大きな室に多勢寝ると騒々しくなる。一人一語宛でも十人居れば十語になる。故に成る可く一室小人数がよい。又鼾聲高く他人の睡眠を妨げたる人は別室に隔離す可きだ。

一、寢室は成る可く涼しくなければいけない。西日のさす暑い室などは遅く迄寝られない。寢室の窓は一方を開放して室を涼しくし、空氣の流通をよくす可きであるが兩側共開放して風の吹き通すのは風邪を引く恐れがある。暑い室が不良な理由は寝苦しい事が第一であるが、暑熱の爲め睡眠中汗をかくと體温降下して風邪を引く事があるのと、風邪を引かない迄も筋肉が熱を奪はれる爲め強直を起し、翌朝起きた時手足が倦るくなる。風の吹き通す場所に寝て居た時も同様の結果を招く事になる。

一、寢衣は必ず着用する。毛糸の腹巻をしめ、踝迄あるズボンを着用して腹部と下肢の冷却を防ぎ、肩迄掛物するのだが、寢様の悪い者は朝迄これが當てにならないから凡て身體に附着した物丈けてよい様に準備す可きである。

一、睡眠時間は八時間内至十時間が適當である。例へば午後九時就寝、午前七時起床等。然し夏の九時は暑くて眠れない事が度々ある。朝七時以後は暑くなつて汗をかき起きてから氣持が悪いから避けた方がよい。

一、晝食後の晝寢は疲労の恢復に非常によい。時間は三十分内至一時間。それ以上長いと、日盛りの暑熱の爲め發汗して後が倦るくなつて調子を悪くする。風通しのよい場所の假睡は嚴重に避ける可きである。

汗をかいてはいけない、筋肉を冷してはいけない事を度度述べたが、練習中プールから上つたならば直ちに乾いたタオルで全身を拭きとり着衣する必要も同様な理由からである。

C、食物の失敗

練習中は劇げしい筋肉運動をする爲め相當腹が空き稍もすると暴飲暴食に陥る。夏期は暑熱の爲め消化機能が衰へ、胃腸障害を起し易いから、務めて不消化物や、食ひ過ぎを避ける可きである。

食物では特に獻立に注意を要する。よく精をつけると稱して、肉類魚卵等カロリーの高い蛋白質脂肪を澤山喰へ、野菜類等の澱粉質を等閑に付する人があるが、これは悪結果を招く原因になる。日本人の體質には、永い間の習慣から洋食流よりも日本食流の野菜の多い獻立が適當して居り、胃腸の具合便通の調子等の結果がよい。學理上から言つても運動時餘り澤山の蛋白質は不要であるし、又或る場合には反つて負擔となる。

運動して居るとよく甘い物が喰べ度くなるが、これは意味のある事で、おやつに菓子と與へる事も必要である。これは筋肉の運動と疲労恢復に際し、蛋白質は直接關與せず糖分が必要な役割を務めて居る爲めである。よく競技出場直前にレモンをしゃぶつて居る人があるが、あれは無意味で、それよりも砂糖水か、キヤラメル一個の方が意義がある。それよりいゝのは消化の必要なく直ちに吸収されてエネルギーの素となる葡萄糖水がいゝ。ドリコノ（主成分は葡萄糖）一ぱいでも効果は同様だ。

副栄養素としてビタミン含有食物の配合も重要である。即ちビタミンA（牛乳バタ）B（等胚芽米麥飯等、後章脚氣の所で述べる）C（果物生野菜大根おろし等）を適當に配合する。個人的にこれ等を多量に必要な事がある例へば呼吸器の比較的弱い人にはAの多量を、脚氣に罹り易い人にはBの多量を與へる必要がある。辛いものの少量は食欲を増進するが、多量になると神経を刺戟興奮させていけない。

要するに食物は平常喰へ馴れたものから餘りかけ離れない物を與へ、身體の調子を狂はせない様にするのがよい。吾々日常の食事獻立は、永い間の経験から大體保健食になつて居るから、よく吟味してその缺點を補充すればよい。

D、病 氣

夏期はその暑熱の爲めよく種々な病氣が起り易く身體の調子をこわし易い。その中で重要な疾病と身體異常の二三を摘記して見る。

消化 障 碍

茲では食欲不振——飯のまついものを總括する。原因となるものは暑熱、胃加答兒、肉體的精神的過勞等である。結果としては身體の調子をこわして元氣をなくして了ふ、これを治すには原因を確かめて之を除去する。暑さ負けの者は暑熱の爲め消化機能が減退したのだから、練習を軽くし、軽い食物を與へ、場合によつては香辛料を添加し、或は食後消化薬服用の必要も起きて來る。若い人の胃病は多く過食が原因するから、消化し易い食物を嚼り、重い者は醫者の治療を受けさせる。肉體の過勞はその疲労を恢復する爲め、一時練習を休止するか軽くする。精神的過勞は神経質の爲め泳法や試合を氣にしたり不眠症を起したりした結果だから、餘り緊張しない様に、吞氣になる様に指導する。

脚 氣

夏期日本には非常に多い病氣で、有爲な水泳選手の中にも毎夏最も大切な時季に本病に犯されて、あたら天分を腐らせて居る者がある。脚氣の症状は誰でも識つて居る事だが、必ずしも心機亢進、水腫、或はシビレ感などが表はれて來ない。み足が倦るい、飯がまつい位の者、或は潜伏して何等の違和も感じない者もあるが、何れも筋肉の力が弱くなつて運動障碍を起し、段々に水泳の調子も型も悪くな

りタイムは落ちて来る。原因はビタミンBの缺乏で、暑熱、濕氣、集團生活、胃腸病等が誘因になる。豫防法は合宿の寢室や寢具の衛生的である事と食事獻立の注意である。精白米にはビタミンBが無いから、胚芽米が麥三米七位の飯にする。合宿中チーム全員に毎日ビタミンB製劑(オリザニンその他澤山ある)を服用させるのは合理的の方法である。

感冒

ブルの冷水に原因する事は少なく、多くは寢冷えである。假睡や睡眠の不用意によるので、前項寢室の條下に述べて置いた様に注意すればよい。要するに汗をかいて疲勞しない様、冷えて風邪を引かぬ様にする。鼻加答兒で鼻がつまつて泳げない時は一 コカイン水をさせば一時樂になる。

腸加答兒

前回オリンピックで日本チームは大横田君もこれにやられて、あたら四百米の勝運を逸した。原因は暴食、不消化物攝取、寢冷だから各々原因に注意すればよい。又練習中は氷水を禁ずる。

日射病熱射病

日射病は頭部に日光の直射する事に因り起り、熱射病は蒸し暑い温度に原因する。重病者は醫者に任す可きだが軽い者は頭痛、身體に疲勞感を起す。注意す可き事は、練習中日光の直射する所で休息しない事、競技の時同様に日影で觀戰する事、寢室の換氣をよくして冷しく保つ事等である。その他豫防法としては水分を時に攝取する必要がある。

遺精

これは病氣ではない生理的現象であつて、何等體力にも影響の無い筈であるのに、これを誇大して悪現象であるが如く迷信し、神經質になり翌日のコンディション迄悪くなる人がある。此現象は全く生理的のものであつて、過勞熟睡の際等よく起る。或る大學の水泳部では此の現象の翌日は好記録が出ると言つて居る。むしろ此の方が本當である。若し體力に影響ありとすればそれは精神的のものである。故に競技の前夜あつても何等體力を顧慮する必要はない。只不健全な夢を伴ふ夢精は神經衰弱の一症候でもあり疲勞を來すものらしい。

二、精神的原因

1. 神經質な性格から來る者

これは精神力の不足する者で、普通に言ふ試合度胸の無い者、競技に臨んであがつて了ふ人である。平常元氣に練習して居り、體力もあり泳型もよく周囲の人達からも囑望されて居つた選手が、競技前になると妙に神經質になつて來て、食欲不振になつたり不眠症を起したりして、自分の泳型に自信がなくなり、タイム許り氣にし出す。第二期になると、全身倦怠を感じ、身體が重くなつて記録は落ちて來る。こんなで無くても競技の前夜眠れない人は澤山ある。不眠は必ず翌日の體力に影響する。

此の中の一部の症狀甚だしい者は、先天性精神薄弱者で如何に肉體的に恵まれ泳ぎが強くても一流選手たる事は絶対に困難である。

他の大部分の者は單に氣が小さいに原因する者で精神修養等に因つて治る。此の中の一群の人達は神經衰弱に罹つて居るからその治療を要する。

此の神經質の選手には、試合の話成る可く避けて餘り精神を緊張させない様に注意し、音楽その他の娛樂等によつて氣分の轉換を圖る、試合前の練習を特に輕くする。タ

イムの低下を特に氣にするから、試合前の計時を中止するか、計時した際も、平常よりよい位のタイムを本人に聞かせて置くと、忽ち氣分轉換してピンチを脱する事はよくある例である。

コーチアの任務は、技術の指導と體力の養成と共に精神力の強化指導が特に必要である。勝敗を度外してスポーツが存在しない以上、勝つ爲めには強氣でなければならない。監督コーチアがフアイチングであるとチーム全體がこれに同化されるものである。此の時チームワークがうまく行つて居ると、一人二人の氣の弱い者もこれに引きづられて行く結果になる。又宗教に因る精神修養も効果がある。陸上競技オリンピック候補の鎌倉に於ける冬期練習に參禪したと言ふ話を聞いたが有意義の事であつたと思ふ。

2. 責任感から來る精神過勞

對校競技などによく有る例である。これは矢張り選手自身の性格に因るのだが、その責任が應援團にある事もコーチア監督にある事もある。勝たねばならぬ責任感から、神經を極度に緊張させ精神過勞に陥り、神經衰弱状を起して體力を消耗し、或は競技に固くなる者である。この種の人は責任感も強く、戰闘意識も強いのであるから、監督コーチアの注意指導に因つて避ける事が出来る。伯林遠征を前にして若い選手に對して、郷黨が餘り盛大な送別會を催し必要以上の激勵するのは、その結果が怖る可きである。

C. 競技場の雰圍氣に押される者

これは盛大な競技場の光景を見て氣遅れする者で、これも澤山ある。中には味方の聲援であがつて了ふ者さへある。話は違ふが、野球の應援なるものは、味方の選手を元氣付ける爲めではなくて、敵方の選手をあがらせるのが目的らしい。——誰でも競技場に於ては、多少精神の平靜を失ふものであるが戰闘意識の方が勝つて直ちに平静を回復し、中には平常より優秀な記録を出す者さへある。精神の平静を失ふ時は、よく敵の術中に陥り最も自分に適當なペースを亂され、思はぬ不覺をとる様な事になる。甚だしい者になると競技前非腸筋が固くなつて下肢の運動不自由になる事がある。又スタートに立つと周圍が暗くなつて、何が何だか判らなくなる事がある。この種の者は多く競技會に不馴れな者である。従つてこれを矯正するには、澤山の競技會に出場せしめて、試合度胸を付けるより他策がない。競技にも國際競技などの大きな競技會になると、その雰圍氣も従つて違つて來る。此の點から言つて昨年の日米對抗競技會は、日本の若い選手にとつて非常に有意義であつたと言へるが、一面から言ふと、遙かに遠征して來た米國の選手には、もつと大きな無形のお土産になりはしなかつたかを憂えるものである。

D. チームワークの失敗

人の和の失敗である。チームは一心同體でなければならない。監督コーチアは選手から絶対信頼されて居なければならない。若しこれに失敗すればチーム全體か又は一部の者が腐つて了ふ。これはコーチアの責任であるが、又選手自身が原因である事もある。選手の中に何事にも不平を懷く性格の者があると、嚴重な合宿生活や激しい練習に對し不平を懷き、コーチアに對して絶対服従しない。又同僚を指差しチームの統制を亂す。かくの如き者は人格陶冶に因つて治さなければ選手としての資格がない。二葉の中に除外す可きである。

以上種々述べたが、要は、水泳をコーチするに當つて技術の指導、體力の養成と共に精神修養の重要な事を主張し度いのである。

おけさ



回顧

其の頃は、競泳などと云ふ氣のきいたものはあまりやつてゐなかつた。私が早稲田に入學したのが大正八年頃。毎年夏になると七月の十日頃から房州の北條で合宿が始まる。北條にはその当時、海近い松林の中にかなり広い合宿所が建つてゐた。毎年百人以上も學生が集つてゐたのでなかなか盛んで、殊に元氣の良い若者ばかり揃つてゐたので、その賑やかなことはたいてい想像がつくと思ふ。

その中に、石塚一雄と邊部良吉と云ふ佐渡の相川中學を出た學生が加つて居た。邊部と言ふ人は、今、岩波の營業部に居るが私と同じクラスで商科。石塚君は朝日新聞の横濱支局次長をして居て、郵船に居る神永君などと同じ政治科だつたと思ふ。

この二人とも、おけさ節が、なんともたとへ様もなくうまかつた、なにしろ、小供の時からお盆の晩など夜を徹して唄ひ覺えた生粋のおけさ節であるから、その節廻しと言ひ、何と言ひ、實に良い味を持つてゐた。

だから水泳部の連中は、どうせ猛練習に來たわけではなし、閑で愉快なのが集つてゐたので、二人について唄と踊を盛んに仕込んでもらったものである。それまで、おけさ節などと言ふものは、聞いたこともなし、その上この唄が、いかにも濱の合宿生活の氣分と溶け合つた感じを持つてゐるので、どの部員も毎日の様に唄つてゐた。こうして唄つては泳ぎ、泳いで食ひ、又唄ひ且つ踊ると言つた有様であつた。海へ行つて泳ぎつかれると、やぐらの上や、いかだの上で甲羅をほしながらいかだの板をトントンたたきながら、

荒瀬荒波よせてはかへす

よせてかへして又よせる

と、よく波の音に合わせて唄つたものである。

それにも増して、愈々八月二十日頃になつて北條を引上げる前夜、閉部式の夜は懐しい。松林の中に圓陣を作つて、心ゆくまで唄ひあかす。そのまわりに近所の町の人が一ぱいたかつて見てゐたのを記憶してゐる。

その頃同じ北條に、一高や高師なども合宿してゐたし、近所の富浦では商大、館山へ水産講習所あたりが、夏になるとやつて來てゐたと思ふ。中でも今郵船に居る商大の川口氏とか美校の杉田氏など、よく早稲田の合宿でおけさをやつたものだ。殊に杉田の忠さんなどは、一緒に早稲田の合宿に泊つたこともある位で、おけさを例の美校流で盛んに宣傳した一人であらう。その上、水泳部の連中はそれぞれ

各地方に水泳の教師として出かけたものだが、その地で例の調子で盛んにおけさを唄つて歸るものだから、各地の水泳團體にも次第に、おけさが擴つて行つたのである。私も水泳と柔道を教へに行つては、求めらるるまゝにおけさを盛んに植つて來たが、考へて見ると、水泳を教へに行つたのかおけさ節を教へに行つたのかわからない様な始末である。

こうして各地の水泳團體に擴つて行く一方、早稲田の學校内では各體育部に擴つて行つた。と言ふのは、北條で泳いでゐた連中で神永君は劍道の達人であつたし、今、大分の不動銀行にゐる伊藤君はボートに關係してゐたし、私も柔道部にもゐた様なわけで、各體育部に唄はれる様になつた。冬など、スキーに出かけても、盛んにやると言つた具合に、冬のスポーツにまで水泳のおけさが這入りこんだ様な次第である。大正十一年頃、早稲田の運動會が行はれた、勿論、今の様な記録本位のものでなく、異様な風態をして、ワイワイ騒ぎ廻る様な式のものであつたが、私共は神永君などの水泳部の者を初め他の體育部の者と相談し、護國寺から坊さんの衣を借りて、その衣の中に劍道の道具を胴につけて、おけさ踊りをやつて萬場の喝采を博したことを覚えてゐる。その連中の中に柔道の石黒敬七氏や淺岡信夫氏などがまぢつてゐた、こんなこととだんだん世間的に、學生のおけさが有名になつて來た様である。

其の後、高石君などパリのオリムピックプールのふちで、おけさをやつてのけたり、木村君なども行つたと思ふが、ハワイや、マニラなどで、おけさ踊の面目をほどこしたことを聞いたが、いづれにしても、おけさの追憶はなつかしい。このあいだもオリムピックで盛んにやつてゐるのを新聞の寫眞で見たが、思へば妙な因縁の水泳とおけさが随分盛んになつたものだ。

いつたい、おけさ節と云ふものは、水泳部や其の他スポーツの團體生活に、チーム全體の氣分をしつくりとまとめる意味で不思議な力を持つてゐる。山本忠興博士も外國の遠征から歸つてそんな様なことを言つて居られた。

嫁も姑も手をうちならし

習うたおけさで輪に踊る

如何にも、家族的な、和やかな氣持が、水泳などの合宿生活に忘れ難いものとなつたのであらう。

(中瀬直雄談 塚原記)

オケサが河童界に何時侵入したか、と聞き直られても返事に困りますが、兎に角、何時の頃からか誰も彼もが口にして、遂に「オケサ踊らぬ河童なし」どこへ行つてもオケサオケサで賑々しく、たまに唄わぬ河童でもあれば、場違いものだと貶される有様で、實に盛なるかなオケサ、となつたです。

私との馴れ合は、大正十年か十一年の夏と思ひます。北條海岸の早稲田の水泳部合宿所で、當時此の合宿所には、河童より柔道部の猛者連が大勢居て、はばをきかせて居ました、そして本場じこみのオケサを唄ひ、合宿所からは終日サビのある、巾の廣い聲がもれて、附近の松並木を揺ぶつてゐました。

唄ひ手は姿に似合はず、美音の主が多く、その一二を擧げるなら、酒井ヨツペさん、中瀬バトンさん等、大のノド自慢で、バトンさんは今でもO.Bの古顔として、水泳大會の時によくプールで顔をみかけます。當時柔道四段で、早大平泳陣の花形選手です。

バトンさんばかりでなく、當時の平泳組は鴨下君にしろ河瀬君にしろ、偉大なる筋肉の所有者で、此のラオーゴン張りのズラリと並ぶところ、常に他を壓倒しました。

ハアー 佐渡へ佐渡へと草木もなびく

佐渡は居よいか、住みよいか

ズドンズドンと合宿所の床は蹴られ、音頭取の手は羽目板に鳴なつて、一同は汗みどろで踊りました。唄つて怒鳴つて、踊り疲れた奴は海へ泳ぎにゆきます。

知らない人がみたら、何の合宿かと怪しんででしょう。

然し、灯ともし頃ともなれば、舞臺は海岸の砂濱に移動して、砂地に引き上げられた漁船に移り、いよいよ此をたたいの大合唱です。

ハアー 霞む相川夕日にそめて

波のあやをる 春日崎

漁火にかがやく鏡ヶ浦を背景に、波の上の月は、白い砂濱にオケサの圓陣をクツキリ浮ばせて、唄聲は次々と波に響き、せまらざる大自然のふところに静かに消えて行きます。

ハアー 赤い夕日は波間に沈み

波に消えゆく佐渡ヶ島

勿論詩人ならずとも、此の情緒にとけ込もうと参加する勇士が、次第に増して來ました。

當時この濱は、早大、高師、一高を始め、房中等の水泳部がズラリと並んでゐたので、我國水泳界の一大勢力地となつて居ました、従つて、集る河童も多く、かくしてオケサは此の濱を間もなく占領してしまつたのです。

一高の松澤鶴さん、澤田武ちやん、浅田斐ちやん、堀、宮畑、鶴岡諸君の高師の巨人連、早大の清水吉ちやん、小高の賀茂さん、それに上野徳さん、房中の土方辰さん等々、クロールの先覺者であり、水泳界の

開拓者は、同時に、この濱のオケサのメンバーでした。今でも、北條の松原は

ハアー 來るか來るか濱に出てみれば

濱にや松風音ばかり

と吾々を呼んでゐる様な氣がします。

さて當時東京で唯一の室内水泳場として、冬の集合所であつたYMCAを覗いてみると、前記の人々のほかに、明大の鈴木傳明、和久山修二、森豊などと云ふ豪の者の中に交つて、地下室をガンガン壓する様な奇聲を上げ、

戀の新瀉吹雪にくれて

佐渡はねたかよ灯が見えぬ

ゴロンゴロンとプールに浮いてゐた拓大の小野田一雄君を認めさせて。

大變な聲量を持つてオケサを斜に唄つてゐたとても云ふ人、獨特の響でした。

此に對抗する變型としては、前に一寸名を上げた、早大の主將、小高賀茂君で、此は二段モーションのオケサです。

先づ五尺豊の體軀を、ひねつて「ハアー」と唄ひ出し、途中でキリキリと齒ぎしりするや調子をグツト高めて、他を壓するまねの出来ない藝當です。

こんな名人藝の人はその後みません。

大正十二年五月の大阪の極東大會には、これらの人々がドツト大阪に下つたのですからたちまち、あちらでもこちらでも、オケサオケサです。吾々も築港棧橋の石疊で、毎晩あすの元氣を養ふ爲、中瀬バトンさんの聲にあはせて、足拍子を揃へました。

ハアー オケサ踊りに透ウカウカと

又の舟待つ佐渡港

つぎは此夏、明大水泳部の先輩戸田章君と久し振りで逢つた時、思ひ出して笑ひ合つた話ですが、大正十四年のマニラの極東大會に、吾々は毎晩會場の入口でオケサを一クサリやつてから入場しました。

敵を威壓する爲か、何の爲か忘れましたが、外人は此を非常にビツクリしたらしいです。で或日新聞記者が訪ねて來て、此のオケサを譯して新聞にのせたいが、何の唄かとしきりにきくので一同弱りました。

するとその時、皆をかき分け外人の前に出て來た戸田君が「カレデソング」とアツサリ答へ、心臓の強いところを示してサツサと逃げ出したのです。

先日はそれを思ひ出して「オケサはドコのカレデソングだい」と一昔前に笑ひのこして置いた奴を、ウフフ、とやつて顔をみ合せました。

(杉田 忠治)



水球競技普及策について

笹島彦次郎

今更水球の普及策を事新しく云々すると云ふことは或は考へ様によつては、可笑なことかも知れぬが、一面關係者の常に考慮すべき最大の目的とも見做し得るのである、依て敢て茲に一言し合せて報告をするものである。

例年の通り七月上旬行はれた、聯盟主催水泳指導者講習會に引き續き行はれた、水泳指導者資格檢定試験に、自分も檢定委員の一員として審査に當つた。その折水球の審査は筆記試験であつたを幸に、採點外として『特に水球競技普及策について』なる問を出し、受験者諸君にその意見のある所を求めた。

御承知の通り受験者は主として東京若しくは東京附近在住者ではあるが、中には、遠方より遙々参加せられたもの海軍軍人等、比較的各方面の参加があつた。

受験申し込み46名、内水球受験者30名(女子1名を含む)30名中前記「水球競技普及策について」なる問に對し解答或は意見なきもの4名。

次に意見を要約し表示すれば下の如くなる。

(イ) 競技法、競技規則の簡易化	13例
(ロ) 幼弱者用規則の制定	7
(ハ) 水遊びより次第に競技に導く	9
(ニ) 小學生よりボールに親ましむる	2
(ホ) 智識の普及講習會開催	4
(ヘ) 指導者の養成	3
(ト) 指導者の派遣	2
(チ) 公開試合を多く行ふこと	8
(リ) 競技會の開催	1
(ヌ) O.B.ベテランジュニア級試合制	1
(ル) 宣傳、ラデオ、映畫等	1
(ヲ) 専用プール建設	1
(ワ) 使用球の價格引下げ	2
(カ) 代用球の認定	2
(コ) 用語の邦文化	1
(ク) 女子水球も無視せぬ様に	1

以上を通覽して一目瞭然たる如く

(イ)——(ニ)の合計31件は即ち初心者をして水球競技に入り易く親ましむる爲の要求である。

のんびりと心易くボールを持つて遊ぶ、これが水球入門の第一の秘訣である。

それには吾々水球委員は此の要求に應へて、簡易化せる幼弱者、若しくは初心者の樂める競技規則を作り一般に普及せしむべきである。此の件は直に着手し目下鋭意作成中である。

次に(ホ)——(ト)の9件及(テ)——(ル)の11件合計20件は考へるに地方よりの受験者の要求と思はれるが、智識の吸収を熱望される程度を計り得るものと信じる。此の件は先づ本年度の全日本水球競技選手權大會を關西に於て催すことにより、實現の第一歩を踏み出して居る故今後、此等の希望に沿う試みが着々計畫されることと信ずる。

次に(ヲ)——(カ)の5件は施設、使用球に關するもので、何れも尤も千萬な希望と思はれる。使用球の件の内、野球、庭球に硬軟兩式を認める如く、水球にも之を認めよとの意見があつたのである。

又一方現在の使用球は高價にすぎるとの注文と併せ考へ且つ規則の簡易化とも併行して目下代用球を試作中である故遠からず、全體の希望を満し得べき制度の公布を見得るものと思ふ。

又最後の2件は單に取次ぐに止めておく次第である。

終りに臨み各受験者諸君の熱心に本間に答へられたことに對し厚く感謝すると同時に、水球競技に對する關心の度を計り得て、甚だ喜びに耐へぬ次第である。

吾々水球委員會も、この好資料を無にせざる様大に緊禪一番、斯道の普及發展に精進することを盟ふ次第である。以上敢て今更の如く普及策なるものを事新しく持ち出した所以である。

☆ スタート臺に立つた氣持……? ☆

オリムピック水球主將の阪上安太郎君、歸朝早々目出度く結婚生活に入り、結婚式の際に

——ちよつと試合ときにスタート臺に立つた氣持、アレデスナ……

の名言を吐いて、那須へ旅行へ行つたが、これを新聞で見た水球のM君

——何あんだもつとイミシな氣持がするのかわと思つてゐたら……あんな苦しい思をするなら、嫁さんなぞいらねえや……

と持論の「結婚否定論」一くさり。

又帝大水球のO.B.野知君最近結婚し、御披露の際花嫁を前にして

——スタート臺に立つた氣持とは別だね。スタート臺に立つたら勝たなければいけない、と云ふ氣がするんだらう。俺は負けてもよいと云ふ氣持……一寸ネ、ノーマークでシュートされて一點入れられた氣持アレデスナ……

第十回 關大・法大 對抗水上競技大會

11年6月28日 神宮外苑水泳場 (50米) 公認

氣温 23° 水温 23°

主催 關西大學水泳部
法政大學水泳部

100米自由形

1. 藤田 貞男 (法大) 1:02.0
2. 服部 巳代治 (關大) 1:03.8
3. 吉田 實 (關大) 1:05.2
4. 内山 守衛 (關大)
5. 三鴨 清 (法大)
6. 戸島 節夫 (法大)

400米自由形

1. 藤田 貞男 (法大) 5:06.2
2. 服部 巳代治 (關大) 5:20.6
3. 山岸 小五郎 (關大) 5:30.2
4. 上野 清 (關大)
5. 大竹 新平 (法大)
6. 松藤 修一郎 (法大)

1500米自由形

1. 上野 清 (關大) 22:00.0
2. 山岸 小五郎 (關大) 22:36.2
3. 柴田 文美 (關大) 23:09.4
4. 大竹 新平 (法大)
5. 半野 精一 (法大)
6. 田中 禮三 (法大)

100米平泳

1. 柳澤 榮三郎 (法大) 1:19.2
2. 有井 正春 (關大) 1:23.2
3. 三鴨 清 (法大) 1:24.0
4. 前田 光一 (關大)
5. 岡野 隆如 (關大)
6. 森 正二 (法大)

200米平泳

1. 柳澤 榮三郎 (法大) 2:52.8
2. 有井 正治 (關大) 3:04.2
3. 前田 光一 (關大) 3:08.0
4. 中村 平八郎 (關大)
5. 渡井 八郎 (法大)

50米背泳

1. 山田 鋼 (關大) 34.8
2. 中西 長兵衛 (關大) 34.8
3. 山村 義房 (法大) 37.6
4. 大出 吾一 (法大)
5. 淺野 勇 (法大)
6. 磯貝 友也 (法大)

100米背泳

1. 中西 長兵衛 (關大) 1:16.8
2. 山田 鋼 (關大) 1:18.6
3. 山村 義房 (關大) 1:23.8
4. 大出 吾一 (法大)
5. 戸島 節夫 (法大)
6. 磯貝 友也 (法大)

200米リレー

1. 關西大學 吉田、服部、上野、内山 1:55.0
2. 法政大學 三鴨、藤田、大竹、柳澤 1:58.4

800米リレー

1. 關西大學 柴田、山岸、上野、服部 10:12.4
2. 法政大學 藤田、三鴨、大竹、柳澤 10:35.0

300米メドレー・リレー

1. 關西大學 中西、有井、服部 3:41.8
2. 法政大學 大出、柳澤、藤田 3:48.2

☆ おめでた!! ☆

背泳の清川君、水球の阪上君、満洲に行つた志村君醫事の岡本君、秘書の渡邊君e.t.e.結婚豫約者がオリンピック終了後急に増へ聯盟ではこのところ、おめでた續きだが、オリンピック歸りの船の中で

寛チャン(渡邊寛二郎君)嫁さん貰うだらう、それでね盛んに皆でイデメてやつたがね、ニヤニヤしてゐて評判が悪かつたよ……

とはM御大の土産話。

第八回全日本商大水上競技大會

11年7月12日 神宮外苑水泳場 (50米) 公認

氣温 24° 水温 23°

主催 全國商大水上競技聯盟

100米自由形

1. 栖原 正 (東京商大) 1:06.6
2. 高橋 三郎 (東京商大) 1:07.2
3. 楓 隆吉 (大阪商大) 1:09.2
4. 水郡 長春 (大阪商大)
5. 土屋 巖 (神戸商大)
6. 太田 正元 (神戸商大)

400米自由形

1. 石井光次郎 (東京商大) 5:48.0
2. 島田省一 (東京商大) 5:50.2
3. 水郡長春 (大阪商大) 6:06.4
4. 大内義仁 (神戸商大)
5. 宮岡喜一郎 (神戸商大)
6. 進藤規一 (大阪商大)

800米自由形

1. 島田省一 (東京商大) 12:17.0
2. 森 隆 (東京商大) 12:32.6
3. 榮口昌二 (神戸商大) 14:09.0
4. 宮岡喜一郎 (神想商大)
5. 進藤規一 (大阪商大)
6. 前田信夫 (大阪商大)

200米平泳

1. 前田信夫 (大阪商大) 3:16.4
2. 佐藤正彦 (東京商大) 3:16.4
3. 高橋敏男 (大阪商大) 3:18.8
4. 永井典彦 (東京商大)
5. 尾原芳行 (神戸商大)
6. 松木 勇 (神戸商大)

100米背泳

1. 大内義仁 (神戸商大) 1:22.4
2. 石井光次郎 (東京商大) 1:22.6
3. 小林隆繁 (東京商大) 1:25.4
4. 生瀬四郎 (大阪商大)
5. 上田 章 (大阪商大)
6. 山村宮男 (神戸商大)

200米リレー

1. 東京商科大学 高橋、西村、
佐々木、栖原 1:57.2
2. 大阪商科大学 上田、高橋、
楓、水郡 2:01.2
3. 神戸商科大学 土屋、伊藤、
榮口、大内 2:08.4

800米リレー

1. 東京商科大学 西村、森、
長井、栖原 10:51.0
2. 大阪商科大学 福島、進藤、
近藤、水郡
3. 神戸商科大学 富岡、山村、
伊藤、榮口

☆ シマツタ!! 俺じやな かつたのか? ☆

醫事の岡本君ベルリン行の途上、シベリアの寢臺(二等寢臺故革で落ちない様に出てゐる)からオツコチル事再三再四、不思議がられたり笑はれたりて癪にさはつて寝てゐる折から、荷物が落ちた音に目をさまし、自分が落ちたと思ひ、寢臺の上に飛起き頭をブツツケおてこをこさえて曰く

シマツタ!! 今のは俺じやなかつたのか?

☆ バイカル湖へ汽車が突 入した話 ☆

同じく岡本君、シベリアの汽車のドアは鏡がつけてあるが、バイカル湖へさしかかつた際朝寝ボケて目をこすりこすりドアを見ると、満々たる湖の水が映つてゐたので、そばで寝てゐた友人をたたき起し

見ろ! 汽車がバイカル湖へ突入したぞ?

☆ 黒いネオンサイン ☆

オリムピツク村の入口には五輪のネオンが美しく飾られて、オリムピツク氣分を放散してゐたが、岡本醫事、或夜その見物に行き歸つて來て、松澤カクサンに告げて曰く

獨逸は矢張り科學の國ですね。何しろ村の入口には黒いネオンが輝いてゐますよ。

第四回全國高商水上競技大會

11年7月21日 寶塚水泳場 (50米) 公認

主催 全國商大水上競技聯盟

100米自由形

1. 長谷川 卯佐美 (高 松) 1:02.2
2. 久保 義之 (高 松) 1:03.6
3. 中村 隆男 (横 濱) 1:04.0
4. 大野 一夫 (臺 北)
5. 片山 一郎 (大 倉)
6. 西村 正大 (東商大專)

200米自由形

1. 長谷川 卯佐美 (高 松) 2:24.0
2. 横山 清一 (名古屋) 2:28.0
3. 栗田 竹男 (大 分) 2:28.6
4. 寺崎 和夫 (關東學)
5. 中村 隆男 (横 濱)
6. 澤田 成信 (關東學)

400米自由形

1. 抱 勝 (高 松) 5:05.0
2. 寺石 延也 (高 松) 5:07.2
3. 横山 清一 (名古屋) 5:22.2
4. 河原田 穰 (福 島)
5. 寺崎 和夫 (關東學)
6. 島田 省一 (東商大專)

800米自由形

1. 寺石 延也 (高 松) 10:45.6
2. 抱 勝 (高 松) 10:48.0
3. 河原田 穰 (福 島) 11:26.6
4. 河原林 眞一 (彦 根)
5. 島田 省一 (東商大專)
6. 齋藤 昇 (福 島)

100米平泳

1. 菅野 義忠 (横商專) 1:20.8
2. 野口 安造 (高 松) 1:22.4
3. 佐伯 武男 (高 松) 1:23.0
4. 瀬良 陽介 (和歌山)
5. 安孫子 三郎 (横 濱)
6. 二宮 章 (横 濱)

200米平泳

1. 菅野 義忠 (横商專) 2:58.6
2. 佐伯 武男 (高 松) 3:01.0
3. 瀬良 陽介 (和歌山) 3:02.4
4. 野口 安造 (高 松)
5. 野法 川渡 (福 島)
6. 二宮 章 (横 濱)

100米背泳

1. 山本 茂樹 (高 松) 1:15.8
2. 井上 清 (名古屋) 1:16.6
3. 石田直四郎 (同志社) 1:17.2
4. 北島 秀之輔 (關東學)
5. 慶田 博正 (横商專)
6. 齋藤 昇 (福 島)

200米背泳

1. 吉本 正 (名古屋) 2:47.4
2. 山本 茂樹 (高 松) 2:48.2
3. 井上 清 (名古屋) 2:49.4
4. 慶田 博正 (横商專)
5. 北島 秀之輔 (關東學)

200米リレー

1. 高松高商 久保、三宅、岡崎、長谷川 1:53.2
2. 同志社高商 1:57.2
3. 大分高商 1:58.2
4. 福島高商
5. 關東學院高商部
6. 大倉高商

800米リレー

1. 高松高商 寺石、久保、抱、長谷川 9:46.6
2. 名古屋高商 10:21.4
3. 福島高商 10:44.6
4. 大分高商
5. 關東學院高商部
9. 東商大専門部

☆ 16ミリとレビュー ☆

安部チヤン(安部輝太郎君)得意の16ミリを提へて、カ
ジノを見に行く。禮服で着飾った外人の真中で他人の
迷惑もかまはずジジージージーカタリとやる。歸つて來
て

一番よいところはとれたか

と聞かれ

一番よいところは見とれてみてとらなかつたよ。

第七回東部高商水上競技大會

11年7月18日19日

神宮外苑水泳場(50米)公認

氣温 29° 29° 水温 21° 24°

主催 東部高商水上競技聯盟

100米自由形決勝

1. 中村隆男 (横濱) 1:04.0大會新
2. 西村正大 (東商大專) 1:06.2
3. 片山一郎 (大倉) 1:06.4

200米自由形決勝

1. 寺崎和夫 (關東) 2:23.8大會新
2. 中村隆男 (横濱) 2:30.4
3. 澤田成信 (關東) 2:34.8

400米自由形決勝

1. 河原田穰 (福島) 5:21.1大會新
2. 寺崎和夫 (關東) 5:33.4
3. 島田省一 (東商大專) 5:47.2

800米自由形決勝

1. 河原田穰 (福島) 11:49.4
2. 島田省一 (東商大專) 12:07.4
3. 水野秀三郎 (東商大豫) 12:37.0

100米平泳決勝

1. 菅野義忠 (横商專) 1:20.6
2. 安孫子三郎 (横濱) 1:23.2
3. 二宮章 (横濱) 1:25.0

200米平泳決勝

1. 菅野義忠 (横商專) 3:00.6大會新
2. 二宮章 (横濱) 3:05.0
3. 御法川渡 (福島) 3:05.2

100米背泳決勝

1. 慶田博正 (横商專) 1:22.4
2. 北島秀之輔 (關東) 1:23.6
3. 飯森治雄 (高岡) 1:26.8

200米背泳決勝

1. 北島秀之輔 (關東) 3:02.4
2. 慶田博正 (横商專) 3:02.6
3. 水野秀三郎 (東商大豫) 3:14.8

200米リレー決勝

1. 福島高商 成田、河原田、菅原、青柳 2:00.6
2. 關東學院高商部 2:01.2
3. 大倉高商 2:02.0

800米リレー決勝

1. 關東學院高商部 澤田、寺崎、柳田、今澤 10:49.2
2. 福島高商 10:49.6
3. 東京商大専門部 10:57.0
4. 高岡高商 5. 東京商大豫 6. 大倉高商

第八回西部高商水上競技大會

11年7月18日19日

神戸市民運動場水泳場(50米)公認

主催 西部高商水上競技聯盟

100米自由形決勝

1. 長谷川 卯佐美 (高松) 1:02.0大會新
2. 久保義之 (高松) 1:03.0大會新
3. 大野一夫 (臺北) 1:03.8

200米自由形決勝

1. 長谷川 卯佐美 (高松) 2:23.0
2. 栗田竹男 (大分) 2:27.2
3. 横山清一 (名古屋) 2:28.6

400米自由形決勝

1. 抱 勝 (高松) 5:03.0大會新
2. 寺石延也 (高松) 5:08.6
3. 横山清一 (名古屋) 5:23.4

800米自由形決勝

1. 抱 勝 (高松) 10:37.4大會新
2. 寺石延也 (高松)
3. 河原林直一 (彦根)

100米平泳決勝

1. 野口安造 (高松) 1:22.0
2. 瀬良陽介 (和歌山) 1:22.8
3. 佐伯武男 (高松) 1:24.0

200米平泳決勝

1. 佐伯武男 (高松) 3:01.0
2. 瀬良陽介 (和歌山) 3:01.2
3. 野口安造 (高松) 3:01.8

100米背泳決勝

1. 石田直四郎 (同志社) 1:16.2
2. 井上清 (名古屋) 1:16.2
3. 山本茂樹 (高松) 1:17.0

200米背泳決勝

1. 吉木正 (名古屋) 2:46.6大會新
2. 井上清 (名古屋) 2:47.8
3. 山本茂樹 (高松) 2:48.4

200米リレー決勝

1. 高松高商 久保、三宅、岡崎、長谷川 1:54.4
2. 大分高商 1:57.8
2. 同志社高商 1:58.2

800米リレー決勝

1. 高松高商 寺石、久保、抱、長谷川 9:45.2
2. 名古屋高商 10:22.4
3. 大分高商 10:37.4

第三回日本大學對全名古屋選抜軍對抗水上競技大會

11年7月19日 振甫水泳場(50米)公認

氣温 31.8° 水温 26°

主催 名古屋體育協會

100米自由形

1. 佐々木 猛 (日 大) 1:03.0
2. 中村岩太郎 (日 大) 1:03.3
3. 正木 敬造 (日 大) 1:04.0
4. 杉田 芳郎 (全 名)
5. 小林 政夫 (全 名)
6. 若松 正 (全 名)

200米自由形

1. 佐々木 猛 (日 大) 2:20.6
2. 森原 幸彦 (日 大) 2:23.0
3. 中村岩太郎 (日 大) 2:24.2
4. 兒玉 太郎 (全 名)
5. 若松 正 (全 名)
6. 小林 政夫 (全 名)

400米自由形

1. 木村 成男 (日 大) 5:06.8
2. 森原 幸彦 (日 大) 5:10.5
3. 川田 洋二 (日 大) 5:14.0
4. 竹内 定夫 (全 名)
5. 夫馬 友春 (全 名)

800米自由形

1. 木村 成男 (日 大) 10:45.6
2. 竹内 定夫 (全 名) 10:54.6
3. 川田 洋二 (日 大) 11:02.5
4. 石田 賢一 (全 名)
5. 夫馬 友春 (全 名)
6. 田 上 寛 (日 大)

100米平泳

1. 林田 陸夫 (日 大) 1:18.4
2. 田 口 實 (日 大) 1:19.6
3. 加藤 泰一 (全 名) 1:23.4
4. 浅井 幸三 (全 名)

200米平泳

1. 林田 陸夫 (日 大) 2:49.2
2. 田 口 實 (日 大) 2:53.4
3. 栗本 巖 (全 名) 2:57.0
4. 浅井 幸三 (全 名)
5. 加藤 泰一 (全 名)

100米背泳

1. 谷口 利弘 (日 大) 1:12.2
2. 大宮 敏男 (全 名) 1:14.6
3. 秋吉 龍二 (日 大) 1:15.0
4. 宮田 大鳳 (全 名)

5. 立石 辰男 (日 大)

6. 神田 務 (全 名)

200米背泳決勝

1. 谷口 利弘 (日 大) 2:36.0
2. 大宮 敏男 (全 名) 2:43.0
3. 宮田 大鳳 (全 名) 2:45.7
4. 立石 辰男 (日 大)
5. 桑野 正實 (日 大)
6. 鈴木 正康 (全 名)

200米リレー

1. 日本大學 森原、中村、佐々木、正木 1:52.8
2. 全名古屋 若松、杉田、石田、小林 1:53.0

800米リレー

1. 日本大學 森原、中村、木村、佐々木 9:39.8
2. 全名古屋 杉田、若松、兒玉、小林 10:01.0

300米メドレー・リレー

1. 日本大學 谷口、林田、正木 3:36.6
2. 全名古屋 栗木、大宮、小林 3:46.4

☆ ベルリンでトロロを食った話 ☆

根來、松本の兩君外出から歸つて来て曰く、

俺達はトロロを食つて来たよ

選手達不思議に思つて來ベルリンでもトロロを賣つて
ゐるのかと聞いたら

何アに、道を歩いてゐたら見知らぬ人が是非食
に來いと云つたので、ついて行つて食つて來た
だ。

選手等あきれて

俺等もあの位心臓が強いといふんだがと長嘆息。

第九回 大阪學生水上競技大會

11年6月21日 寶塚水泳場(50米) 公認

水 温 24° 氣 温 31°

主催 大阪學生水上競技聯盟

第一 部

100米自由形決勝

1. 内山守衛 (關大) 1:04.8
2. 吉田實 (關大) 1:05.2
3. 中村智光 (關大) 1:07.6
4. 佐々木聰 (昭高商)
5. 吉田義麿 (昭高商)
6. 清水英武 (昭高商)

400米自由形決勝

1. 上野清 (關大) 5:22.6
2. 山岸小五郎 (關大) 5:23.6
3. 服部巳代治 (關大) 5:49.4
4. 牧野肇文 (大外語)
5. 國永薫 (大外語)
6. 小村貞行 (大高校)

800米自由形決勝

1. 上野清 (關大) 11:18.8
2. 山岸小五郎 (關大) 11:19.8
3. 柴田久美 (關大) 11:56.6
4. 牧野肇文 (大外語)
5. 木之瀬勝美 (昭高商)
6. 阿部忠男 (昭高商)

200米平泳決勝

1. 苗村六郎 (大高校) 3:00.5
2. 有井正春 (關大) 3:03.8
3. 中村平八郎 (關大) 3:06.8
4. 藤田龍夫 (昭高商)
5. 前田信夫 (大商大)
6. 岡野隆好 (關大)

100米背泳決勝

1. 中西長兵衛 (關大) 1:16.2
2. 山田鋼 (關大) 1:18.0
3. 山村義房 (關大) 1:28.0
4. 下江正明 (大外語)
5. 上原滿雄 (昭高商)
6. 生瀬四郎 (大商大)

200米リレー決勝

1. 關西大學 吉田、中村、服部、内山 1:56.4
2. 大阪外國語學校 2:01.6
3. 昭和高等商業學校 2:02.6

4. 大阪商科大学

800米リレー決勝

1. 關西大學 内山、山岸、上野、服部 10:04.3
2. 昭和高等商業學校 11:21.2
3. 大阪外國語學校 12:03.0
4. 大阪商科大学

300米メドレー・リレー決勝

1. 關西大學 中西、有井、服部 3:44.2
2. 昭和高等商業學校 4:00.4
3. 大阪商科大学 4:08.4
4. 大阪高等學校
5. 大阪外國語學校

第二 部

300米メドレー・リレー

1. 大阪帝國大學 廣部、伊藤、山梨 4:05.4
2. 浪速高等學校 4:07.6
3. 大阪藥學專門學校 4:10.4
4. 大阪高等醫學專門學校
5. 大阪齒科醫學專門學校

800米リレー決勝

1. 浪速高等學校 岡田、栗原、大方、大内 11:41.4
2. 大阪齒科醫學專門學校 12:12.2
3. 大阪高等醫學專門學校 12:44.0
4. 大阪帝國大學
5. 大阪藥學專門學校

200米リレー

1. 浪速高等學校 大門、田中、大方、栗原 2:04.8
2. 大阪齒科醫學專門學校 2:05.4
3. 大阪帝國大學 2:06.0
4. 大阪高等醫學專門學校
5. 大阪藥學專門學校

100米背泳決勝

1. 塚口敏郎 (大帝大) 1:28.8
2. 廣部由弘 (大帝大) 1:29.0
3. 遠藤一郎 (大藥專) 1:32.0
4. 尾崎孝 (大藥專)
5. 由利宜久 (大高醫)
6. 神谷汪義 (大高醫)

200米平泳決勝

1. 淨法寺百世 (浪高校) 3:18.8
2. 大坪尙文 (大帝大) 3:23.8
3. 伊藤貞 (大帝大) 3:26.8
4. 大槻晶夫 (大高醫)
5. 中村秀世 (大高醫)
6. 杉村桂三 (大藥專)

800米自由形決勝

1. 大門敏夫 (浪高校) 11:58.6
2. 岡田浪速 (浪高校) 13:59.8

3. 志戸田照也 (大齒專) 14:09.2
4. 金子清 (大高醫)
5. 稻垣正 (大齒專)
6. 田村史郎 (大高醫)

400米自由形決勝

1. 大門敏夫 (浪高校) 5:53.4
2. 尾崎孝 (大藥專) 6:19.8
3. 岡田浪速 (浪高校) 6:20.1
4. 金子清 (大高醫)
5. 梅田豊 (大齒專)
6. 志戸田照也 (大齒專)

100米自由形決勝

1. 山梨政行 (大帝大) 1:09.0
2. 吉田哲也 (大齒專) 1:10.0
3. 栗原榮二 (浪高校) 1:11.6
4. 安村護 (大齒專)
5. 田中十三一 (浪高校)
6. 大方文雄 (浪高校)

第四回

男子室内水上競技大會

11年5月10日甲子園室内水泳場(25米)公認

氣温 19° 水温 23°

主催 關西學生水上競技聯盟

50米自由形決勝

1. 大井健司 (弦泳會) 27.8
2. 渡邊完二 (都島俱) 29.2
3. 永山英雄 (同志社高商)

100米自由形決勝

1. 大井健司 (弦泳會) 1:04.0
2. 財間忠治 (灘中) 1:07.0
3. 天住信智 (法泳會)

200米自由形決勝

1. 串田正夫 (弦泳會) 2:21.0大會新
2. 入江正男 (弦泳會) 2:29.4
3. 庄田俊治 (弦泳會)

400米自由形決勝

1. 串田正夫 (弦泳會) 5:12.0大會新
2. 松浦新之助 (弦泳會) 5:31.0
3. 庄田俊治 (弦泳會)

200米平泳決勝

1. 大崎卯藤久 (弦泳會) 2:54.2
2. 田中末雄 (弦泳會) 3:02.4
3. 岩崎条郎 (灘中)

100米背泳決勝

1. 石田 (同志社高商) 1:17.2
2. 成住壽一 (弦泳會) 1:17.4

3. 眞矢進 (弦泳會)

200米リレー決勝

1. 弦泳會 串田、矢住、佐藤、大井 1:45.4
2. 甲陽中學 高木、杉山、井上、喜多 2:08.0
3. 瀧川中學

800米リレー決勝

1. 弦泳會 佐藤、松浦、庄田、串田 10:01.6

300米メドレー・リレー決勝

1. 弦泳會A 城住、大崎、串田 3:42.0
2. 弦泳會B 眞矢、田中、矢住 3:48.0
3. 弦泳會C 小川、高橋、大井

第拾回立教大學豫科對

第一高等學校定期大會

11年5月10日 立大水泳場(50米)公認

氣温 25° 水温 21°

主催 第一高等學校水泳部
立教大學水泳部

100米自由形

1. 田口正治 (立大豫) 57.0
2. 新井茂雄 (立大豫) 59.2
3. 大崎定兼 (立大豫) 1:03.2
4. 西田 (一高) 1:13.8
5. 鈴木 (一高) 1:16.4
6. 久保田 (一高) 1:16.8

400米自由形

1. 鶴藤俊平 (立大豫) 4:55.4
2. 市野重治 (立大豫) 5:18.2
3. 本間俊夫 (立大豫) 5:25.2
4. 岸田 (一高) 0:27.6
5. 山本 (一高) 6:41.2
6. 西本 (一高) 9:44.4

200米平泳

1. 上山茂穂 (立大豫) 3:06.6
2. 山田拓平 (立大豫) 3:07.8
3. 吉田 (一高) 3:20.4
4. 石田豊年 (立大豫) 3:21.4
5. 深川 (一高) 3:28.8
6. 山榊 (一高) 3:38.0

100米背泳

1. 門屋桂 (立大豫) 1:13.8
2. 阪本响一 (立大豫) 1:14.0
3. 倉上義雄 (立大豫) 1:17.4
4. 森 (一高) 1:26.4
5. 池田 (一高) 1:27.2
6. 手塚 (一高) 1:46.0

200米リレー

1. 立教大學豫科 新井、大崎 市野、田口 1:50.8
2. 第一高等學校 森、鈴木 西田、池田 2:00.4

水球

一高 立大豫

岸 田	LF	近 藤
森	CF	新 井
西 田	RF	藤 井
池 田	HB	田 口
久 保 田	LB	上 山
山 本	RB	大 崎
深 川	G.K	杉 浦

審判員 鶴 岡 榮
 一高 立大豫
 得點 前半 1—0
 後半 0—0
 計 1—0

3. 栗 村 中 丸 (中 大) 3:15.4

100米背泳

1. 細 谷 定 一 (中 大) 1:18.0
2. 中 島 萃 (國 大) 1:22.6
3. 岩 寅 三 (拓 大) 1:24.4

200米背泳

1. 細 谷 定 一 (中 大) 2:57.2
2. 中 島 萃 (國 大) 3:02.6
3. 岩 寅 三 (拓 大) 3:08.8

800米リレー

1. 國學院大學 原口、龜井 中島、上井 10:17.8
2. 中央大學 横山、中條 田上、細谷 10:34.6
3. 拓殖大學 和田、岩 小野田、河合 11:06.6

300米メドレーリレー

1. 國學院大學 中島、三井田 井上 3:50.4
2. 中央大學 細谷、栗村 横山 3:53.2
3. 拓殖大學 佐竹、光田 河合 4:13.2

得 點

中 央 大 學	71點
國 學 院 大 學	69點
拓 殖 大 學	54點

第三回拓・中・國三大學 對抗競技大會

11年6月14日 玉川水泳場(50米)公認
 氣 溫 24° 水 溫 22°

主 催 拓 殖 大 學
 中 央 大 學 水 泳 部
 國 學 院 大 學

100米自由形

1. 井 上 茂 (國 大) 61.4
2. 原 口 進 吉 (國 大) 1:06.2
3. 小 野 田 幹 雄 (拓 大) 1:10.2

200米自由形

1. 原 口 進 吉 (國 大) 2:35.4
2. 田 上 曉 涼 (中 大) 2:40.6
3. 龜 井 入 郎 (拓 大) 2:42.0

400米自由形

1. 井 上 茂 (國 大) 5:23.4
2. 河 合 辰 雄 (拓 大) 5:27.6
3. 中 條 久 米 男 (中 大) 5:57.2

800米自由形

1. 河 合 辰 雄 (拓 大) 11:27.4
2. 横 山 禎 之 (中 大) 12:18.0
3. 中 條 久 米 男 (中 大) 12:31.8

100米平泳

1. 三 井 田 吉 彌 (國 大) 1:25.4
2. 光 田 健 一 (拓 大) 1:26.2
3. 栗 村 中 丸 (中 大) 1:27.6

200米平泳

1. 三 井 田 吉 彌 (國 大) 3:06.0
2. 光 田 健 一 (拓 大) 3:06.2



ベルリンにおける試泳會

調子回復す

記録會 (7月5日ベルリンより)

オリムピック村に入つて9日目、早くも旅の疲れを回復し、體育大學のプールでレコード會を催した。主なる記録次の如し。

100米 遊佐57.8 新井58.4
100米背泳 清川1:08.4
200米平泳 葉室2:46.6 小池2:47.0 伊藤2:48.0
1000米 鶴藤12:48.2 田中→2:54.0
牧野 根上 13:01.6

新井の快記録

記録會 (7月12日ベルリンより)

7月12日オリムピックプールに於て第一回公式記録會を催した。

100米 1新井56.6 (長水路世界新記録) 遊佐57.1 田口58.0
100米背泳 清川1:08.4日本新記録 吉田1:08.8 明1:11.0 兒島1:12.0
200米自由形 杉浦2:12.6 鶴岡2:16.0
200米平泳 葉室2:42.0 小池2:44.4 伊藤2:45.2
400自由形 牧野4:47.0 根上4:51.4 石原田4:57.8
1500米自由形 鶴藤19:30.2 田中19:41.0 永見19:48.6

清川の好調

記録會 (7月18日ベルリンより)

7月18日は午前と午後各一回づつタイムをとつたが全員はりきつて好記録を出してゐる。

100米自由形 田口57.5 新井58.0 杉浦59.8
100米背泳 清川1:07.6 (日本新) 吉田1:08.8 明1:09.6 兒島1:09.8
400米自由形 牧野4:43.9 (日本新) 根上4:43.9 (日本新)
1500米自由形 根上19:36.0 田中19:43.4 寺田19:44.8

中距離も調子を出す

記録會 (7月18日ベルリンより)

正式申込もあと4日に迫り、陣容を決定するために18日午前午後の二回にわたりオリムピックプールに於てレコード會を催した。気温も日中は32度に高まり調子が良くなつてきた。

1500米 永見19:36.4 田中19:43.4 寺田19:44.8
400米 牧野4:43.8 (日本新記録) 寺田4:46.6 根上4:47.0 永見4:57.0

100米 田口57.6 新井58.2
200米平泳 葉室2:42.2 小池2:43.4 伊藤2:47.4

100米背泳 清川1:07.2 (日本新記録) 吉田1:12.6

200米自由形 新井2:09.6 (日本新記録) 杉浦2:10.6 鶴藤2:12.5 根上2:12.8 牧野2:13.5

前畑の新記録

女子記録會 (ベルリンより)

22日オリムピックプールで女子軍は記録會を行つた。重なる記録は

200米平泳 前畑3:02.6 (長水路世界記録)
100米自由形 小島1:11.1 竹村1:13.6 古田1:13.6 (いづれも日本新記録)

試合をひかえて二百に好記録

23日の記録會 (ベルリンより)

200米自由形 新井2:09.4 杉浦2:09.6 田口2:09.8 鶴藤2:10.0 根上2:10.8 牧野2:13.3 新聞2:16.2 鶴岡2:16.4

200米平泳 小池2:42.1 葉室2:42.5 伊藤2:44.2

1000米自由形 寺田12:35.4 石原田12:55.4 永見12:55.4 本田13:21.4

100米背泳 清川1:08.2 吉田1:08.5 兒島1:09.3 明1:10.0

最後の記録會 (ベルリンより)

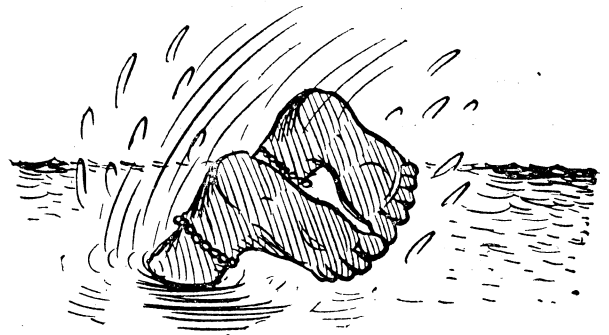
連日の猛練習を休んで26日の一日を清遊に過し30、31、1日の三日間、オリムピックプールで最後のレコード會を行つた。重なる記録は、

400米自由形 鶴藤4:40.2 (日本新記録)

800米自由形 寺田9:55.6 (世界新記録)

100米自由形 遊佐57.3 新井57.3

100米背泳 清川1:07.6 (日本新記録)



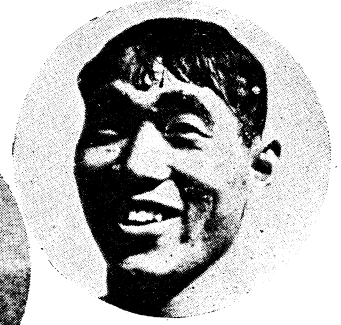
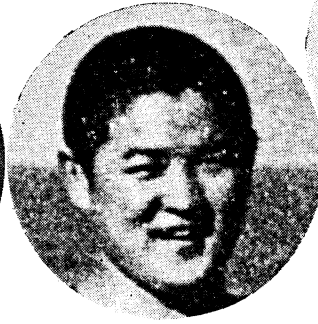
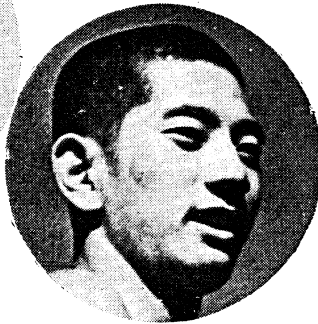
"BATHING SUITS" WORN BY NATIVES OF FORMOSA CONSIST ONLY OF A STRING OF BEADS AROUND BOTH ANKLES!! THE BEADS ARE BELIEVED TO "AID" THEM IN KEEPING AFLOAT!!

東京帝大水泳場竣工記念祝賀會

招待競技會



昭和十一年四月十一日



氣温21° 水温22.6°

400米自由形

	50—100	150—200	250—300	350—400
A組 1. 鵜藤俊平	29.8 1:04.6	1:41.0 2:18.2	2:55.8 3:34.2	4:13.2 4:50.3
2. 寺田登	30.4 1:05.0	1:41.2 2:19.0	2:58.0 3:37.2	4:17.9 4:58.4
3. 田端三郎	31.0 1:06.8	1:42.0 2:20.6	2:59.4 3:39.4	4:20.2 5:02.0
B組 1. 根上博	30.8 1:05.2	1:40.6 2:17.2	2:54.4 3:31.8	4:09.4 4:45.0
2. 市野重治	31.8 1:07.4	1:44.4 2:21.8	3:00.0 3:37.8	4:16.6 4:55.8
3. 堀勝美	31.5 1:07.8	1:45.2 2:23.4	3:01.8 3:41.0	4:20.2 4:58.8

200米平泳

A組 1. 伊藤三郎	35.0	1:15.6	1:58.8	2:42.6
2. 長久俊三	36.2	1:18.0	2:01.8	2:48.6
3. 山口正保	37.0	1:19.4	2:04.4	2:50.8
4. 野田務	36.8	1:19.4	2:05.4	2:52.8
B組 1. 小池禮三	34.2	1:14.6	1:57.8	2:41.0
2. 葉室鐵夫	35.0	1:16.0	1:59.0	2:42.2
3. 柳澤榮三郎				2:47.6

100米自由形

A組 1. 田口正治	26.8	58.8		
2. 宮崎康史	12.0 26.4	60.0		
3. 長谷川卯佐美	27.6	1:01.6		
4. 新聞六炳	28.0	1:02.0		
B組 1. 遊佐正憲	12.2 26.4	42.0 58.0		
2. 新井茂雄	27.8	59.8		
3. 平野亮	28.0	1:00.2		
4. 五十嵐伊市郎	28.2	1:01.2		
5. 鶴岡榮		1:01.6		

100米背泳

A組 1. 兒島泰彦	31.8	1:09.0		
2. 河津憲太郎	32.2	1:10.6		
3. 谷口辰三	33.6	1:12.8		
B組 1. 吉田喜一	33.0	1:09.4		
2. 明文一	33.6	1:10.8		
3. 山田薫	33.0	1:12.4		

500米自由形

1. 石原田愿	34.4 1:12.4	1:51.6 2:30.6	3:10.4 3:50.4	4:29.2 5:09.2	5:49.0 6:26.0
2. 寺田登	34.2 1:12.6	1:51.0 2:30.6	3:10.0 3:50.8	4:29.4 5:09.4	5:49.4 6:26.8
3. 牧野正藏	33.4 1:11.6	1:51.0 2:29.4	3:11.2 3:49.4	4:28.8 5:08.6	5:48.8 6:26.8

500米平泳

1.	小池禮三	36.4 1:19.0	2:03.0 2:47.8	3:32.4 4:19.0	5:06.0 5:53.0	6:39.6 7:23.8	世對 日新
2.	葉室鐵夫	38.6 1:24.0	2:12.4 2:59.6	3:45.8 4:31.8	5:19.4 6:06.8	6:54.6 7:39.0	
3.	山口正保	39.0 1:23.6	2:09.0 2:55.0	3:41.2 4:28.8	5:17.4 6:07.2	6:54.6 7:39.8	日新
4.	柳澤榮三郎	38.0 1:21.8	2:08.4 2:55.0	3:42.4 4:30.0	5:17.0 6:07.0	6:57.8 7:45.8	日新

200米背泳

1.	兒島泰彦	34.6	1:13.2	1:53.2	2:32.6	日新
2.	河津憲太郎	34.2	1:13.0	1:55.3	2:38.0	
3.	山田薰	36.0	1:16.2	1:57.2	2:39.8	

200米自由形

A組	1.	新井茂雄	29.8	1:05.0	1:40.0	2:15.6
	2.	平野亮	29.8	1:04.8	1:40.8	2:17.8
	3.	市野重治	30.8	1:06.0	1:41.4	2:18.2
	4.	新間六炳	31.0	1:07.6	1:43.4	2:19.2
	5.	五十嵐伊市郎	31.2	1:07.6	1:45.8	2:22.4
B組	1.	田口正治	28.8	1:01.6	1:36.4	2:12.0
	2.	遊佐正憲	27.2	1:01.4	1:38.4	2:16.0
	3.	鶴岡榮	30.4	1:04.2	1:42.0	2:18.4
	4.	長谷川卯佐美	30.4	1:04.8	1:41.2	2:19.4

100米平泳

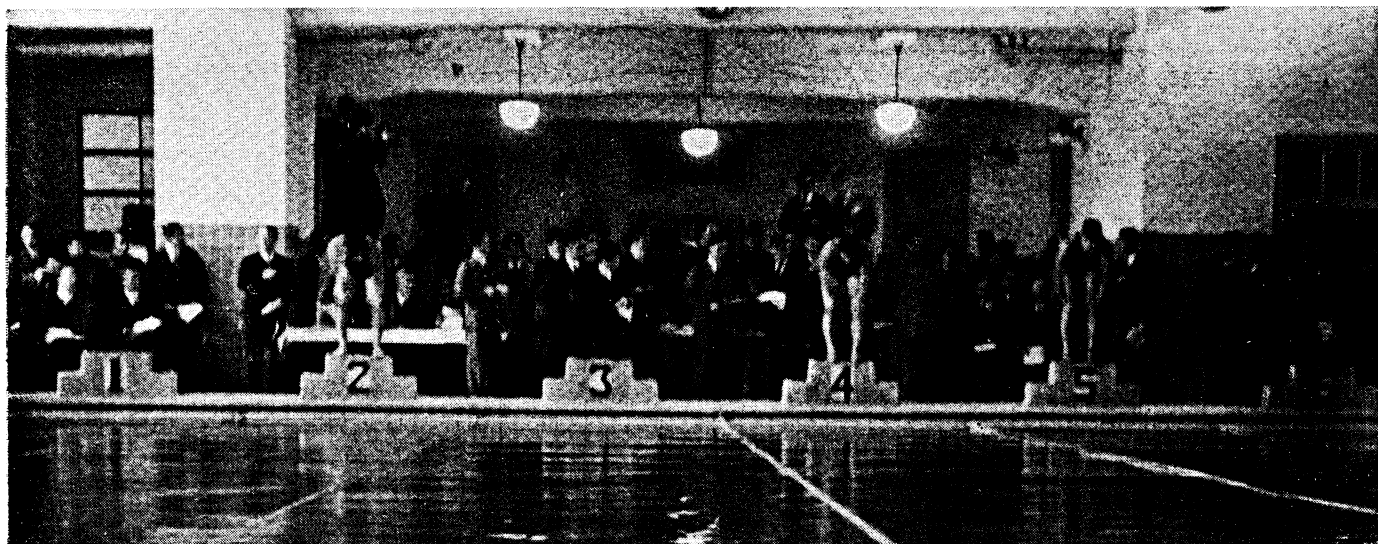
A組	1.	葉室鐵夫	34.4	1:14.2	B組	1.	小池禮三	33.6 34.0	1:12.2	日新
	2.	伊藤三郎	34.2	1:14.4		2.	柳澤榮三郎	36.2	1:17.6	
	3.	長久俊三	35.6	1:16.4		3.	野田務	36.6	1:20.0	

400米背泳

1.	吉田喜一	33.5 1:12.6	1:52.6 2:34.0	3:15.8 3:57.6	4:40.4 5:23.2
2.	谷口辰三	3.60 1:16.8	1:59.2 2:42.0	3:25.4 4:10.8	4:56.2 5:40.2

300米自由形

1.	根上博	31.4	1:07.2	1:44.0	2:20.4	2:57.6	3:31.8	日新
2.	石原田愿	32.0	1:07.6	1:44.2	2:20.8	2:57.4	3:33.6	
3.	鵜藤俊平	31.0	1:06.0	1:42.8	2:20.6	2:59.0	3:35.0	
4.	牧野正藏	31.2	1:06.4	1:43.4	2:20.4	2:59.0	3:36.8	
5.	堀勝美	30.6	1:07.0	1:44.0	2:21.4	3:01.0	3:40.4	



第十二回關東學生水球リーグ戦報告

期日 自六月十日
至六月十九日

場所 神宮外苑小水泳場

本年度から春秋二季に行はれて来たリーグ戦が年一回になつた、従来リーグ戦の行はれてゐた五月と九月は雨が多く、水溫氣溫が共に低くシーズン初めの練習不足もあつて試合の内容が貧弱になる。水球發達の爲には試合の數量を多くするよりもその質的向上が肝要であるから他に然るべき時期を求めて各校がベストコンディションで質のよい試合を行はうと云ふのがその趣旨である。この趣旨の下に六月十日より十九日に至る十日間が今年のリーグ戦に當てら

れた。参加校は一部七校（早慶立帝日明商）二部八校（一法、拓、成、東、中、文と新加入の國學院大學）の併せて十五校連日の快晴に溫度も上つて、コンディションは上々であつた。以下記録を追ふてその大體を御報告する。

六月十日(水) 晴、二時入場式を行ふ。前回優勝校一部早稲田大學、二部東京商科大學より夫々優勝楯の返還あり次いで會長代理飯田光太郎氏の挨拶があり入場式を終る。二時半より試合を開始す。

第一部成績

六月十日 晴

慶應義塾大學 12 { 6-0 } 0 日本大學

齋藤 巳智男	LF	川田 洋二
松本 司朗	CF	佐々木 猛
名取 正也	RF	森原 幸彦
木村 恭三	HB	正木 敬造
山内 哲	LB	宮田 建夫
大前 寛	RB	桑野 正實
千田 静三郎	GK	田口 實

審判員 君島 章

六月十一日 晴

早稲田大學 7 { 3-0 } 0 立教大學

山田 弘	LF	古川 正
五十嵐伊市郎	CF	篠塚 陽助
小野 四郎	RF	近藤 進
武藤 崇	HB	峰島 尚彦
中村 定春	LB	富田 巖衛
熊野 雪夫	RB	上山 茂穂
川島 弘	GK	杉浦 武夫

審判員 佐々木秀一

オリンピックに闘將を送つた立教は前年度の倅なし。

六月十二日 晴

立教大學 3 { 2-0 } 4 日本大學

篠塚 陽助	LF	桑野 正實
近藤 進	CF	佐々木 猛
藤井 晴雄	RF	森原 幸彦
峰島 尚彦	HB	秋吉 得夫
古川 正	LB	宮田 建夫
上山 茂穂	RB	正木 敬造
杉浦 武夫	GK	林田 陸夫

審判員 佐々木秀一

最初の延長戦日大よく頑張つて勝つ。

六月十二日 晴

早稲田大學 10 { 4-0 } 0 明治大學

山田 弘	LF	君島 章
五十嵐伊市郎	CF	片山 兼吉
小野 四郎	RF	野田 務
武藤 崇	HB	河津 憲太郎
中村 定春	LB	太田 光春
熊野 雪夫	RB	小杉 直也
川島 弘	GK	奥藤 修

審判員 南川幸次郎

期待された明治は案外脆く敗れ去つて終つた

六月十三日 晴

立教大學 3 { 3-0 } 2 明治大學

篠塚 陽助	LF	君島 章
近藤 進	CF	河津 憲太郎
古川 正	RF	山田 薫
峰島 尚彦	HB	片山 兼吉
富田 巖衛	LB	太田 光春
上山 茂穂	RB	吉川 武務
杉浦 武夫	GK	野田 務

審判員 栖原 正

六月十三日 晴

東京帝國大學 12 { 5-0 } 0 日本大學

瀧藤 義雄	LF	桑野 正實
近藤 勇三	CF	佐々木 猛
山田 正男	RF	森原 幸彦
小出 靖彦	HB	秋吉 得夫
橋村 良辰	LB	正木 敬造
南川 幸次郎	RB	宮田 建夫
角田 資敏	GK	林田 陸夫

審判員 岩田二郎

帝大は期待の如く日大に快勝して優勝候補の貫祿を示した。

六月十三日 晴

慶應義塾大學 8 {6-0} 0 東京商科大学

齋藤 巳智男	LF	高橋 三郎
松本 司朗	CF	栖原 正
名取 正也	RF	小林 隆繁
山内 哲	HB	佐藤 正彦
中村 勇夫	LB	森 隆
大前 寛	RB	水野 秀三郎
千田 静三郎	GK	日置 喜一

審判員 富田巖衛

六月十五日 晴

早稲田大學 6 {2-0} 0 日本大學

山田 弘	LF	川田 洋二
五十嵐伊市郎	CF	佐々木 猛
小野 四郎	RF	森原 幸彦
武藤 崇	HB	桑野 正實
中村 定春	LB	宮田 建夫
熊野 雪夫	RB	正木 敬造
川島 弘	GK	林田 陸夫

審判員 吉田 稔

六月十四日 晴 日曜の事としてスタンドも賑かに試合もリーグ半ばに愈々白熱して来た。

日本大學 5 {2-1} 2 明治大學

桑野 正實	LF	吉川 武
平野 亮	CF	河津 憲太郎
森原 幸彦	RF	奥藤 修
秋吉 得夫	HB	君島 章
宮田 建夫	LB	磯崎 訓秀
正木 敬造	RB	小杉 直也
林田 陸夫	GK	野田 務

審判員 小出靖彦

六月十五日 晴

慶應義塾大學 10 {6-0} 1 明治大學

齋藤 巳智男	LF	磯崎 訓秀
松本 司朗	CF	河津 憲太郎
名取 正也	RF	山田 薫
山内 哲	HB	君島 章
中村 勇夫	LB	吉川 武
大前 寛	RB	小杉 直也
千田 静三郎	GK	野田 務

審判員 南川幸次郎

六月十四日 晴

慶應義塾大學 3 {2-2} 2 立教大學

齋藤 巳智男	LF	篠塚 陽助
松本 司朗	CF	近藤 進
名取 正也	RF	古川 正
木村 恭三	HB	峰島 尚彦
山内 哲	LB	富田 巖衛
大前 寛	RB	上山 茂穂
千田 静三郎	GK	杉浦 武夫

審判員 岩田二郎

六月十六日 晴

明治大學 3 {1-0} 1 東京商科大学

片山 兼吉	LF	高橋 三郎
河津 憲太郎	CF	栖原 正
吉川 武	RF	小林 隆繁
君島 章	HB	佐藤 正彦
小杉 直也	LB	水野 秀三郎
山田 薫	RB	森 隆
野田 務	GK	吉田 稔

審判員 富田巖衛

六月十四日 晴

東京帝國大學 6 {4-0} 1 東京商科大学

近藤 勇三	LF	高橋 三郎
瀧藤 義雄	CF	栖原 正
赤澤 忠彦	RF	小林 隆繁
小出 靖彦	HB	佐藤 正彦
南川 幸次郎	LB	水野 秀三郎
橋村 良辰	RB	森 隆
角田 資敏	GK	吉田 稔

審判員 秋吉得夫

六月十六日 晴

早稲田大學 1 {0-0} 0 東京帝國大學

小野 四郎	LF	瀧藤 義雄
五十嵐伊市郎	CF	近藤 勇三
越川 壽	RF	山田 正男
武藤 崇	HB	小出 靖彦
中村 定春	LB	橋村 良辰
熊野 雪夫	RB	南川 幸次郎
川島 弘	GK	角田 資敏

審判員 佐々木秀一

覇權を賭しての一戦兩軍よく奮闘して好ゲームとなつた。勝敗容易に決せざるかと見えたが後半帝大軍のペナルフアウルにより早大はノーマークの一點を擧げて遂に凱歌を擧げた。之で早大の優勝が決定した。

六月十七日 晴

立教大學 1 $\begin{cases} 0-2 \\ 1-4 \end{cases}$ 6 東京帝國大學

篠崎 陽助	LF	瀧藤 義雄
近藤 進	CF	近藤 勇三
古川 正	RF	山田 正男
峰島 尙彦	HB	小出 靖彦
富田 巖衛	LB	橋村 良辰
上山 茂穂	RB	南川 幸次郎
杉浦 武夫	GK	角田 資敏

審判員 君島 章

六月十七日 晴

早稻田大學 8 $\begin{cases} 3-0 \\ 5-0 \end{cases}$ 0 東京商科大学

越川 壽	LF	栖原 正
五十嵐伊市郎	CF	高橋 三郎
小野 四郎	RF	小林 隆繁
武藤 崇	HB	佐藤 正彦
中村 定春	LB	水野 秀三郎
熊野 雪夫	RB	森 隆
川島 弘	GK	日置 喜一

審判員 鵜殿 欽爾

六月十八日 晴

日本大學 2 $\begin{cases} 1-1 \\ 1-0 \end{cases}$ 1 東京商科大学

平野 亮	LF	栖原 正
桑野 正實	CF	高橋 三郎
森原 幸彦	RF	小林 隆繁
秋吉 得夫	HB	佐藤 正彦
佐々木 猛	LB	森 隆
宮田 建夫	RB	水野 秀三郎
林田 陸夫	GK	吉田 稔

審判員 岩田 二郎

六月十八日 晴

慶應義塾大學 2 $\begin{cases} 1-1 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{cases}$ 1 東京帝國大學

齋藤 巳智男	LF	瀧藤 義男
松本 司朗	CF	近藤 勇三
名取 正也	RF	山田 正男
山内 哲	HB	小出 靖彦
木村 恭三	LB	橋村 良辰
大前 寛	RB	南川 幸次郎
千田 静三郎	GK	角田 資敏

審判員 君島 章

共に早大に一敗した同志の二位争ひ果して試合は白熱して延長二回に及んだが慶應決勝の一點をあげて遂に勝つ、之で二位慶應三位帝大と決定した。

六月十九日 曇後雨

東京帝國大學 5 $\begin{cases} 3-0 \\ 2-0 \end{cases}$ 0 明治大學

瀧藤 義雄	LF	磯崎 訓秀
近藤 勇三	CF	河津 憲太郎
山田 正男	RF	片山 兼吉
小出 靖彦	HB	君島 章
南川 幸次郎	LB	太田 光春
橋村 良辰	RB	小杉 直也
角田 資敏	GK	野田 務

審判員 佐々木 秀一

六月十九日 曇後雨

立教大學 5 $\begin{cases} 2-1 \\ 0-1 \\ 2-0 \\ 1-0 \end{cases}$ 2 東京帝國大學

篠塚 陽助	LF	栖原 正
近藤 進	CF	高橋 三郎
古川 正	RF	小林 隆繁
峰島 尙彦	HB	佐藤 正彦
富田 巖衛	LB	森 隆
上山 茂穂	RB	水野 秀三郎
杉浦 武夫	GK	日置 喜一

審判員 秋吉 得夫

六月七日舉行の早慶對抗水上競技會に於ける
水球戦の一部として行はれた。

早稻田大學 1 $\left\{ \begin{matrix} 0-0 \\ 1-0 \end{matrix} \right\}$ 慶應義塾大學 0

越川 壽	LF	齋藤 巳智男
五十嵐伊市郎	CF	松本 司朗
小野 四郎	RF	名取 正也
熊野 雪夫	HB	木村 恭三
中村 定春	LB	山内 哲
武藤 崇	RB	大前 寛
川島 弘	GK	千田 静三郎

審判員 藤原 豊

優勝候補同志の戦ゲームは一進一退して容易に決しなかつたが泳ぎに稍々勝つた早大が遂に一點を擧げて勝つ。ゲームがラフになつて兩軍共反則が甚しく奸試會と云ふ事は出来なかつた。兩校の自重を望む。

第二部成績

六月十日

中央大學 3 $\left\{ \begin{matrix} 1-1 \\ 2-0 \end{matrix} \right\}$ 1 國學院大學

栗村 中丸	LF	井上 茂
細谷 定一	CF	原口 進吉
小林 慧壽	RF	龜井 八郎
中條 久米男	HB	中島 萃
河村 穰	LB	井上 嘗一
中川 文雄	RB	眞壁 博
武者 基	GK	森 公夫

審判員 鈴木虎雄

六月十一日

法政大學 2 $\left\{ \begin{matrix} 0-2 \\ 2-5 \end{matrix} \right\}$ 7 東京高等學校

半野 精一	LF	増野 恒夫
藤田 貞男	CF	鈴木 正士
大竹 新平	RF	渡邊 藤男
三鴨 清	HB	秋山 健二
森 正二	LB	福山 孝之
山村 元夫	RB	高橋 俊雄
渡井 八郎	GK	大木 健八郎

審判員 栖原 正

六月十一日

第一高等學校 2 $\left\{ \begin{matrix} 1-0 \\ 1-0 \end{matrix} \right\}$ 0 拓殖大學

西田 米生	LF	小林 連
森 元和	CF	河合 辰雄
西本 春男	RF	藤井 健三
池田 忠	HB	鈴木 虎雄
久保田 元男	LB	小野田 幹雄
山本 庫造	RB	和田 武二
深川 義彦	GK	時尾 守

審判員 南川幸次郎

六月十一日

法政大學 3 $\left\{ \begin{matrix} 1-1 \\ 2-1 \end{matrix} \right\}$ 2 中央大學

大竹 新平	LF	栗村 中丸
藤田 貞男	CF	細谷 定一
渡井 八郎	RF	小林 慧壽
三鴨 清	HB	中條 久米男
山村 元夫	LB	河村 穰
半野 精一	RB	中川 文雄
森 正二	GK	武者 基

審判員 君島 章

六月十一日

成城高等學校 6 $\left\{ \begin{matrix} 2-1 \\ 4-0 \end{matrix} \right\}$ 1 文理科大學

柴田 正和	LF	新堀 菊三郎
森 美秀	CF	梅田 利兵衛
大野 健二	RF	坂本 博司
山口 榮樹	HB	村上 男
守田 讓二	LB	井坂 行男
神田 巳季男	RB	的場 益雄
平岡 邦充	GK	山田 武麿

審判員 岩田二郎

六月十一日

第一高等學校 6 $\left\{ \begin{matrix} 5-0 \\ 1-0 \end{matrix} \right\}$ 0 國學院大學

西田 米生	LF	井上 茂
森 元和	CF	龜井 八郎
中野 良知	RF	原口 進吉
池田 忠	HB	中島 萃
久保田 元男	LB	井上 嘗一
山本 庫造	RB	三井田 吉彌
深川 義彦	GK	森 公夫

審判員 山村元夫

六月十二日

中央大學 2 $\left\{ \begin{matrix} 1-4 \\ 1-3 \end{matrix} \right\}$ 7 文理科大學

栗村 中丸	LF	村上 四男
細谷 定一	CF	梅田 利兵衛
小林 慧壽	RF	坂本 博司
田中	HB	新堀 菊三郎
河村 穰	LB	的場 益雄
中川 文雄	RB	大竹 誠
武者 基	GK	山田 武麿

審判員 秋吉得夫

六月十二日

法政大學 2 $\left\{ \begin{matrix} 2-4 \\ 0-4 \end{matrix} \right\}$ 8 拓殖大學

渡井 八郎	LF	鈴木 宏
柳澤 榮三郎	CF	河合 辰雄
藤田 貞男	RF	小林 連
三鴨 清	HB	鈴木 虎雄
山村 元夫	LB	小野田 幹雄
半野 精一	RB	和田 武二
森 正二	GK	時尾 守

審判員 富田巖衛

九月十二日

成城高等學校 8 $\left\{ \begin{matrix} 3-3 \\ 2-2 \\ 2-0 \\ 1-0 \end{matrix} \right\}$ 5 國學院大學

神田 巳季男	LF	井上 茂
竹尾 快助	CF	原口 進吉
森 美秀	RF	龜井 八郎
山口 榮樹	HB	中島 萃
守田 讓二	LB	眞壁 博
大野 健二	RB	井上 營一
平岡 邦充	GK	森 公夫

審判員 奧藤 修

六月十三日

成城高等學校 2 $\left\{ \begin{matrix} 0-0 \\ 2-0 \end{matrix} \right\}$ 0 東京高等學校

柴田 正和	LF	增野 恒夫
竹尾 快助	CF	鈴木 正士
神田 巳季男	RF	渡邊 藤男
山口 榮樹	HB	秋山 健二
守田 讓二	LB	福山 孝之
大野 健二	RB	高橋 俊雄
平岡 邦充	GK	大木 健八郎

審判員 小出靖彦

六月十三日

第一高等學校 6 $\left\{ \begin{matrix} 4-0 \\ 2-0 \end{matrix} \right\}$ 0 法政大學

西田 米生	LF	渡井 八郎
森 元和	CF	柳澤 榮三郎
岸田 力	RF	半野 精一
池田 忠	HB	藤田 貞男
久保田 元男	LB	山村 元夫
山本 庫造	RB	三鴨 清
深川 義彦	GK	森 正二

審判員 吉田 稔

六月十四日

法政大學 0 $\left\{ \begin{matrix} 0-1 \\ 0-2 \end{matrix} \right\}$ 3 成城高等學校

半野 精一	LF	柴田 正和
藤田 貞男	CF	竹尾 快助
柳澤 榮三郎	RF	神田 巳季男
三鴨 清	HB	山口 榮樹
大竹 新平	LB	大野 健二
山村 元夫	RB	守田 讓二
森 正二	GK	平岡 邦充

審判員 奧野 修

六月十四日

東京高等學校 7 $\left\{ \begin{matrix} 3-1 \\ 4-0 \end{matrix} \right\}$ 1 文理科大學

高橋 俊雄	LF	村上 四男
增野 恒夫	CF	梅田 利兵衛
渡邊 藤男	RF	坂本 博司
秋山 健二	HB	井坂 行男
鈴木 正士	LB	興津 達明
森 富佐雄	RB	的場 益雄
大木 健八郎	GK	山田 武麿

審判員 吉田 稔

六月十五日

法政大學 1 $\left\{ \begin{matrix} 1-1 \\ 0-1 \end{matrix} \right\}$ 2 文理科大學

渡井 八郎	LF	村上 四男
藤田 貞男	CF	梅田 利兵衛
柳澤 榮三郎	RF	坂本 博司
三鴨 清	HB	井坂 行男
半野 精一	LB	新堀 菊三郎
山村 元夫	RB	的場 益雄
森 正二	GK	山田 武麿

審判員 竹村公良

六月十五日

拓殖大學 2 {1-0} 1 東京高等學校

小林 連	LF	増野 恒夫
河合 辰雄	CF	鈴木 正士
小野田 幹雄	RF	渡邊 藤男
鈴木 虎雄	HB	秋山 健二
鈴木 宏	LB	高橋 俊雄
和田 武二	RB	福山 孝之
時尾 守	GK	大木 健八郎

審判員 鵜殿欽爾

六月十六日

拓殖大學 4 {1-2} 2 成城高等學校

小林 連	LF	守田 讓二
河合 辰雄	CF	竹尾 快助
小野田 幹雄	RF	神田 巳季男
鈴木 虎雄	HB	山口 榮樹
藤井 健三	LB	柴田 正和
和田 武二	RB	大野 健二
時尾 守	GK	平岡 邦充

審判員 山村元夫

六月十五日

第一高等學校 10 {8-0} 0 中央大學

西田 米生	LF	栗村 中丸
森 元和	CF	細谷 定一
西本 春男	RF	武者 基
池田 忠	HB	中條 久米男
久保田 元男	LB	小林 慧壽
山本 庫造	RB	横山 禎三
深川 義彦	GK	田原 直之

審判員 藤田貞男

六月十七日

拓殖大學 5 {4-0} 0 中央大學

小林 連	LF	栗村 中丸
河合 辰雄	CF	細谷 定一
小野田 幹雄	RF	中條 久米男
鈴木 虎雄	HB	横山 禎三
藤井 健三	LB	小林 慧壽
和田 武二	RB	中川 文雄
時尾 守	GK	武者 基

審判員 南川幸次郎

六月十六日

文理科大學 4 {2-2} 2 國學院大學

村上 四男	LF	龜井 入郎
梅田 利兵衛	CF	原口 進吉
坂本 博司	RF	井上 茂
井坂 行男	HB	中島 萃
新堀 菊三郎	LB	三井田 吉彌
大竹 誠	RB	井上 嘗一
山田 武鷹	GK	森 公夫

審判員 鈴木虎雄

六月十七日

法政大學 5 {2-2} 3 國學院大學

柳澤 榮三郎	LF	井上 茂
藤田 貞男	CF	原口 進吉
渡井 入郎	RF	龜井 入郎
三鴨 清	HB	中島 萃
半野 精一	LB	井上 嘗一
山村 元夫	RB	三井田 吉彌
森 正二	GK	森 公夫

審判員 竹村公良

六月十六日

東京高等學校 4 {0-1} 1 中央大學

増野 恒夫	LF	栗村 中丸
鈴木 正士	CF	細谷 定一
渡邊 藤男	RF	中條 久米男
秋山 健二	HB	小林 慧壽
福山 孝之	LB	横山 禎三
森 富佐雄	RB	中川 文雄
大木 健八郎	GK	武者 基

審判員 藤田貞男

六月十七日

第一高等學校 4 {2-0} 1 東京高等學校

西田 米生	LF	増野 恒夫
森 元和	CF	鈴木 正士
西本 春男	RF	渡邊 藤男
池田 忠	HB	秋山 健二
久保田 元男	LB	高橋 俊雄
山本 庫造	RB	福山 孝之
深川 義彦	GK	大木 健八郎

審判員 鈴木虎雄

六月十八日

拓殖大學 對權 國學院大學
試合時刻を延引して待てども國大からの通知
もなく遂に棄權と認めて拓大の勝とす
審判員 藤田貞男

六月十八日

第一高等學校 3 { 1-0 } 0 文理科大學
2-0 }
西田 米生 LF 村上 四男
森 元 和 CF 梅田 利兵衛
西本 春男 RF 坂本 博司
池田 忠 HB 井坂 行男
久保田 元男 LB 興津 達明
山本 庫造 RB 新堀 菊三郎
深川 義彦 GK 山田 武麿
審判員 山村元夫

六月十八日

成城高等學校 8 { 3-1 } 1 中央大學
5-0 }
神田 巳季男 LF 栗村 中丸
竹尾 快助 CF 細谷 定一
大野 健二 RF 中條 久米男
山口 榮樹 HB 横山 禎三
中村 俊平 LB 小林 慧壽
守田 讓二 RB 中川 文雄
平岡 邦充 GK 武者 基
審判員 鶴殿欽爾

六月十九日

第一高等學校 5 { 0-1 } 5 成城高等學校
2-1 }
0-0 }
1-1 }
0-1 }
1-0 }
0-0 }
1-1 }
西田 米生 LF 神田 巳季男
森 元 和 CF 竹尾 快助
西本 春男 RF 大野 健二
池田 忠 HB 山口 榮樹
久保田 元男 LB 中村 俊平
山本 庫造 RB 守田 讓二
深川 義彦 GK 平岡 邦充
審判員 奥藤 修

リーグ戦掉尾のこの試合は實に延長三回に及ぶも勝敗決せず遂に引合となる。

六月十九日

拓殖大學 5 { 3-0 } 1 文理科大學
2-1 }
小林 連 LF 村上 四男
河合 辰雄 CF 梅田 利兵衛
藤井 健三 RF 坂本 博司
鈴木 虎雄 HB 井坂 行男
和田 武二 LB 興津 達明
岩 寅三 RB 新堀 菊三郎
時尾 守 GK 山田 武麿
審判員 小出靖彦

六月十九日

東京高等學校 7 { 4-3 } 3 國學院大學
3-0 }
増野 恒夫 LF 井上 茂
鈴木 正士 CF 原口 進吉
渡邊 藤男 RF 龜井 入郎
秋山 健二 HB 中島 萃
高橋 俊雄 LB 井上 嘗一
福山 孝之 RB 眞壁 博
大木 健八郎 GK 森 公夫
審判員 栖原 正

第一部成績

勝	早	慶	帝	日	立	明	商
早	○	○	○	○	○	○	○
慶	●	○	○	○	○	○	○
帝	●	●	○	○	○	○	○
日	●	●	●	○	○	○	○
立	●	●	●	●	○	○	○
明	●	●	●	●	●	○	○
商	●	●	●	●	●	●	○

第二部戦績

勝	一	拓	成	東	文	法	中	國
負	○	×	○	○	○	○	○	○
一	●	○	○	○	○	○	○	○
拓	×	●	○	○	○	○	○	○
成	●	●	○	○	○	○	○	○
東	●	●	●	○	○	○	○	○
文	●	●	●	●	○	○	○	○
法	●	●	●	●	●	○	○	○
中	●	●	●	●	●	●	○	○
國	●	●	●	●	●	●	●	○

六月十九日最終日は前記試合が延長を重ね、閉會式は遅れて六時過ぎより開始。一部優勝校早稲田大學、二部優勝校第一高等學校に優勝楯の授與あり、笹島會長代理の挨拶を以て無事リーグ戦の幕を閉ぢる事となつた。

尙今回の戦績表及順位は以上の如くである。その結果

一部 早慶帝日立明商

二部 一拓成東文法中國

の順位となり、一部最下位商大に代つて二部最上位の一高が明年度より一部へ上る事となつた。

× × ×

懸念した梅雨も掛聲ばかりで、萬事都合よくリーグ戦は終了した。長い長いと思つてゐた十日間も終つて見れば何のこと、今年は之切りかと思ふと飽氣ない様な物足りぬ様な氣持がする。トーナメントか何かの形式で秋の寂しさを埋めたいものである。

是迄リーグの第一戦に活躍して來たオリムピック選手の缺場により、今回のリーグ戦は何處か寂しく終つてしまつた。リーグ戦が質的に低調にあつた事は否まれぬ。テクニクの巧拙は兎も角として氣合が成けてゐる様な所が殊更に感ぜられた。遊び半分に勝敗を全く度外視して出場する様なチームは我々の大會をスポイルするものである。苟も出場するからには能ふ限りの練習を積んで必勝の意氣で臨んで貰ひたい。併し勝たんが爲には何をしてもよいと云ふ

事にはならない。競技は常にフェアに進められねばならない。元氣と粗暴は嚴密に區別すべきである。

水球と云ふ競技が尙日淺く一般に關心の薄い事は敢て云ふ迄もないが、リーグ戦に出場して競技者の間にも案外水球に對する理解の程度が低い様に思はれる。ルールと云ふ點について見てもコーナースローの方法を知らなかつたりレフェリーボールの如何が分らなかつた競技者を一人ならず、このリーグ戦で見掛けてゐる。試合に出場する者はこんな一般的なルールは是非知つてなければならず、又容易に練習中に知り得るのであるから、結局練習が如何に平常行はれてないかを示すものである。苟もこのリーグ戦の出場者にはかゝる者無きを期したい。審判員、ゴールスクォーター、記録員についても現在の状態では十分とは思へない。一層理解を深くして自己に託せられた責任を完全に果し得る様に十分研究して置く必要がある。殊に審判員の責任は競技の進展に重大な關係を有するものであるから、尙一層の研鑽を望む次第である (南川)

(我々のリーグ戦は我國水球界の最高のレベルを示すものである。現にベルリンへ代表を送つてゐる如く、再び將來に於てオリムピック選手を我々の間から出すことは疑ない事である。日本の水球の進歩はリーグ戦の進歩と並行する事になるのであるから、我々はその重大な責務に對して恥しからぬ實踐を擧げたいものである。)

昭和十一年度關東飛込選手權大會

昭和11年7月26日

明治神宮外苑水泳場

男子飛板飛込

競技順	氏名	所屬	規定1	2	3	4	5	選擇1	2	3	4	5	順位
1	毛利元英	(日大)	11.88	21.74	32.38	39.74	52.34	64.52	77.12	22.32	101.92	112.56	2
2	小出和雄	(早大)	棄權										
3	杉原雪夫	(慶大)	11.52	24.10	37.40	47.64	56.64	69.24	83.94	95.94	118.28	109.14	1
4	細谷幸四郎	(日大)	10.80	19.98	30.62	39.26	50.06	60.56	71.20	81.32	90.12	101.56	4
5	北田舜次	(慶大)	10.80	21.34	32.74	42.98	52.70	63.14	73.14	79.98	91.58	99.18	5
6	永井政一	(明大)	7.56	15.72	27.50	37.42	43.90	54.40	59.20	67.12	74.72	84.38	7
7	片岡弘吉	(慶大)	8.64	18.16	29.94	40.82	51.62	64.22	75.82	89.46	102.26	110.62	3
8	大高俊一	(日大)	6.12	13.26	22.38	31.02	41.46	53.22	63.72	71.20	84.22	94.30	6

男子高飛込

競技順	氏名	所屬	1	2	3	4	5	順位				
1	林慶二郎	(駿臺クラブ)	6.16	14.32	26.20	38.36	45.08	55.92	67.12	76.62	1	
2	山田謙二郎	(稻泳會)	6.38	14.06	24.86	33.22	44.22	52.38	58.78	68.66	3	
3	細谷幸四郎	(日大)	6.60	14.28	24.00	34.64	44.56	54.76	65.32	76.34	2	
4	永井政一	(明大)	棄權									

女子高飛込

競技順	氏名	所屬	1	2	3	4	順位
1	林悦子	(無)	7.70	15.18	24.30	33.26	1

第二回日本中等學校飛込競技大會

昭和11年8月30日

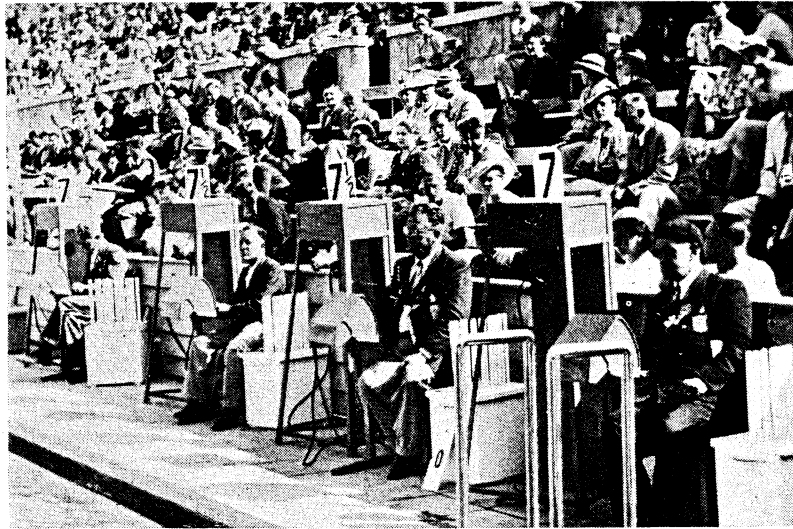
明治神宮外苑水泳場

飛板飛込

競技順	氏名	所屬	規1	2	3	4	5	選1	2	3	順位
1	溝口喜久男	(慶應普通部)	9.12	20.96	33.88	41.08	50.26	61.42	71.86	82.30	2
2	井上一男	(今宮中學)	7.68	18.88	27.62	36.98	46.50	59.82	70.38	82.98	1
3	永原隆	(早稻田實業)	7.68	18.88	31.80	40.44	47.58	58.38	64.78	74.50	3
4	久保欣治	(神戸第三 港商業)	6.00	6.96	15.32	23.48	31.64	43.88	55.76	68.30	6
5	大西直逸郎	(茨木中學)	8.16	19.36	30.38	36.38	44.20	55.36	60.48	71.64	5
6	宮秋利厚	(茨木中學)	6.72	16.00	27.40	34.12	45.00	51.40	60.76	73.36	4

高飛込

競技順	氏名	所屬	規1	2	3	選1	順位
1	久保欣治	(神戸第三 港商業)	5.80	11.74	18.56	25.76	5
2	井上一男	(今宮中學校)	7.80	13.74	22.76	33.16	1
3	大西直逸郎	(茨木中學校)	6.00	12.82	19.42	27.22	4
4	溝口喜久男	(慶應普通部)	7.00	11.62	18.00	23.04	6
5	宮秋利厚	(茨木中學)	6.00	12.38	18.54	27.34	3
6	永原隆	(早稻田實業)	6.40	14.10	21.80	30.48	2



ベルリンオリンピック大会
飛込審判員

第二回東部中等學校飛込競技大會

昭和11年8月23日

明治神宮外苑水泳場

飛板飛込 (2位迄を入選とす)

競技順	氏名	所屬	規1	2	3	4	5	選1	2	3	順位
1	溝口喜久男	(慶應普通部)	5.76	16.00	27.02	33.50	42.68	53.84	63.56	73.64	1
2	橋本憲一	(慶應商工)									
3	永原隆	(早稻田實業)	7.92	16.56	24.92	33.32	42.16	52.60	60.76	72.28	2

高飛込 (2位迄を入選とす)

競技順	氏名	所屬	規1	2	3	4	順位
1	永原隆	(早稻田實業)	5.50	13.30	19.18	27.30	1
2	橋本憲一	(慶應商工)					
3	溝口喜久男	(慶應普通部)	7.70	15.84	24.00	29.04	2



飛込愚感

飛込はもつと見る人に美を痛感させねばならぬ。

競技は實戦である。

理論倒れの理でなく、實戦に勝つべき理論はもつと研究發達されねばならぬ。

それにはもつと効果的な練習法が研究されねばならぬ、然しあまりに効果的なを狙つて競技者の精神力が弱まつてはならぬ、

末弘先生の「競技者は馬になれ」といふ言葉はこの邊のことも意味してゐる様に思はれる。

競技に於ける成功は競技上の約束、競技に伴ふ各種の條件を心得て完全に實行することだ。

競技上の約束とは何だ。

競技場、競技者、審判、観客の心理の動きの四要案に外ならぬ。

この要案は競技場の状態、競技者のプレイ

審判、観客の審美眼、要求が時代の移るにつれ漸次變化して行くが、また一面、その「飛込の美さ」には何等か基準的な約束が付纏つてゐる筈である。

コーチはこれらを分析して心得、これを綜合して一つの簡単な結論を出し、これを以てプレーヤを導かねばならぬと思ふ。(S)

オリンピック飛込競技の印象

ピート・デスジャーディンス

ベルリンのオリンピック競技に於ける飛込は歐洲諸國の従來の競技振りに非常な改良をなした。米國は飛込の最も進歩した國とし承認されてゐるが覇權を維持するに多大の壓迫を感じしめられた。

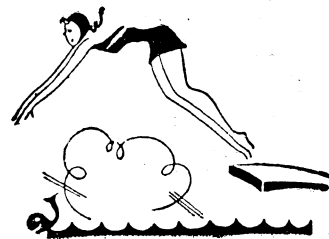
1923年 アムステルダム大會1932年のロサンゼルス大會に於て米國は他の總べての國を明瞭に凌駕してゐた。其故は彼等の技術がそれ程高い標準にあつたからである。ベルリンに於ける競技では従來にない切迫したものであつた。自分の見た所ではアメリカの選手は既に到達してゐる高い標準以上に改良されてゐない。飛込の確實性によつて優位を得てゐる。飛板飛込よりは高飛込に於て一層顯著である。

ドイツと日本の飛込選手は非常な躍進をした。ドイツ選手はロサンゼルス優勝者ダッチ、スミスによつて昨年三ヶ月コーチを受けて軍隊式のゴツゴツした飛込からアメリカの標準に甚だ近づいて來て圓滑な一層 coordinated な飛込をする様になつた。然し入水と確實性に於て缺くる處があつた。

日本人は最近飛込を始めたのであるが技術に關する點では正道を進んでゐて總べての飛込に驚くべき高さ height(高點?)を得てゐる。

英國も亦進歩したが他國の進歩に比べると急激さが足りなかつた。

一般に飛込の標準は上つて來たが次回のオリンピック傳勝者は最高の標準に達した者の内でも最も確實性のある競技者であらうことは今回明瞭に示されてゐる。練習は確實性を作る標準を改進し其上に確實性を得ることを努力せねばならぬ。



第拾回静岡中等學校 水上競技大會

11年6月21日

濱松高工水泳場(25米)

氣温27° 水温26.5°

主催 濱松高工水泳部

100米自由形決勝

1. 伊藤 猛 (見付中) 1:05.2
2. 浅野 輝明 (岐阜商) 1:05.4
3. 早川 正次 (中泉農) 1:05.6
4. 木佐森駿雄 (掛川中)
5. 佐藤銳旭一 (静岡中)
6. 伊藤 潔 (静岡中)

個人200米自由形 (タイムレース)

A組

1. 堀 勝美 (岐阜商) 2:23.4
2. 山下 欣一 (濱一中) 2:26.4
3. 伊藤 憲利 (袋井商) 2:31.4

B組

1. 浅野 輝明 (岐阜商) 2:23.0
2. 鈴木 欣一 (袋井商) 2:36.6
3. 宮崎 秀雄 (濱一中) 2:41.8

400米自由形決勝

1. 堀 勝美 (岐阜商) 5:03.2
2. 浅野 輝明 (岐阜商) 5:09.2
3. 木佐森駿雄 (掛川中) 5:14.4
4. 那須田 清 (中泉農)
5. 禰津 三郎 (静岡中)
6. 中野憲一郎 (掛川中)

800米自由形決勝

1. 堀 勝美 (岐阜商) 10:33.8
2. 岩田 務 (岐阜商) 10:50.4
3. 那須田 清 (中泉農) 10:53.8
4. 伊藤 憲利 (袋井商)
5. 梶村 源一 (中泉農)
6. 荒井 通雄 (掛川中)

200米平泳決勝

1. 加藤 太平 (見付中) 2:52.4
2. 加藤 久男 (袋井商) 2:55.2
3. 鷺山 英教 (掛川中) 2:57.0
4. 稻垣 太郎 (見付中)
5. 浅井 幸三 (一宮中)
6. 浅井 薰治 (濱農蠶)

100米背泳決勝

1. 兼子 春雄 (中泉農) 1:17.6
2. 伊藤和一郎 (見付中) 1:20.4
3. 伊藤 晃 (岐阜商) 1:20.6
4. 和田古左衛門 (中泉農)
5. 中村 哲一 (見付中)

6. 伊藤 隆 (濱農蠶) 個人200米背泳 (タイムレース)

1. 横田 英一 (濱一中) 2:50.2
2. 伊藤和一郎 (見付中) 2:57.2
3. 磯部建四郎 (見付中) 3:05.6

200米リレー決勝

1. 岐阜商業 浅野、田中、岩田、堀 2:00.2
2. 見付中學 伊藤、鈴木、熊谷、加藤 2:00.6
3. 静岡中學 禰津、和田、伊藤、佐藤 2:02.2
4. 中泉農學
5. 掛川中學
6. 袋井商業

800米リレー決勝

1. 岐阜商業 岩田、田中、浅野、堀 9:45.8
2. 中泉農學 早川、溝口、梶村、那須 10:07.2
3. 掛川中學 中野、山本、荒井、木佐森 10:15.4
4. 静岡中學
5. 見付中學
6. 濱松農蠶

300米メドレー・リレー決勝

1. 見付中學 伊藤、加藤、伊藤(猛) 3:44.8
2. 中泉農學 兼子、佐藤、早川 3:47.6
3. 岐阜商業 伊藤、大野、堀 3:52.4
4. 掛川中學
5. 袋井商業
6. 静岡中學

各校得點

- | | |
|---------|----|
| 1. 岐阜商業 | 63 |
| 2. 見付中學 | 48 |
| 3. 中泉農學 | 48 |
| 4. 掛川中學 | 31 |
| 5. 静岡中學 | 21 |
| 6. 袋井商業 | 14 |
| 7. 濱松農蠶 | 4 |
| 8. 一宮中學 | 2 |

第一回盛岡市内中等 學校水上競技大會

11年6月28日

城南小學校水泳場(25米)

氣温 23° 水温 18°

主催 岩手水泳協會

100米自由形決勝

1. 青山 昌光 (盛岡商) 1:08.7
2. 泉山 大宣 (盛岡中) 1:09.5
3. 佐々木道雄 (盛岡中) 1:13.5

4. 太田 平八 (岩手中)
5. 畠 榮一 (岩手師)
6. 平山 由見 (岩手師)

200米自由形決勝

1. 泉山 大宣 (盛岡中) 2:33.8
2. 青山 昌光 (盛岡商) 2:34.2
3. 森田 利雄 (岩手師) 2:55.1
4. 佐々木道雄 (盛岡中)
5. 太田 平八 (岩手中)
6. 小田島 一 (盛岡中)

400米自由形決勝

1. 越戸 優一 (盛岡中) 5:21.5
2. 藤本 勇 (盛岡商) 6:07.1
3. 佐久山安弘 (盛岡商) 6:34.5
4. 久慈 齊一 (盛岡中)
5. 猪原 啓三 (岩手中)
6. 柄内松四郎 (岩手中)

800米自由形決勝

1. 越戸 優一 (盛岡中) 11:26.8
2. 藤本 勇 (盛岡商) 12:50.0
3. 佐久山安弘 (盛岡商) 14:25.8
4. 久慈 齊一 (盛岡中)
5. 猪原 啓三 (岩手中)
6. 柄内松四郎 (岩手中)

200米平泳決勝

1. 瀬川 佳男 (盛岡商) 3:29.5
2. 渡邊 三徳 (盛岡中) 3:30.4
3. 永島 久夫 (岩手師) 3:34.7
4. 大澤 政雄 (盛岡商)
5. 小川惣太郎 (岩手中)
6. 大矢 一也 (盛岡中)

100米背泳決勝

1. 袴田 勇作 (岩手師) 1:33.2
2. 田丸 格夫 (盛岡中) 1:36.2
3. 中井 盛雄 (盛岡中) 1:44.7
4. 丹野 勝雄 (岩手中)
5. 山本 正文 (岩手師)
6. 小野 岩一 (盛岡商)

200米リレー決勝

1. 盛岡中學 小田、佐々木、泉山、越戸 2:06.1
2. 盛岡商業 2:11.4
3. 岩手師範 2:14.3
4. 岩手中學

300米メドレー・リレー決勝

1. 盛岡中學 田丸、渡邊、越戸 4:16.3
2. 岩手師範 4:20.4
3. 盛岡商業 4:21.5
4. 岩手中學

得 點

1. 盛岡中學 64點
2. 盛岡商業 48點
3. 岩手師範 28點
4. 岩手中學 22點

第二回三重高等農林學校 校彦根高等商業學校對 抗水上競技大會

11年7月12日

三重高農水泳場(25米)公認

氣溫 29° 水溫 25°

主催 三重高等農林學校
彦根高等商業學校

100米自由形

1. 岸 本 (三重高農) 1:05.0
2. 玉 田 (三重高農) 1:05.8
3. 小 西 (彦根高商) 1:05.8

200米自由形

1. 小 西 (彦根高商) 2:27.4
2. 玉 田 (三重高農) 2:27.6
3. 伊 吹 (彦根高商) 2:32.1

400米自由形

1. 河 原 林 (彦根高商) 5:18.4
2. 大 井 (三重高農) 5:34.0
3. 野 村 (三重高農) 5:39.8

800米自由形

1. 河 原 林 (彦根高商) 11:07.0
2. 大 井 (三重高農) 11:54.8
3. 野 村 (三重高農) 12:17.0

200米平泳

1. 井 上 (彦根高商) 2:56.0
2. 片 岡 (三重高農) 3:02.6
3. 竹 本 (三重高農) 3:15.7

100米背泳決勝

1. 原 田 (三重高農) 1:21.0
2. 德 田 (三重高農) 1:29.6
3. 和 田 (彦根高商) 1:31.2

200米リレー

1. 三重高農 玉田、吉岡、岸本、大井 1:56.2
2. 彦根高等商業

800米リレー

1. 彦根高商 河原林、小西、伊吹、井上 10:03.0
2. 三重高等農林 10:26.6

300米メドレー・リレー

1. 三重高農 原田、片岡、岸本 3:57.4
2. 彦根高等商業 4:09.8

第七回長野縣下中等學校 水上競技大會

11年7月5日

長野市營水泳場(50米)

氣溫 22° 水溫 19°

主催 長野市水泳協會

50米自由形決勝

1. 松 澤 毅 (長野中) 30.0
2. 小 川 一男 (屋代中) 31.2
3. 轟 博太郎 (長野中) 31.8
4. 小 山 務 (長野商)
5. 土 屋 颯 (上田中)
6. 齊 孝 和夫 (上田中)

100米自由形決勝

1. 伊 藤 實 (長野中) 1:10.2
2. 永原 安夫 (長野工) 1:10.4
3. 伊藤 幸彦 (諏訪中) 1:10.4
4. 小 林 正登 (上田中)
5. 小 川 一男 (屋代中)
6. 小 山 務 (長野商)

200米自由形決勝

1. 伊 藤 實 (長野中) 2:40.2
2. 伊藤 幸彦 (諏訪中) 2:40.8
3. 永原 安夫 (長野工) 2:42.4
4. 小 林 正登 (上田中)
5. 西 村 元一 (屋代中)
6. 清 水 今朝義 (上田中)

400米自由形決勝

1. 市 川 滂 (野澤中) 5:55.2
2. 戸 島 一雄 (上田中) 5:56.4
3. 市 村 光行 (長野工) 6:01.4
4. 丸 山 綱幸 (須坂中)
5. 西 村 元一 (屋代中)
6. 太 田 松男 (諏訪中)

800米自由形決勝

1. 市 川 滂 (野澤中) 12:22.0
2. 戸 島 一雄 (上田中) 12:35.4
3. 丸 山 綱幸 (須坂中) 12:36.0
4. 市 村 光行 (長野工)
5. 清 水 今朝義 (上田中)
6. 新 井 救陸 (長野中)

100米平泳決勝

1. 加藤 倭夫 (野澤中) 1:25.8
2. 鳥 田 重信 (長野中) 1:31.0
3. 北澤 恒雄 (長野工) 1:32.4
4. 山本十三四 (長野商)
5. 宮 坂 光亮 (諏訪中)
6. 小 山 武雄 (屋代中)

200米平泳決勝

1. 加藤 倭夫 (野澤中) 3:08.6
2. 北澤 恒雄 (長野工) 3:26.2
3. 鳥 田 重信 (長野中) 3:26.4

4. 宮坂 光亮 (諏訪中)

5. 山本十三四 (長野商)

6. 増 田 實 (長野商)

50米背泳決勝

1. 宮崎 博道 (長野中) 37.2
2. 高見澤信義 (野澤中) 38.2
3. 北原 正一 (長野中) 39.6
4. 關口 恒由 (野澤中)
5. 大槻 倉二 (諏訪中)
6. 山崎 益男 (上田中)

100米背泳決勝

1. 宮崎 博道 (長野中) 1:20.8
2. 高見澤信義 (野澤中) 1:27.4
3. 北原 正一 (長野中) 1:28.8
4. 大槻 倉二 (諏訪中)
5. 山崎 益男 (上田中)
6. 土 屋 忠幸 (上田中)

400米リレー決勝

1. 長野中學 宮崎、轟、松澤、伊藤 4:52.8
2. 長野工業 西澤、瀧澤、市村、永原 4:57.8
3. 上田中學 小林、齊藤、蓬田、戸島 4:59.0
4. 屋代中學
5. 長野商業
6. 野澤中學

第一回南信中等學校 水上競技大會

11年7月23日

松本市水泳場(50米)

氣溫 28° 水溫 23°

主催 松本水泳協會

50米自由形決勝

1. 伊藤 幸彦 (諏訪中)
2. 加藤 嘉一 (諏訪蠶)
3. 増澤 一平 (諏訪中)
4. 山下 博將 (諏訪蠶)
5. 矢崎 文雄 (諏訪蠶)
6. 横山 知久 (諏本商)

100米自由形決勝

1. 伊藤 幸彦 (諏訪中) 1:13.7
2. 増澤 一平 (諏訪中) 1:26.1
3. 杉浦 教武 (諏訪中) 1:26.4
4. 須藤 正守 (松本商)
5. 矢崎 文雄 (諏訪蠶)
6. 岡里 忠久 (南安農)

200米自由形決勝

1. 伊藤 幸彦 (諏訪中) 2:51.2
2. 五味 貞雄 (諏訪中) 3:10.9
3. 太 田 松雄 (諏訪中)

4. 藤森 俊雄 (諏訪中)
 5. 須藤 正守 (松本商)
 6. 矢崎 文雄 (諏訪蠶)
- 400米自由形決勝
1. 太田 松雄 (諏訪中) 6:24.6
 2. 五味 貞雄 (諏訪中) 6:25.0
 3. 藤森 俊雄 (諏訪中) 7:25.8
 4. 林 啓三郎 (諏訪蠶)
 5. 山本 幾久 (諏訪蠶)
 6. 樋口 光三 (諏訪蠶)
- 800米自由形決勝
1. 五味 貞雄 (諏訪中) 13:06.0
 2. 太田 松男 (諏訪中) 13:06.7
 3. 樋口 光三 (諏訪蠶)
 4. 山本 久幾 (諏訪蠶)
- 100米平泳決勝
1. 宮坂 光亮 (諏訪中) 1:36.5
 2. 相澤 清一 (松本二中) 1:41.7
 3. 荻原 惠介 (松本商) 1:42.4
 4. 大下 龍郎 (諏訪蠶)
 5. 笠原 勇二 (諏訪蠶)
 6. 堀内 浩平 (諏訪中)
- 200米平泳決勝
1. 宮坂 光亮 (諏訪中) 3:34.1
 2. 木下 龍郎 (諏訪蠶) 3:45.4
 3. 堀川 浩平 (諏訪中)
- 100米背泳決勝
1. 加藤 喜一 (諏訪蠶) 1:28.4
 2. 大槻 倉二 (諏訪中) 1:31.8
 3. 山岡 俊介 (諏訪蠶)
 4. 兩角 賢三 (諏訪蠶)
 5. 千村 茂允 (諏訪中)
 6. 武居 (松本二中)
- 200米背泳決勝
1. 加藤 喜一 (諏訪蠶)
 2. 大槻 倉二 (諏訪中)
 3. 兩角 賢三 (諏訪蠶)
 4. 千村 茂允 (諏訪中)
- 200米リレー決勝
1. 諏訪中學 藤森、太田、五味、伊藤 2:18.4
 2. 諏訪蠶糸 2:20.9
 3. 松本中學 2:27.2
 4. 松本商業
- 800米リレー決勝
1. 諏訪中學 藤森、太田、五味、伊藤 12:56.4
 2. 諏訪蠶糸 13:57.5

第4回

全道中等學校水泳大會

11年7月26・27日

五稜郭函商水泳場(50米)

氣温 21°5 21°

水温 22°8 22°5

主催 函館水泳協會

200米リレー決勝

1. 函館商業 長谷川、正田、小澤、田中 2:04.2
 2. 函館師範 矢野、長濱、鈴木、濱地 2:05.4
 3. 札幌一中 杜塚、植田、池田、齊藤 2:09.6
 4. 北海商業
 5. 函館中學
 6. 余市中學

100米平泳決勝

1. 松浦 基德 (札幌一中) 1:26.0
 2. 土屋 量平 (札幌商) 1:27.6
 3. 遠藤 新一 (北海商) 1:29.5
 4. 中村 文夫 (函館中)
 5. 直木 清 (札幌商)
 6. 山口 賢三 (札幌一中)

800米自由形決勝

1. 小山 正未 (北海商) 12:29.1
 2. 笠松 太吉 (函館商) 12:56.1
 3. 堀切 泰造 (北海中) 13:32.0
 4. 岩淵 德美 (札幌商)
 5. 藤屬 修 (函館商)
 6. 長濱 吉彦 (函館師)

200米自由形決勝

1. 田中 健一 (函館商) 2:30.5
 2. 濱地 正道 (函館師) 2:34.5
 3. 渡部 三邦 (余市中) 2:49.8
 4. 坂田 源藏 (函館商)
 5. 池田 四藏 (札幌一中)
 6. 會田 實 (余市中)

100米春泳決勝

1. 長谷川 黄一 (函館商) 1:20.2
 2. 酒井 秀雄 (留萌中) 1:24.6
 3. 長濱 吉之丞 (函館師) 1:27.5
 4. 山内 慎三 (函館商)
 5. 杉本 正敏 (札幌商)
 6. 志田 一郎 (函館師)

200米平泳決勝

1. 齋藤 榮一 (札幌一中)
 2. 松浦 基德 (札幌一中)
 3. 遠藤 新一 (北海商)
 4. 中村 文夫 (函館中)
 5. 眞木 清 (札幌商)

400米自由形決勝

1. 小山内 正味 (北海商) 5:53.4
 2. 笠松 太吉 (函館商) 6:10.6

3. 堀切 泰造 (北海中) 6:13.7
 4. 坂田 源藏 (函館商)
 5. 岩淵 德美 (札幌商)
 6. 長濱 吉彦 (函館師)

100米自由形決勝

1. 濱地 正道 (函館師) 1:03.8
 2. 田中 健一 (函館商) 1:05.2
 3. 池田 四藏 (札幌一中) 1:12.2
 4. 正田 順平 (函館商)
 5. 渡部 三邦 (余市中)
 6. 大山 登 (留萌中)

200米背泳決勝

1. 長谷川 黄一 (函館商) 2:57.6
 2. 酒井 秀雄 (留萌中) 3:14.8
 3. 長濱 吉之丞 (函館師) 3:14.8
 4. 山内 慎三 (函館商)
 5. 志田 一郎 (函館市)
 6. 杉本 正敏 (札幌商)

800米リレー決勝

1. 函館商業 長谷川、坂田、田中、笠村 11:08.0
 2. 函館師範 矢野、長濱、長濱、濱地 12:06.4
 3. 余市中學 會田、松本、松平、渡部 12:14.4
 4. 札幌一中
 5. 函館中學
 6. 北海中學

第四回愛知縣中等學校水上競技大會

11年7月26日

七本松名古屋泳協水泳場

(25米)公認

氣温 33° 水温 28

主催 名古屋水泳協會

100米自由形決勝

1. 杉田 芳雄 (中京商) 1:03.8
 2. 安藤 裕 (東邦商) 1:07.8
 3. 齋藤 洋 (東邦商) 1:08.0

200米自由形決勝

1. 小柳 清志 (中京商) 2:25.9
 2. 杉田 芳雄 (中京商) 2:26.0
 3. 安藤 裕 (東邦商) 2:32.4

400米自由形決勝

1. 石田 賢一 (津島中) 5:10.6
 2. 竹内 定夫 (東邦商) 5:20.0
 3. 小柳 清志 (中京商) 5:21.5

800米自由形決勝

1. 石田 賢一 (津島中) 10:56.2
 2. 竹内 定夫 (東邦商) 11:14.2
 3. 太田 光雄 (中京商) 11:15.6

100米平泳決勝

1. 鈴木 毅 (小牧中) 1:24.6
2. 浅井 幸三 (一宮中) 1:25.4
3. 川口 義克 (津島中) 1:26.8

200米平泳決勝

1. 浅井 幸三 (一宮中) 3:04.2
2. 川口 義克 (津島中) 3:06.2
3. 稻垣富士夫 (津島中) 3:09.4

100米背泳決勝

1. 水野 勉 (東邦商) 1:18.0
2. 服部 義治 (津島中) 1:19.6
3. 鈴木 正康 (津島中) 1:20.0

200米背泳決勝

1. 水野 勉 (東邦商) 2:48.8
2. 鈴木 正康 (津島中) 2:49.2
3. 服部 重雄 (中京商) 2:56.2

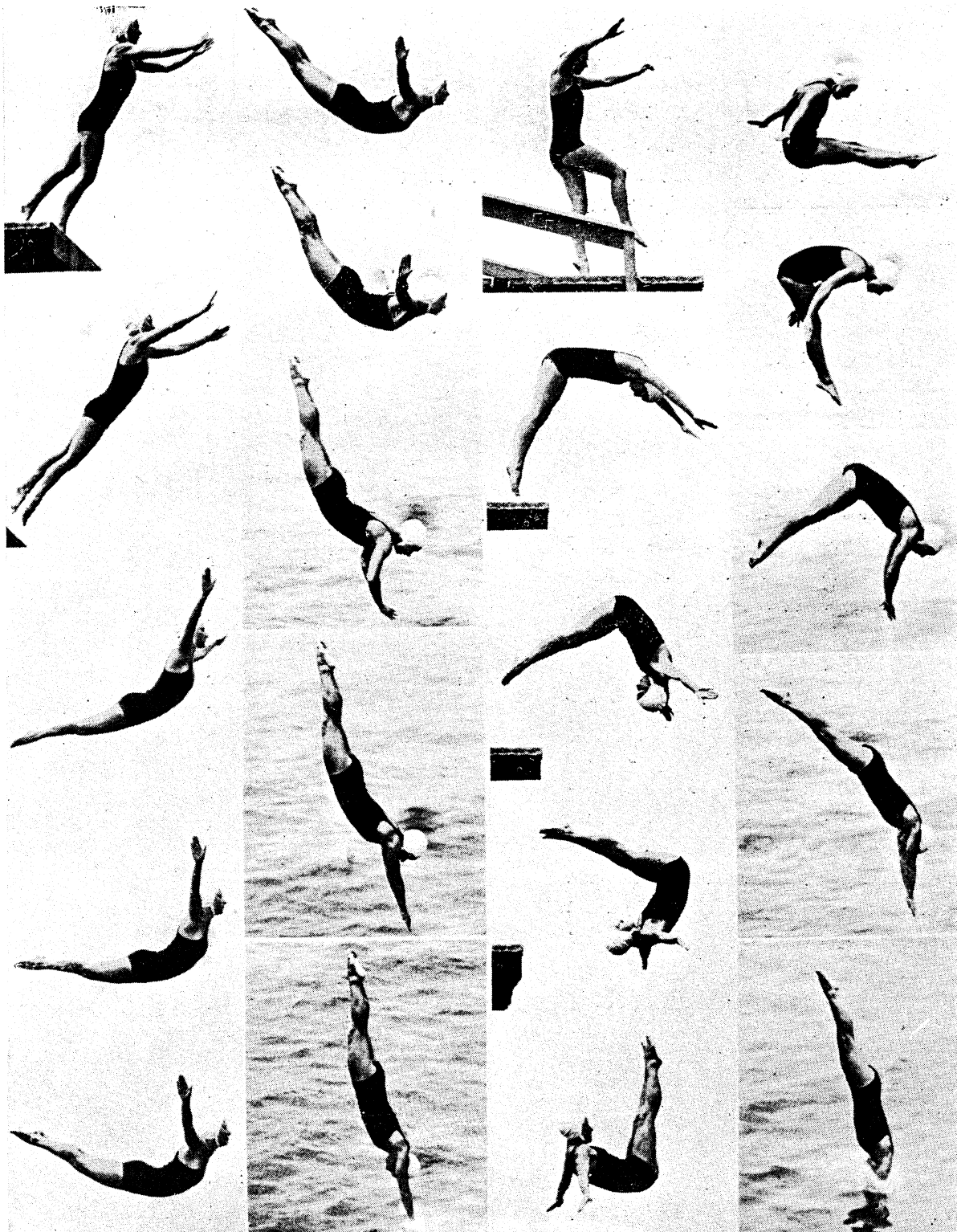
200米リレー決勝

1. 東邦商業 齋藤、安藤、水野 2:00.4

2. 中京商業 水野、加藤、小柳、藤田 2:00.6
3. 津島中學 2:02.9

800米リレー決勝

1. 東邦商業 齋藤、安藤、水野、藤田、小柳、藤田 10:15.2
2. 中京商業 水野、小柳、藤田 10:16.0
3. 津島中學 10:33.0



● 魔眼レンズに依る飛込解剖 ●

ベルリンオリンピック大会に於て女子高飛込に優勝し、飛込飛込にも第三位で入賞したポイントン・ヒル夫人(米國)

左の二行は前飛の踏切りから入水迄(個定臺)
右の二行は前宙返り一回半の踏切りから入水迄(固定臺)

關 東 女 子 選 手 合 同 練 習 と 試 泳 會 記 録

日本の男子水上競技界が世界のホープを爲してゐるのに引比べて女子の水上競技界は今更私が云々するまでもなく誠に不振そのものである。その中でも最も著しく不振の目に立つところのものが關東の女子水上界であつたことも私一人の云はんとする所でもあるまいと思ふ。その不振さは水上競技會の開催中心地として華な地方だけに一層甚しく感ぜられる。こゝ數年來常に此の不振さを啣つて來た關東女子軍も幸ひに關東水泳協會役員諸氏の過分な後援を得て昨冬十二月初旬以來今春五月上旬迄の間前後五十數回に亘る合同練習を府立第六高女プールに於いて行ふことが出來た。そして苦しい練習を不斷に繼續する中にもどうやら二回の試泳會を持つことが出來た。練習期間は全體二分して第一回試泳會迄と第一回試泳會後第二回試泳會迄とに別けた。そして各前期後期との練習重點を左記のことに置いた。

第一回試泳會迄 (十二月一日—三月八日)

1. 體力の養成
2. 泳法の完成 (各自の身體に合ふ泳法、そんなものを完成させたいと専心して見ました)

第二回試泳會迄 (三月九日—五月三日)

1. 克己心の養成 (フアイテングスピリツトの養成と云ふことになりませう)
2. 各自のペースを修得せしむること (フアイトとペースの関係は何かしら完全に一致して、よい記録を生ませるものゝ様に考へられましたので兩者を區別し乍らも一體として行く氣持で修得させる様に心掛けました。

その結果第一回の試泳會を三月八日に行つて見たが各自のレコードが前年度のものに基だ遠いには些か悲觀もしコーチの自信も失はれる様な氣がした。がしかしその後は今迄以上に練習に勵み各自に自己のペースと云ふものを完全に修得せしめる様に心掛けると同時に從來の關東選手に缺け勝ちなフアイテングスピリツトの養成に力を致した。幸ひにも五月三日の第二回試泳會には各選手共に堂々各自の前年度ベストタイムを改め得たのは何よりである。これも各選手の不斷なる努力の賜とは云ひ乍ら室内に於て既に斯の如き異常なる好調を示して呉れた關東女子中等選手に今年こそは多大の期待を掛けて見度いと思つてゐる。

(中川千枝子)

第一回關東女子試泳會

東京府立第六高女水泳場 (室内) 25米

昭和十一年三月八日午後一時

氣温 10° 水温 19°

五十米自由形

- | | | |
|----|---------|------|
| 1. | 太 田 隆 子 | 37.6 |
| 2. | 須 藤 菊 代 | 37.6 |

3.	増 山 ち せ	37.6
----	---------	------

百米自由形

- | | | |
|-------|-----------|--------|
| A組 1. | 太 田 隆 子 | 1:27.8 |
| 2. | 山 田 八 重 子 | 1:28.4 |
| 3. | 須 藤 菊 代 | 1:31.8 |
| B組 1. | 福 島 ヒ ロ 子 | 1:25.6 |
| 2. | 増 山 ち せ | 1:27.6 |

二百米自由形

- | | | |
|----|-----------|--------|
| 1. | 福 島 ヒ ロ 子 | 3:12.2 |
| 2. | 山 田 八 重 子 | 3:15.0 |
| 3. | 三 浦 ハ ナ | 3:21.8 |

百米平泳

- | | | |
|----|-----------|--------|
| 1. | 壺 井 宇 乃 子 | 1:38.2 |
| 2. | 原 日 出 子 | 1:43.4 |
| 3. | 齋 藤 房 江 | 1:47.6 |

二百米平泳

- | | | |
|----|-----------|--------|
| 1. | 壺 井 宇 乃 子 | 3:25.6 |
| 2. | 原 日 出 子 | 3:41.6 |
| 3. | 齋 藤 房 江 | 3:49.4 |

第二回關東女子試泳會

東京府立第六高女水泳場 (室内) 25米

昭和十一年五月三日午前十時

氣温 19.5° 水温 23.5°

五十米自由形

- | | | |
|----|---------|------|
| 1. | 増 山 ち せ | 34.8 |
| 2. | 須 藤 菊 代 | 37.4 |
| 3. | 太 田 隆 子 | 38.6 |

百米自由形

- | | | |
|-------|-----------|--------|
| A組 1. | 増 山 ち せ | 1:24.2 |
| 2. | 山 田 八 重 子 | 1:25.0 |
| 3. | 須 藤 菊 代 | 1:25.2 |
| B組 1. | 福 島 ヒ ロ 子 | 1:21.4 |
| 2. | 三 浦 ハ ナ | 1:22.8 |
| 3. | 須 藤 光 代 | 1:24.2 |
| 4. | 太 田 隆 子 | 1:25.0 |

二百米自由形

- | | | |
|----|-----------|--------|
| 1. | 福 島 ヒ ロ 子 | 2:58.4 |
| 2. | 三 浦 ハ ナ | 3:02.8 |
| 3. | 須 藤 光 代 | 3:04.2 |
| 4. | 山 田 八 重 子 | 3:05.6 |

百米平泳

- | | | |
|----|-----------|--------|
| 1. | 壺 井 宇 乃 子 | 1:35.2 |
| 2. | 原 日 出 子 | 1:38.4 |

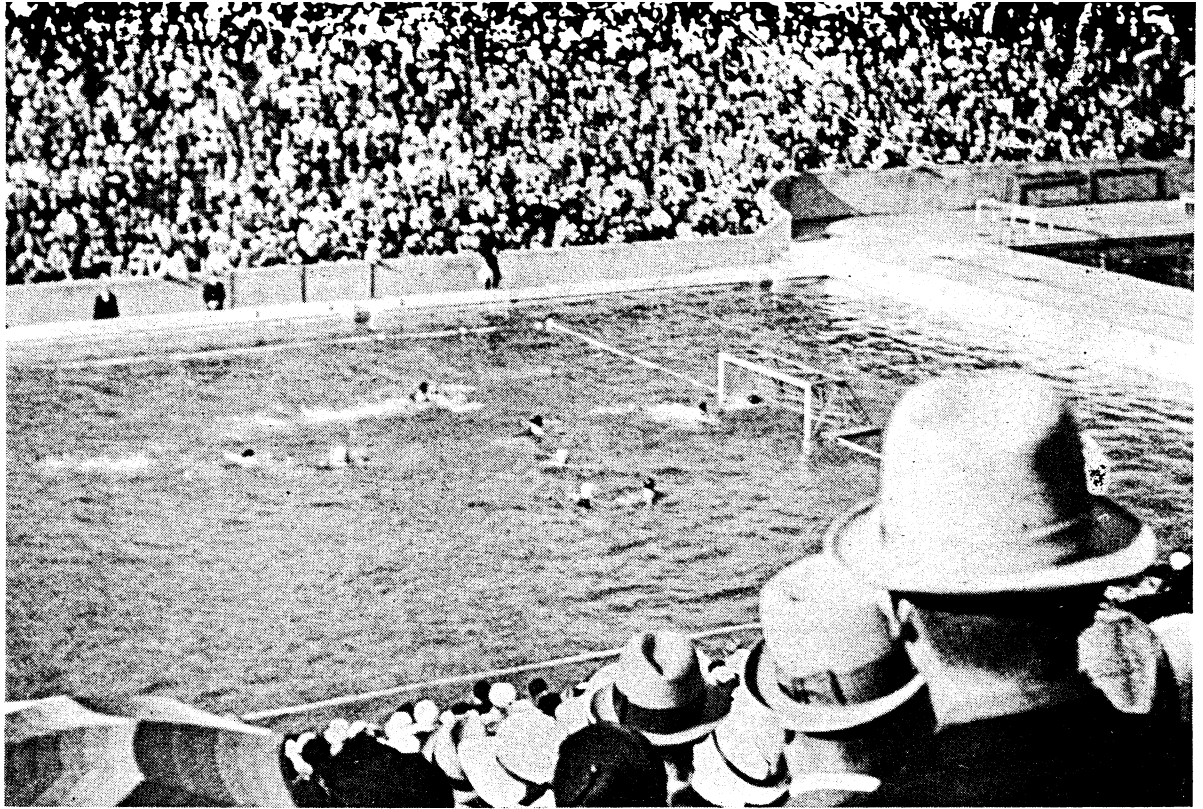
二百米平泳

- | | | |
|----|-----------|--------|
| 1. | 壺 井 宇 乃 子 | 3:20.4 |
| 2. | 原 日 出 子 | 3:26.6 |
| 3. | 齋 藤 房 江 | 3:33.6 |

水球

—デル・シユウキンメル紙より—

●写真は早慶戦



オリンピック水球審判會議より

一、油又は脂膏塗布による除外

第九條・競技者ハ、油脂膏或ハ同様ノモノヲ塗ルベカラズ。然ラザレバ競技ニ出場スルヲ得ズ。

問・此の場合の除外は、一時的のもの、即ち、油e.t.c.が取り除かれる間だけのものか、若くは、故意の反則の場合と同く、得点成る迄か、

答・一般の見解によれば、第一に規則第九條に禁止されて居り、第二に水温十六度以下の場合には、健康上の理由から競技が行はれない故を以て、數年前にあつた様に、水温を防ぐ目的で厚い脂膏を塗布する事は、最早今日では問題にされて居ない。

従つて問題になるのは、競技者が競技直前脂膏油等を用ひてマツサージを行ひ、其の爲故意といふよりは寧ろ不注意の爲に、石鹸で洗ひ落したり、擦り落したりしても十分に落ちて居ず、其の残滓の爲に、競技に當りて相手方の妨害となる事が認められる場合である。

一九三四年歐洲選手權大會の和蘭對白耳義の試合に於て之と同じ事件が生じた。勿論競技開始の際直ちにこの事實に確認せられ、競技は中止となつて、マツサージを施した全競技者は素直に塗布物を擦り落し、競技は新しく開始された。其れは何等計畫的意圖を有するものでない事が判然したからであつた。

此の事件は當時盛に議論せられ、或る二、三の専門家は之が若し、何等かの目的を以て爲されたものであるならば審判員は其のチーム全員をオミットし、白耳義を以て勝者と宣言したであらう、と解して居るが、譬へそうしたにしても、苟もスポーツ精神に立脚したチームであるならば、恐らく、かゝる紛争の結果得た勝利なぞ謝絶して受けつけない事と思はれるから、其のチームを除外し、又不戦勝の宣言をしたとて、何等その目的に副ふ所以のものでもなく又白耳義側に好意を示した事にもならなかつたであらう。

事實、國際水球委員會では、この審判員の處置を是認し最後の會議の結果、競技者の身體に脂膏等の残滓が確認せ

られた時は、競技開始前であれば、之を除去する機會を與へ、試合中であれば、次に得点せられる迄該競技者を除外する、といふ見解を採つた、つまり、規則第十八條の最後の章、即ち「總ベチ競技者ガ審判員ニ退水ヲ命ゼラレタル時ハ通常次ノ得点ガナサレタル時ニ入水ヲ許サル可キモ……」といふのと全く一致するものである。

勿論、この際審判員は、油がその間に除去されたる事を確認しなければならぬ事は云ふ迄もない。

二、ゴール・キーパーはフリー・スローの際には其の場に止らざるべからず。

第十條・「ゴールキーパー」ガ、「ゴール・スロー」以外ノ「フリー・スロー」ヲ與ヘラレタル時ハ最モ近キ味方ノ競技者ヲシテ反則ノ起リタル處ヨリ「スロー」ヲ代行セシムル事ヲ得。

問・之に依れば、ゴール・キーパーは、フリー・スローを示す笛が鳴つたならば、彼が其の時居た場所に留らねばならない、それから、自分でフリー・スローを行はない時はフリー・スローを代行する味方の競技者の手からボールが離れた時、始めてゴールに歸つてよいと解せられる。

答・之は始めてフランスに依つて提出された質問であるが、元來餘り難しいものではない。即ち、第十六條第二章に、「而シテ總テノ競技者ハ「スロー」ヲナス競技者ノ手ヨリ「ボール」ガ離ル、迄其ノ位置ニ留ルベシ」と明記してあるによる。従つて、ゴール・キーパーも、フリー・スローが行はれる迄該位置に留まらねばならない。

三、競技開始の際のフリー・スロー

第十二條・「ボール」ヲ取扱フトハ手掌ニテ「ボール」ヲ扱フヲ謂フ若シモ本條項ガ適用サル、以前ニ反則ガ起リタル時ハ第十五、第十六、第十七條ヲ適用ス。

問・我々（フランス）はこの章を次の如く解釋する。即ち、この三ヶ條に記載せられたる反則の結果得にフリー・スローを行ふ場合、競技者は、任意の味方側競技者にボールを投げ得る、そしてこの際、この投球者が自陣中にあるか、又は敵陣中にあるかは問題でなく、又直接ゴールヘシ

ユートする権利を有し、之がゴールインすれば、之は有効である、と。

此の解釋は正しいか、

答・此のフランスよりの質問を正しく解するには、第十二條、即ち競技開始又は再會に關する規則を精讀しなければならぬ。第十二條の最後の事に關しては、ボールが規則通りに、二人——三人の競技者により掌を用ひて競技されて居ない内に起り得る場合が考へられる。即ち、例へば、多分生ずるオーデイナリー・ファウル、或はメーヂャー・ファウル等の如く、ボールを握拳で打つたり、或はスタートを起す際、之を妨害したり、援助したりする場合である。

勿論この場合、ボールを味方の或る一人の競技者に投げる事が出来、この競技者の居る場合が自陣内であらうと、相手方の陣内であらう何れにしても差支へはないのである。而もこの場合、この競技者は決陣内から敵ゴールを狙ふ事が出来る。即ち、この時には、フリー・スロー及び審判ボールに關する第十六條の規定が有効となり、競技開始(第十二條)に關する規定は最早適用されない事となる。

ゴール前のフリー・スローは誰が行ふか

第十五條・「オーデイナリー・ファウル」ニ對スル罰則ハ

反則ノ起リタル場所ヨリ最モ近キ相手方競技者ニ「フリー・スロー」ヲ與フベシ。

この規定を嚴密に適用すれば、青組の一人が、白組のゴール前四・五米の所で反則を犯し、其の際の最も近き相手方競技者が白組のゴール・キーパーである、といふ場合が可能である。だが十五條K項に於て、四米ライン外に於ては、ボールに觸れる事が許されない。然し他方から見れば彼は反則の起つた場所、即ち、ゴールから四・五米の場所に於てフリー・スローを行はなければならない。即ち彼は最も近き相手方競技者であるからである。

では、何うすればよいか、

ゴール・キーパーにフリー・スローを與へる場合は、假令彼が最も近き競技者であるにしても、實際には起らない即ち、審判員がゴール・キーパーにフリー・スローを與へる場合を假定しても、第十條によつて再び味方側競技者にこのフリー・スローを讓る事が出来るからである。

國際水球委員會は、此の場合に於けるフリー・スローの代行は最も白組のバツクの手に歸し、且又反則の起つた場所、從つて白組のゴール前四・五米の處から行はれる、との説を採つてゐる。

議 問

A

第二十條……

側壁に當つて彈き返つたボールに關する、國際水球委員會の解釋Bを、舊第二十一條(一九三〇年發行、フィナ綱要)にあてはめる事は出来なかつた。

國際水球委員會は、ボールがプールの側壁に當つて彈ね返つた場合に關して次の如き立場を採つてゐる。

即ち、規則變更は何等益する所なく、在來の規則で充分である。ボールが彈き返つた爲にチームの何れにも何等の

利害を生ずるものでなく、又「審判ボール」も何等特別の便宜を與へず、唯競技の進行を遲滯せしむるに過ぎないのであるから、そのまま直ちに競技を續行し得ると。

B

未熟なる審判員にとつて大いに役立つ審判員に對する目くばせを復活する事は出来なかつたか、

國際水球委員會の側では、水球規則其自體、既に最も要領を得たるものであるから「審判員に對する目くばせ」を復活する事によつて、之以上浩漭且複雑なものにする事は望んで居ない。

C

規則に一致せざる審判員の判定に對して、如何に抗議すべきか、を確定する事は望まれないか。

之に對しては、之が若しフィナ主催の大會であれば、一チームが審判員に對して其の誤審を確證し得ると信じて居る場合には、國際競技規定に照らして抗議の提出は可能である。だが此の抗議は、當の審判員が己が事實判定を固執せず、誤審たる事を承認したる場合にのみ、有効でめるに過ぎない。

抗議に成功する場合は極めて少く、普通一般に拒否されて了ふのである。

勿論例外として反則者が何等抗議をせず、審判が之に意見を述べる必要がない場合が擧げられる。

一例

埃太利はある競技に於て、審判員が、埃國側の反則によつて敵に與へたペナルティスローの合圖の笛を規則通りに吹かず、競技者は笛なしで投げた爲、不利な立場に置かれた、と信じた。

この事は埃國と同意見の多數の證人即ち審判が笛を吹いたのを聞かなかつた人が多くさん居たのであるが、審判は之に反對の意見を陳べた。即ち、自分はペナルチャー・スローの合圖の笛を吹いた。人々はあたりの騒然たる物音の爲に笛が聞えなかつたのである。と、それで抗議は、公平な證人が多數口々に叫んだけれども、成功の見込はなかつたらしい。事實又埃國側はこの理由から抗議する事を放棄したのである。

金メタルの争奪

ドイツ——ハンガリー 二・二

ホイツスル。一瞬只死の如き靜寂、

試合開始だ、と其瞬間燃え上る熱狂の焰、

沸騰するスタディオ。恐らく空前絶後の盛觀事であらう。魔女の鍋にも譬へんこの熱狂の坩堝の眞只中に兩軍肅肅として歩武を陣頭に進めた。

外、泰然たる偉容を持し、内、祖國の名譽をこの一戦に賭けた戰士の胸中や如何に。

既に試合は開始された。千變萬化の作戦、一上一下虚々實々、飛球火を吐いて敵陣を襲ひ、觀衆固唾を呑んで息づまる興奮の渦。

兩軍の陣容を見れば、只ハンガリーのサルカニに代るスピードのハザイのみ。

兩軍至妙の戦闘隊形。

獨軍利あらず

然し又ハンガリーも未だ好調出でず。シュルツエ興奮して人影のない左翼に投球。ボツツイ之を追つて左翼に出てはツしと投げれば、クリンデンブルグの妙技よく之を防ぐ。兩軍共に反則を出し、フリースローとなるも大部はハンガリーの側。ハンガリーのチャンス。然しバイエルよくマークしてネメートのシュートを遮ぎり得点を與へず。シュナイダーフリースロー、だが之をマークするハザイの好防よく之を遮ぎる。

一投又一投、演技益々熟して戦況愈々佳境に入る。

だがハンガリーのナンバーワン、バツクのハラツシの外防、スピードのあるシュルツエの技に押されて、この所ハンガリーの獨壇上、クリンデンブルグ、よく數度の豪球を受け止めて得点せしめず、又もやネメートの鋭いシュートクリンデンブルグ危く之を受けて再び最佳境。

大衆愈々熱狂

シュルツエ再び球をとり、満身の力を渾めてハツシとばかり投げれば、球はゴール枠に當つた物凄い音。

其の時ハンガリー側のゴール・スロー。ブローダイ之をホンナイへ、ホモンナイ再び、スタートを起したハザイにロングパス。ハザイ、ドイツのゴールに向つてドリブル、又ドリブル。其の時シュルツエを遮ぎらんとしてハザイに迫る。ハザイ素早くシュルツエの頭上を越えて、ゴール近くノーマークのブランダイにパス。シュート。ゴール・イン。

一・〇 ハンガリー・リード

正にドイツ軍にとつては致命的の大打撃であつた。だが此方も名に負ふドイツ軍、之しきの事に何條慮するものぞ彼等の前には只勝利あるのみ。勝利のみが彼等の目標である。

其の間ドイツ側應援團では、益々狂氣の如く聲援を送り、相手方から沸き上る歡呼聲は何時果てるとも計り知れない。

今やドイツ軍は緊張の極、一方ハンガリーも亦之に劣らず、あらゆる秘術を盡して之防戦である。

試合は愈々益々、白熱の度を加へて行く。

審判も亦、美事である。泰然として、又眞摯に戦ひを運び、其の審判に一として誤りはない。

又してもフリー・スロー、だが今度は、ハンガリー軍が現況を依持せんとする必死の防備の際に乗じてフリー・スローの多くはドイツ軍に與へられた。聲援は特にシュートのうまいシュナイダーの上に集中した。ハザイ好く彼に付いたが、數度のフリー・スロー中の一投から遂に、

平衡の機會

がドイツ軍に與へられた。

即ち、シュナイダー、ハウゼルの所にドリブル、ハウゼル直ちにノーマークのままシュート、然し枠に當つて成らず、この時シュナイダー、栗鼠の如く敏捷に引き返し、ブローダイ氣付いた時は早や既に遅く、ボールはゴールの中に。一・一

これで勝敗は全く混沌として判らなくなつた。

觀衆中のドイツ人は、この思ひがけない獲物に、文字通りの狂喜歡喜亂舞、手の舞ひ、足の踏む所を知らない。

然し水上では依然試合が續けられてゐる。

ハンガリー軍確實なシュートを狙つて、マークを外さんとするが、ドイツ軍ダニの様にへばりついて一瞬の機會だに與へず、殊にネメートにはバイエルが喰いついてゐる。

フレイ フレイ ゲルマニア

突如ドイツ側の聲援が起つたが、もうハーフ・タイムだ。誰にも前半が濟んだとは信ぜれなかつた位だ。

三分の後、戦闘開始、再び起る大衆の狂氣の如き聲援、この怒濤の嵐眞只中に、選手の内誰一人として冷靜な氣持で居られる者はなからう。

休憩後のこの試合は依然白熱の極、再び兩軍の聲援は此處を先途とはやしたくる。

シュート、敵軍の虚を衝き、好防よく之を阻む。ネメート、ゴールを狙つたが手許定まらず、高く舞いてゴール前に落ちる。シュルツエ素早く引返して敵陣を襲ふも之亦成らず、球は網に引つかまつてしまつた。然しこの時ハンガリー軍又もやチャンス。

突如、ネメート、ゴール、キーパーのパスを受けて二メートルライン内にドリブル驀進、強襲美事奏功して再びハンガリーのリード 二・一

然しドイツ・チーム飽く迄ゴールを狙つて意氣益々壯。再び攻撃に移る。左右兩フオワードの比較的後退してゐるに反し、シュナイダー最初から敵ゴール前に頑張つて動かさず。然し後方よりのパスも、其の中間に陣取つたハザイ必死の妨害の爲にシュート成らず。然し終に審判、ハザイの不正行爲を見逃さず、ハザイが不正にもドイツ選手の足を水中に引ずりこんだ時、退水が命ぜられた。

シュナイダー、ペナルティ・スロー美事に決つて

二・二

之から戦況俄かにテムボを下し、兩軍互に二・二の現況を維持せんとして消極戦法。次のゴールインが勝利と金メダルを意味する事は論を俟たない。

兩軍夫々、攻撃の機會を得たが何れも興奮して成らず、僅かにネメートの一投が枠に當つたのみ。ハラツシ、フリースローを得たが惜しくもゴールを外れる。ハザイ、シュナイダー共に退水。即ち、ボールを持たないシュナイダーをハザイが沈めたのである。

だが審判は之をシュナイダーに對する仕返しとしか見なかつたのである。かくして獨軍は絶好のチャンスを失つた。其の後にも華々しく攻撃が行はれたが、その時は既にタイムアップである。

獨逸人の狂喜の夢は何時果てるとも分らない。

彼等には二・二の引分けが大成功とも、否凱旋と迄も考へられたのである。

然しハンガリー軍は、頭を垂れ追然としてスタヂオンを引上げて行く。

再度ドイツ軍撃破の夢は破れ無念の涙を呑んだその足よりは重い。

聯盟議事録

●常務理事會 昭和11年3月31日

東京基督教青年會

1. オリンピック遠征費に關する報告

田畑主事より。四月中に寄附金募集に關する目易をつけ體育協會より人員決定の事となる最初の豫定通りの金額となる見込

2. 「ウォーターポロ」に關する件

土井君より。新社會人となりたる選手に就いて會社宛に練習の便宜を與へられたき儀、會長より依頼狀を出す件

3. 志村の練習の件

一先づ滿鐵に將來の事を問合せ其の後に於て本人に意志を尋ねる事とする

4. 片岡の件は一應本人の意志を確かめた上にて決定のこと

5. 女子練習會、4月3日、第六高女プールにて試泳會

午後1時より開催す、オリンピック種目のみ

當日競技會役員左の通り依頼決定

野田、飯田、小出、小森、根來、安永、松浦、奥野、渡邊、白山、保谷、大井、藤原、丹下、山崎、三橋、大橋、

6. 男子練習會、4月11日

1時半より5時迄

男子役員の件、審判長、末弘嚴太郎

6日夜、丸ビル事務所、役員決定の豫定

7. 飛込合宿延長の件

合同の形式にて延長する件

●理事會 昭和11年4月15日

水上聯盟事務所

議事

1. 佐世保海兵團のコーチの件は標準泳法委員に依頼の事

2. 時任氏、遠征の途中、奉天一泊を誘められたる事は遠征チームに一任の事

3. 帝大プール、オリンピック候補使用の件

使用時間、午後6時より8時迄と帝大より申出ありプール番、電気、其他の費用聯盟負擔の事

尙、火、金曜は教授、先輩等の使用に付御遠慮被下度との事、學校宛交渉は松澤氏一任のこと

4. 原秀夫氏「父」死亡、會葬の件

16日、午後1時—2時、於青山齋場、告別式あり、代表として奥野氏會葬に決す。尙會長より悔狀を發送したり

6. 神宮體育會、報告書

競泳に關しては雑誌を轉載すること

5. 白木屋、體協主催オリンピック展覽會の件、トロフィ

出品承認、聯盟旗、ダイプロマ、秩父宮盃、日米對抗盃、ハンカツツ寫眞、寫眞白木屋にて作製

7. 全國女子大會要項

白山氏夫妻に原案作成を依頼す

8. 五階に事務所移轉の件

9. オリンピック準備委員會

體協、毎金曜日に會合す

水聯、毎水曜日に會合して體協の會議への注文を考究のこと

10. ティムドクター、岡本氏に依頼することを交渉す(松澤氏一任)

11. トレーナー、柳田氏交渉のこと

12. 關東學聯の件は實行委員會の結果、渡邊主事不在の間左の通り事務を管理する事に決定の旨、會長より報告あり

主事、安永、會計、小出、庶務、横山、顧問、飯田

13. 水球の件

土井コーチ迄選手候補辭任の申出ありたるに付右辭退確定の上は候補選手として三名以上五名迄銓衡委員會にて決定方委任の事に決定す

●理事會 昭和11年4月23日

水上聯盟事務所

報告

1. 松澤氏體協準備委員會の報告

1. ブレザー體協にて白木屋に決定の件

2. シベリヤ鐵道調査の件

3. オリンピック、グレッツァ開期に我選手到着の件

4. レヂスターマルクの件

5. 旗手決定の件

6. 大會前後の競技會に就いて早く獨逸に於ける日本準備委員會で知りたい希望あり

議事

1. 事務所の件

條件が同じ場合移轉に決定、(5階)

2. 庶務の準備委員

飯田、野村、白山氏外遠征役員、女子に關し白山夫人に原案作成を一任

3. 準備委員會を毎水曜とし、理事會を第一、第三水曜とす

4. 第一回準備委員會を土曜日開催(4月25日)

5. 汽車の間合せは奥野氏に一任

6. マネヂャーとして根來氏追加決定す

7. ポロを松本隆重氏に交渉する事

醫師、岡本氏、トレーナー、柳田氏、全員58名

8. 安部、根來先發す、大體6月5日頃

9. 體協調査委員として白山氏に委任する事あるべし

10. 留守期間に於ける役員は會長と田畑氏に一任

11. 水球候補に辞退ありたる爲、銓衡委員會を召集し補充する事に決定、4月28日午後6時より聯盟事務所で開催
12. 各部委員の決定を各部委員會にて行ふ
13. 沼商、静岡大濱、奈良公園、京都二商プール公認が満期により注意を促す
14. 5月3日關東女子練習レコード會、午後1時
15. 一般女子講習會
期日8月5日—14日迄の豫定、朝9時—11時、場所女高師プール

●常務理事會 昭和11年5月6日
水上聯盟事務所

1. 準備報告(奥野氏)
 1. 食料の件、體協と同じ郵船の船に依頼すると先發に間に合はない爲、一部はドイツ船にて送附することを依頼することとなる
寄附
オリザニン(三共株式會社)
アメ、サラシアン(本井功氏)
 2. 服装、東横に依頼する事に決定
 3. トランク、櫻組に依頼、單價拾五圓
 4. 靴、大塚商店に依頼、スリツパ、寄附
 5. 帽子、帝帽に依頼、一個、五圓

議事

1. 水球、水球最終豫選競泳最終豫選とを區別する必要を認めぬ事情となりたる爲、全部一所に行ふ事に決定す
期日、5月29、30、31日の3間日、晝間行ふ
2. 競技プログラム
野田氏原案を一部改正し可決す
3. 競泳、米國を廻る件、外務省と打合す事にする、經費8,000ドル入用
4. 昭和11年度日本選手權(競泳)兼オリムピツク最終豫選プログラム

第一日

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 女子飛板 | 午後2時0分 |
| 2. 男子1500自由形 | 午後2時30分 |
| 3. 男子200平泳 | 午後3時25分 |
| 4. 男子飛板 | 午後3時45分 |
| 5. 水球 | 午後5時15分 |

第二日

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. 女子100自由形 (二組) | 午後1時30分 |
| 2. 男子200自由形 (決一組) | 午後1時45分 |
| 3. 女子200平泳 (二組) | 午後1時55分 |
| 4. 男子1500自由形 (決一組) | 午後2時15分 |
| 5. 男子100背泳 (二組) | 午後2時40分 |
| 6. 水球 | 午後2時55分 |
| 7. 男子200背泳 (豫二組) | 午後3時50分 |
| 8. 女子400自由形 (豫二組) | 午後4時10分 |
| 9. 男子100自由形 (豫三組) | 午後4時30分 |
| 10. 女子100背泳 (豫二組) | 午後4時50分 |
| 11. 男子400自由形 (豫二組) | 午後5時5分 |

第三日

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. 男子100自由形 (準決二組) | 午後1時 |
| 2. 女子100自由形 (決) | 午後1時20分 |
| 3. 男子100背泳 (決) | 午後1時30分 |
| 4. 女子200平泳 (決) | 午後1時40分 |
| 5. 男子400自由形 (決) | 午後1時50分 |
| 6. 男子高飛込 | 午後2時05分 |
| 7. 水球 | 午後2時55分 |
| 8. 女子高飛入 | 午後3時35分 |
| 9. 女子100背泳 (決) | 午後4時05分 |
| 10. 男子200背泳 (決) | 午後4時15分 |
| 11. 女子400自由形 (決) | 午後4時25分 |
| 12. 男子100自由形 (決) | 午後4時40分 |

準決勝なきものは四等迄

女子は100自由形四等迄

他は三等迄入選とす

●理事會兼オリムピツク準備委員會

昭和11年5月20日

水上聯盟事務所

議事

1. ベルーより選手招待の件(外務大臣宛)船の時に纏めて決定の事
2. 鶴岡君よりの松澤宛私信報告
3. 練習プール(50米温水プール)を借りる事を打電する事(體協に依頼)
シユタツトバードミツテ(ガルテンシユトラセ五番地)
5. オリムピツクヴレツヂは7月1日より開かるゝ爲めその前に着く競泳チームの宿舎は借りたと云ふ打電が體協にあつた
4. 汽車、食券、等は體協にてやつて呉れる、尙ヴレツヂに於ては一人一日十九マルクとの事
6. 滿鐵との交渉は今後關谷氏宛至急通知する事
7. 競泳チーム出發日時豫定
東京6月11日、午後9時下關着、12日午後6時、下關發
12日午後10時30分、釜山、13日午前6時30分着7時30分發
安東着、13日、午後11時33分午後11時30分發、(滿洲時)
奉天着、14日、午前6時40分、16日、午後2時13分發、ハ
ルピン着、17日、午前3時20分發、滿洲里着、18日午前7
時(モスコウ時)18日午後1時27分發、モスコウ着、24日、
ワルツト着、25日、伯林着、26日
8. 歸路船の件
郵船の(靖國丸)に27—8名位しか船室がない爲め鹿島丸
(8月28日マルセーユ發)に半分とし(競泳以外の男女子)
次の便船箱根丸は9月25日マルセーユ發
9. 米國廻りの件
外務省よりの報告によれば今迄處々和相當の交渉をした
る爲め、薄弱なる理由によつて取止めとする事は種々面
目上等にも關するから再考願いたい、故に米國よりの返
電を待ち(今月末迄)返事の無い時は船にて印度洋廻り
とする、交渉が良く行けば米國廻りは男子競泳のみとし

他は靖國丸とする事

10. ブラジル、ペルー（南米）は中止と決定
11. 先發、安部、根來、兩氏は9日神戸發、8日滿洲里發、陸上とは滿洲里で一緒になる
12. ポーランド滞在の件、尙調査研究する事
13. 聯盟留守組織について

會長、前回オリンピックの時にも留守に就いて相當困却した故、充分陣立を立てる事が大事である、留守、スタッフが完全にならなければ會長としても安心して行けぬ、留守は前オリンピックに行つた野村、野田兩氏を主として本井小林兩氏並に飯田氏と共に完全を期す様尙近近相談會を開く

14. オリンピック選手銓衡委員の件
 1. 競泳は候補者銓衡委員に齋藤氏を追加する事
 2. 水球には西本氏の代りに田畑主事及松本陸重氏を加へる事
 3. 飛込には西本、太田兩氏の代りに田畑主事、水谷泰夫、原秀夫、小林一男、高橋庄之助氏を追加する事に決定

●理事會兼準備委員會 昭和11年3月27日
水上聯盟事務所

議 事

1. 松澤氏より滿洲里迄のスケジュールに就いて時任氏よりの案朗讀す、之に對して田畑主事より競泳の建前から云へば伯林直行なれば奉天に於ける「エキシビション」練習の公開は斷る事を公式に通告、松澤氏に委任、先づ打電する事を決定
2. 體育協會關係報告（奥野氏）
査定以上の人數の時は各聯盟負擔
獨逸國境通過の日時を組織委員に通知したる場合荷物、其他の手續は全部組織委員之を行つて呉れる、尙選手下車の際は手荷物無き様取計る
3. 本隊は6月20日午後3時東京驛發、之に依つて滿洲にて一泊す、7月3日伯林着
4. 田端三郎病氣の爲候補辭退、平野亮、コーチ松澤氏より辭退せしめたり
5. 代議員會原案
6. モスコ太田大使よりの報告
7. 代議員會の原案

1. 役員改選の件

主事田畑氏をオリツピクより歸る迄重任とし、此の主事を中心として事務を行ひ、補佐役員は主事一任とす。尙オリンピック歸朝後臨時代議員會開催し役員を改選す

2. 昭和12年度豫算は案とし、臨時代議員會迄留保

8. 夏、女子大會具體案の確認
9. 6月10日、送別會開催

●理事會 昭和11年7月8日
水上聯盟事務所

議 事

1. プール公認の件
 - 第48號 祐徳プール
 - 第49號 大谷游泳池（八幡製鐵所プール）
 - 第50號 安房高女プール右三水泳池測定委員會の報告通り公認を承認す

2.

- (1). 日本女子中等學校水上競技大會及全國女子中等學校水上競技大會

- (2). 全國男子競泳並飛込大會

- (3). 日本水球選手權大會

右三競技會の要項並に準備進行狀況につき報告す

3. 日本女子中等學校大會の優勝盃の件、報告並に聯盟より各地大會に贈る優勝盃を決定佐藤に製作を依頼す

4. 小學校委員會の相談事項

小學校水泳競技の指導獎勵方法を報告

具體的實施方法は同委員會に一任と決定

●理事會 昭和11年7月6日
水上聯盟事務所

議 事

1. 去る15日小學校委員會に於て決定せる小學兒童水泳獎勵案を報告、承認
2. 河野主任より本年度指導者講習會の狀況並に結果の報告
3. 早慶兩校水泳部名義にて一金伍拾圓也聯盟宛寄贈ありたる旨報告
4. 松本水泳協會の加盟承認
5. 女子水泳講習會を次の要項にて本年度より實施する事に決定、要項次の如し

女子水泳講習會

場 所 大塚東京女子高等師範學校プール

期 日 8月3日より10日まで午後9時半より11時半まで

資 格 女學生に限る（學校を通じて申込みこと）

申込金 一金貳圓也

締 切 7月31日

申込所 麴町區丸ビル581區日本水上競技聯盟

人 員 壹百名締切前と雖も定數に達すれば締切る

本講習會は水泳指導を受くる便宜なき女學生の爲めに開催するものにして初心者を迎へる

●理事會 昭和11年8月4日
水上競技聯盟事務所

報 告

1. 女子中等學校水泳大會の優勝盃の件 十八個發送す
2. 小學校委員會に一任されて居た小學校水泳獎勵實施案を決定して各加盟團體に發送、本年度より實施の旨報告
3. 大阪に於ける女子大會並に名古屋の全國競泳並に飛込大會の準備狀況を報告

議 事

1. 水球委員主任藤田氏の上京取止めの爲、其の後任とし

て三橋氏を主任と決定

2. 昭和11年度水球選手権大會を大阪水泳協會に主管を依頼に決定

3. 水泳指導者要項分冊

第一編 一冊 定價拾五錢を書店には拾參錢

第三編 一冊 定價貳拾錢を書店には拾七錢で頒つこと

4. オリンピック選手激励法の相談

●理事會兼指導者資格檢定委員會

昭和11年8月21日

水上競技聯盟事務所

議事

1. 指導者推薦規定原則

1. 多年聯盟所定の趣旨に基き水泳及水上競技の發達に貢獻せるもの

2. 自ら水上競技者として経験を有し水泳指導に關して充分の理解を持つもの

以上孰れかの経験無きものは假令各地團體の要職に在る者と雖も資格者として推薦せざる事

2. 推薦者は推何番とすること

各團體より推薦し來る者の内より嚴正に銜衡す

3. 三指導者資格者の「マーク」を作ること

●理事會兼歡迎準備委員會

昭和11年10月7日

日本水上競技聯盟事務所

議事

1. オリンピック水上選手歡迎の打合せをなす

2. プール公認の件

第51號 八女中學校プール(福岡縣)

第52號 小樽高商室内水泳場

●理事會 昭和11年10月28日

丸ノ内中央亭

議事

1. 野田氏より事務引繼の説明(女子中等其他行事に就いて)

2. 河野氏より講習會に就き説明

3. 野田氏より松本水泳協會公認の件説明

4. 飯田氏よりプール公認の件説明

5. 藤田氏より水球委員會決議の件説明(水球普及策に就いて)

水球委員の具體案作成を要望す

6. 田畑氏より次のオリンピック対策に就いて

1. 女子合宿に就き今直に行ふか、否か、(末弘提案)合宿は止めにして各地加盟團體に於て講習會の如きものを行はしめ之に對して聯盟より援助すること(案)

2. 女子水泳オリンピック対策委員會を創設して之に對する(案)

3. 對オリンピック委員會を創設してこの方針の下に對策を講ずる(決)

7. 役員改選の件

1月の終り、2月の上旬に代議員會を開き役員を決める、

これを在京代議員に諮り承認して貰ふ、延期を各加盟團體に通知する(決)

8. 白山氏より米國より明年女流選手を送り度いとの申込ありこれに就き説明

9. 在京代議員會、來月10日前後に開く(決)

10. 田畑氏より日米對抗を一年毎に開く事に就き新聞の誤を説明

11. 田畑氏よりオリンピックチームの行動に關する説明

森島事件の説明

鶴岡 同

安部 同

12. オリンピック柳田映畫東京にて公開する手段をとる事

又この公開の方法、主事に一任する事(決)

各加盟團體にこの映畫公開を通知すること

出來上り次第コピーを取ること(決)

☆ 男の子と女の子 ☆

水球主任の藤田氏・及オリンピック遠征中の松澤氏に九月第二世が生れ、二人共にここに顔であるが、或日聯盟に現はれた藤田氏、皆に“おめでたう”を言はれ

男のお子さんですか、女のお子さんですか……?

と尋ねられ

モチ男さ、女の子なんてオカシクテ生みませんよ、

だからもう子供生だ必要はありませんよアハハ、

ハ、

☆ 罪な1500米競泳 ☆

日本の征覇成るか、米國の復仇成るか天下分目の一戦、ベルリンオリンピックプールは今興奮の渦!!

氣の弱いXさん、この一戦見るに耐へずと、ピストルショットからゴールイン迄19分の間プールの周りをグルグル廻り、終つて

オイどうだつた

と尋ね

モチ寺田の勝さ

と答へられ

しまつたては俺も見て居るんだつた。

聯盟日記

- 4月3日 オリムピック女子候補試泳會 府立六女
 3日 オリムピック男子飛込候補女子候補合宿解散
 4日 末弘會長男子合宿慰勞會 幸樂
 8日 編輯委員會 事務所
 10日 關東學聯飛込委員會 基督教青年館
 11日 オリムピック男子競泳候補記録會 東京帝大
 理事會 基督教青年會
 11日 オリムピック男子競泳候補合宿解散
 13日 關東學聯水球委員會 事務所
 14日 關東學聯實行委員會 事務所
 15日 理事會 事務所
 21日 標準泳法委員會 事務所
 22日 常務理事會 事務所
 23日 日本學聯常任委員會 事務所
 25日 オリムピック準備委員會 事務所
 27日 關東學聯總務委員會 朝日新聞社
 27日 女子部委員會 事務所
 28日 オリムピック水球選手銓衡委員會 事務所
 30日 オリムピック準備委員會 事務所
 5月1日 編輯委員會 事務所
 2日 關東學聯水球委員會 事務所
 6日 常務理事會 事務所
 7日 編輯寫眞委員打合せ 事務所
 8日 測定委員會 事務所
 9日 飛込委員會 事務所
 10日 日本學聯代表委員會 丸内中央亭
 12日 標準泳法委員會 事務所
 13日 オリムピック準備委員會 事務所
 14日 關東學聯實行委員會 事務所
 15日 關東水協關東女子中等校座談會 中央亭
 16日 オリムピック第三回豫選會申込締切、プログラ
 ム作成 事務所
 20日 理事會 事務所
 23日 第十一回オリムピック大會第三回豫選兼昭和十
 一年度日本選手權東部豫選水上競技大會 神宮
 24日 同上東部西部大會 神宮 寶塚
 25日 昭和十一年度日本競泳選手權、オリムピック最
 終豫選會プログラム作成 事務所
 27日 理事會 事務所
 29日 昭和十一年度日本競泳選手權大會第十一回オリ
 ムピック大會最終豫選會 神宮
 30日 同上
 30日 昭和十一年度定例代議員會 中央亭
 31日 昭和十一年度日本競泳選手權大會第十一回オリ
 ムピック大會最終豫選會 神宮
 31日 第十一回オリムピック水上競技代表役員選手銓

- 衡委員會、代表決定發表 神宮
 6月1日 安部、根來兩理事伯林へ先發 東京
 2日 事務所へ581へ移轉
 2日 關東學聯水球リーグ戦メンバー交換 朝日新聞社
 3日 水泳38號發送
 3日 常務理事會 事務所
 4日 標準泳法委員會 事務所
 5日 關東學聯競技者登録管理委員會 事務所
 5日 關東學聯水球リーグ戦役員打合會 事務所
 6日 第三回三大學對抗水上競技大會 神宮
 7日 第十回早慶對抗水上競技大會 神宮
 9日 關東學聯競技者登録管理委員會 事務所
 9日 關東水協關東女子中等校競技會打合會 事務所
 10日 關東學聯水球リーグ戦始る 神宮
 10日 オリムピック代表歡送會 上野精養軒
 11日 オリムピック男子競泳代表出發 東京
 12日 關東水協女子部委員會 事務所
 14日 中大拓大國大對抗水上競技會 玉川
 14日 關東男子中等校水上競技會 早大
 16日 事務打合會 晚翠軒
 17日 編輯委員會 事務所
 19日 關東學聯水球リーグ戦終る 神宮
 19日 飛込委員會兼オリムピック飛込代表激勵會 美松
 20日 オリムピック水球飛込女子代表出發 東京
 22日 東京小學校水泳聯盟委員會 事務所
 23日 關東學聯水球實行委員會 事務所
 30日 東京小學校水泳聯盟理事會 黒門小學校
 7月1日 水泳指導者講習會始る 神宮 慶大
 1日 關東水協理事會 事務所
 1日 關東學聯水球委員會 事務所
 3日 水泳指導者講習會飛込委員打合會 事務所
 3日 關東水協關東女子中等校競技會打合會 事務所
 6日 理事會 事務所
 10日 水泳指導者講習會終る 神宮 慶大
 10日 水泳指導者資格檢定試験始る 神宮
 10日 水泳指導者講習會委員慰勞會
 11日 水泳指導者資格檢定試験 神宮
 12日 同上筆答試験 慶大
 12日 水泳指導者資格檢定委員會 合格者發表
 12日 加盟團體推薦水泳指導者資格審査委員會
 12日 第八回全日本商大水上競技大會 神宮
 15日 東京小學校水泳聯盟委員會 事務所
 16日 理事會 事務所
 17日 編輯委員會 事務所
 18日 東部高商水上競技大會 神宮
 19日 同上 神宮
 21日 關東選手權水上競技大會プログラム作成 事務所

21日 第九回全國高等學校水上競技東部豫選大會
帝大

22日 同上

23日 同上

23日 關東學聯水球委員會 事務所

26日 關東選手權水上競技大會兼全國大會豫選會
神宮

27日 女子中等校水上競技會プログラム作成 事務所

28日 第十回關西大學法政大學對抗水上競技大會
神宮

30日 水球委員會 事務所

31日 女子部委員會 事務所

8月1日 全國中等學校水上競技水球東部豫選會
早大東伏見

2日 同上

2日 第一回關東女子中等學校水上競技大會兼全國女子中等學校水上競技關東豫選會 神宮

3日 女學生水泳講習會始る 女高師

4日 理事會 事務所

8日 伯林オリンピック水上競技始る、役員は朝日新聞社にてラヂオをきく

8日 第一回全國女子中等學校、全國女子水上競技大會 大阪

9日 同上

10日 女學生水泳講習會終る 女高師

12日 東部中等校水上競技會申込締切

14日 同上プログラム作成 事務所

15日 十一年度水球選手權大會役員下阪

15日 オリンピック水上競技終る

15日 全國競泳飛込大會 名古屋

16日 同上

16日 昭和十一年度日本水球選手權競技大會 大阪

18日 慰勞會 晚翠軒

21日 理事會 事務所

21日 水泳指導者資格檢定委員會 事務所

22日 東部中等學校水上競技大會兼日本中等學校選手權東部豫選會 神宮

24日 同上

25日 日本中等學校選手權大會プログラム作成事務所

28日 關東學聯實行委員會 事務所

29日 第二回日本中等學校選手權水上競技大會 神宮

29日 日本學聯打合會 神宮

30日 同上

9月2日 東京小學校水泳聯盟理事會 事務所

4日 東京小學校兒童水泳大會プログラム作成
事務所

4日 編輯委員會 事務所

6日 第四回東京小學校兒童水泳大會 神宮

7日 同上

7日 關東學聯總務委員會、關東學生水上競技大會メ

ンバー交換 朝日新聞社

9日 理事會 事務所

11日 關東學生水上競技大會 神宮

12日 同上

13日 同上

14日 水球委員會 事務所

15日 第一回日本學生選手權水上競技大會メンバー交換 朝日新聞社

16日 標準泳法委員會 事務所

17日 水泳39、40倍號發送

18日 第一回日本學生選手權水上競技大會 神宮

19日 同上

20日 同上

20日 日本學聯代表委員會 中央亭

21日 關東學聯水球委員會 事務所

22日 理事會 事務所

23日 關東學生水上競技聯盟飛込大會 神宮

24日 明治神宮祭奉祝東京體育大會プログラム作成
事務所

26日 關東學生水球トーナメント戦 神宮

26日 第一回明治神宮祭奉祝東京體育大會水上競技大會 神宮

27日 同上

27日 關東學生水球トーナメント戦 神宮

30日 測定委員會 事務所

10月1日 關東學聯水球委員會 事務所

2日 編輯委員會 事務所

4日 オリンピック女子代表歸朝 東京

4日 オリンピック女子代表歡迎會 上野精養軒

7日 理事會 事務所

8日 關東學聯總務委員會 中央亭

12日 理事會 男子オリンピック代表歡迎打合會
事務所

13日 男子オリンピック代表歸朝 東京

13日 オリンピック代表報告會 日本青年館

13日 オリンピック男子代表歡迎會 上野精養軒

27日 測定委員會 事務所

28日 理事會 中央亭



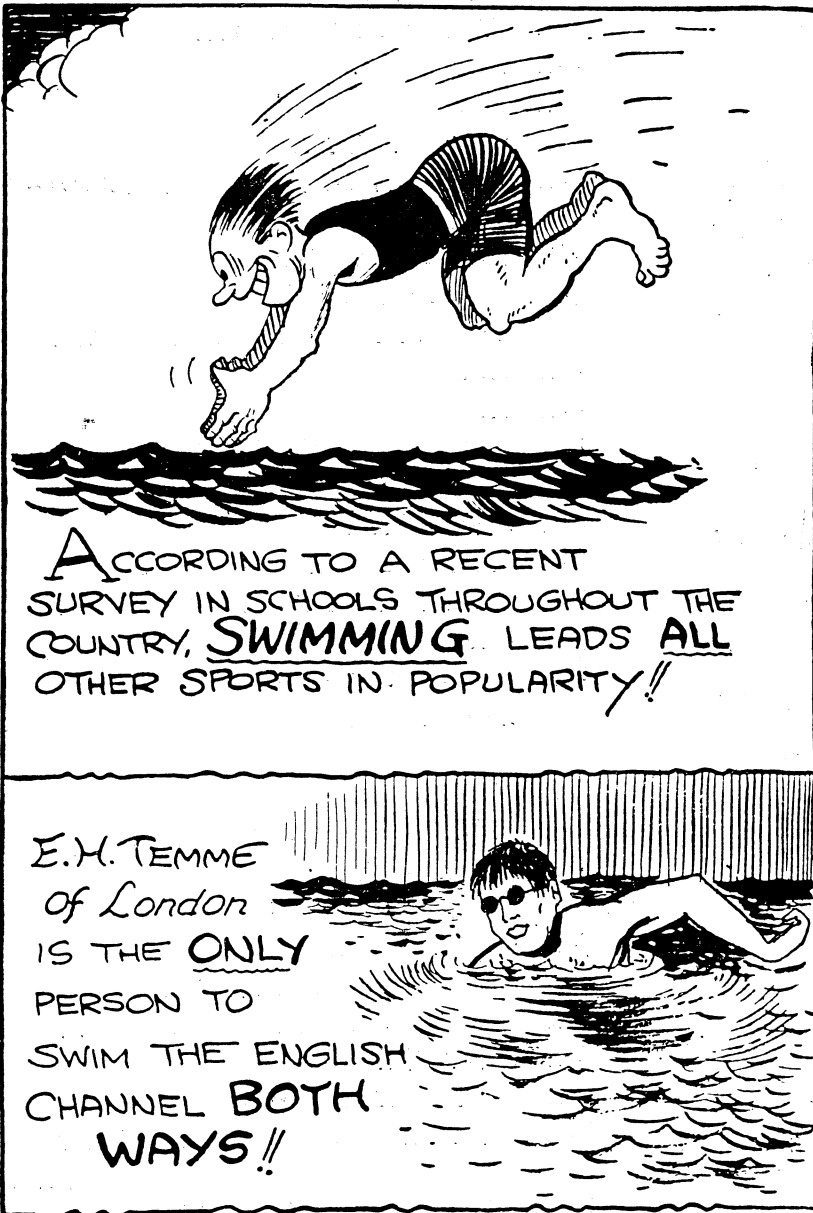
・ 編輯後記 ・

十一月一杯に本誌を出す様にとの注文であつたが、何しろ始めての編輯で勝手がわからず、一人でよくよしてゐる内にこんなに遅くなつて仕舞つて申譯ないと思つてゐる。

初め上半期の記録報告のみで一冊に纏め上げる積りてゐたが記録のみでは讀む人も面白くなく又編輯するのも無味乾燥だと思つて、ベルリン遠征途上のゴシツプ・オケサ等集めてゐる内に大部なものとなり到々倍號になつてしまつた。オケサは河童生活のルネツサンスの意味の積りて出したが、忙しい中を割いて談話して下さつた中瀬さん、又筆記の勞をとつてくれた塚原君、病中にもかゝはず寄稿して下さつた杉田氏、並に寫眞を御貸し下さつた齋藤氏清水氏に厚く御禮申し上げます。

オリンピック水球會議及金メタル争奪は獨紙「デル・シエウキメル」よりの譯出で入高の小出君の譯によるものである。書いてある事は大した意味はないが歐洲に於ける水球の大衆性を視知る一助ともなればと思つて載せた譯である。又ゴシツプを書いてひどくおこられたりしたが『風が吹いても人が言ひ雨が降つても人の言ふ、これがウワサと云ふものよ』の程度に聞き流して貰ふことにする。

(藤原)



日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第42-43倍號

昭和十一年十二月十五日納本
昭和十一年十二月二十日發行

(日本水上競技聯盟代表)
編輯兼發行人 飯田 光 太 郎
印刷者 君 島 潔
印刷所 共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町108

本號特價六十錢

定價30錢 年8回發行豫定・8回分¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約は送料不要)

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番